

平成27年度

高知県学力定着状況調査結果の概要

平成28年3月

高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに	
1 調査の概要	1
2 教科に関する調査結果	3
3 教科別調査結果	
教科別調査結果について	7
(1) 小学校国語	8
(2) 小学校算数	13
(3) 小学校理科	18
(4) 中学校国語	21
(5) 中学校社会	26
(6) 中学校数学	31
(7) 中学校理科	36
(8) 中学校外国語（英語）	41
4 調査問題等の活用	
・各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について	46
・小学校国語指導改善のポイント（第4学年）	47
・小学校算数指導改善のポイント（第5学年）	49
・小学校理科指導改善のポイント（第5学年）	51
・中学校国語指導改善のポイント（第2学年）	53
・中学校社会指導改善のポイント（第1学年）	55
・中学校数学指導改善のポイント（第2学年）	57
・中学校理科指導改善のポイント（第1学年）	59
・中学校外国語（英語）指導改善のポイント（第2学年）	61
・学力調査における経年変化の分析から授業改善へ	63

はじめに

高知県学力定着状況調査は、学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の定着やそれらを活用して課題を解決する力の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすことを目的に実施しています。また、次期の学習指導要領改訂の視点として示されている、新しい時代に必要となる資質・能力の「問題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等」を問う内容を出題し、より質の高い授業を追求していくことへのメッセージを込めております。

今回の調査結果から、ことわざや敬語の使い方を理解することや関数の表・グラフを読み取ることなど、基礎的・基本的な知識や技能の面に関しては改善傾向にあることが述べられます。しかし、事実を基にして何が言えるのか、何が考えられるのか解釈することや、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどには依然として課題が残り、引き続き改善が必要です。

本報告書には、調査結果を示すと同時に、その分析を基に課題の解決を図るための具体的な事例としての「授業アイデア例」を示しています。各学校においては、子どもたち一人一人の達成状況を把握するとともに、本報告書も参考に、学校全体で課題解決のための授業づくりを進めていただきたいと思います。併せて、単元テストや学習シート、思考力問題集等の計画的・効果的な活用により、本県の子どもたちに知識や技能を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力等をさらに伸ばしていただきますよう、お願いします。

最後に、今回の調査の実施に当たり、御尽力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

平成28年3月 高知県教育委員会

平成27年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力（思考・判断・表現する力等）の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査の対象

(1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第4・5学年

(2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第1・2学年
県立中学校第1・2学年

◇小学校解答児童数

第4学年

国語 5,355人 算数 5,350人

第5学年

国語 5,399人 算数 5,399人 理科 5,401人

◇中学校解答生徒数

第1学年

国語 4,605人 社会 4,598人 数学 4,592人
理科 4,586人 外国語（英語） 4,607人

第2学年

国語 4,775人 社会 4,811人 数学 4,805人
理科 4,815人 外国語（英語） 4,732人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題
選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

平成28年1月12日（火）

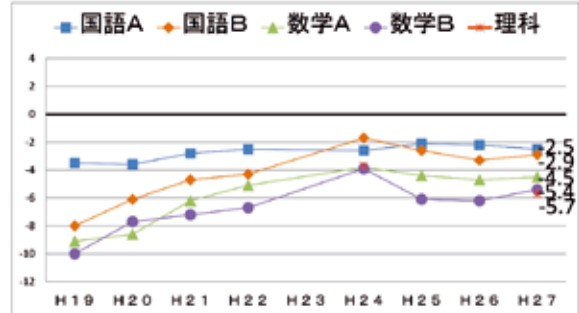
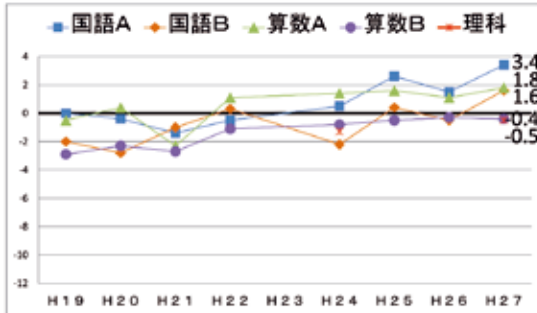


これまでの学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校

中学校

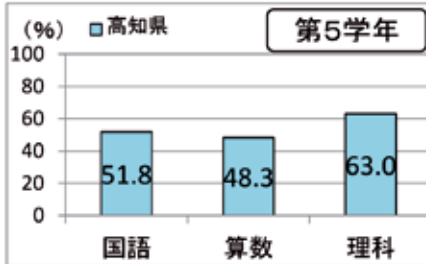
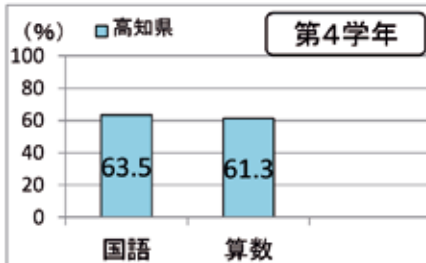


現状

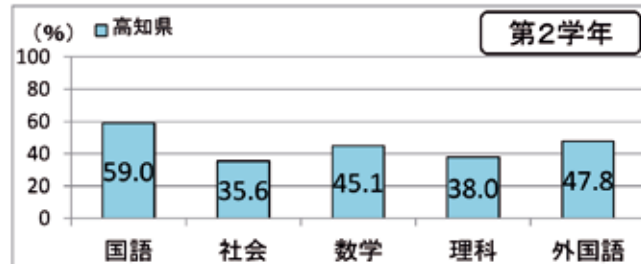
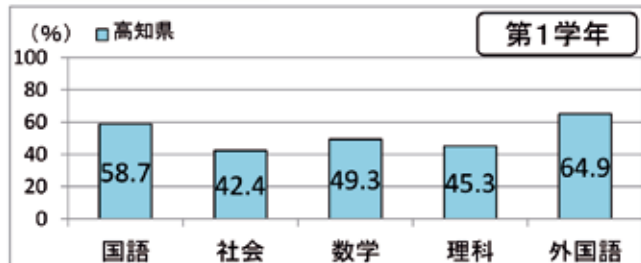
- 小学校は、国語・算数ともに全国平均を上回り、特に国語Aについては、全国平均を3ポイント以上上回っている。
- 中学校は、全国平均を下回り、ここ数年改善状況が足踏み状態にある。
- 小・中学校ともに獲得した知識や技能を活用して課題を解決していく力としての論理的な思考力や判断力、そして、自分の考えや思いを人に分かるように表現する力に課題がある。

II 高知県学力定着状況調査結果（平成26年度の平均正答率）

小学校調査



中学校調査



現状

- 国語における文章の敬体と常体の違い、接続語の役割の理解や算数・数学における作図する方法の理解など、基礎的・基本的な知識や技能に関する問題について、改善傾向にある。
- 文章の内容を正確に捉えること、また、複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには引き続き課題が見られる。



2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成27年度	60.1	56.7	38.6	44.6	69.1
	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成27年度	50.9	46.3	58.3	39.2	50.0
	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成27年度	59.0	54.0	38.7	58.6	61.1
	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本
社会	平成27年度	37.9	41.1	48.9	23.2
	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成27年度	50.7	50.6	58.8	47.6	
	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成27年度	38.8	26.5	30.3	49.1	
	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成27年度	58.4	80.0	58.1	39.1
	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

小学校

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成27年度	59.0	67.2	24.0	40.6	71.2
	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成27年度	49.6	58.0	34.9	40.3	46.0
	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成27年度	51.8	30.6	55.2	62.4	50.9
	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成27年度	65.8	78.8	38.0	57.6	67.8
	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成27年度	36.7	41.6	42.0	32.6	30.5
	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

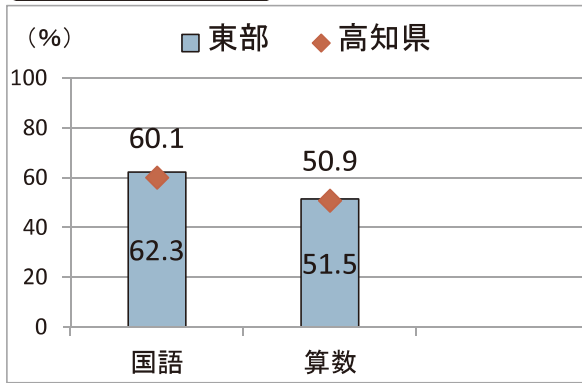
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成27年度	45.3	49.9	34.3	47.4	42.8
	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成27年度	36.9	35.4	36.2	40.5	36.1
	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

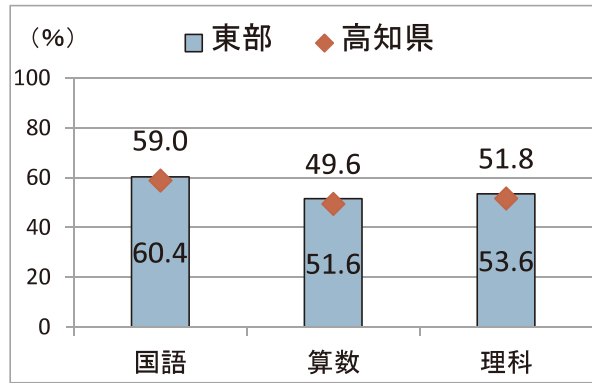
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成27年度	43.2	65.9	51.1	21.0
	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

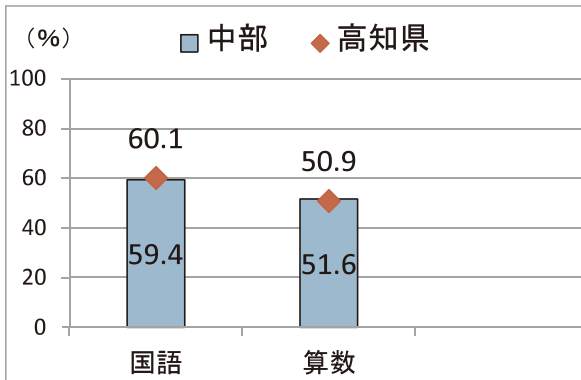


小学校第5学年

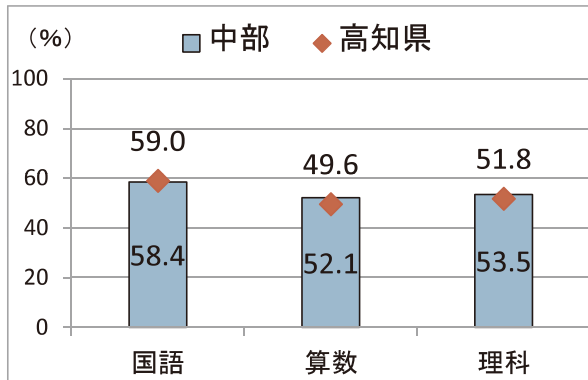


中部教育事務所

小学校第4学年

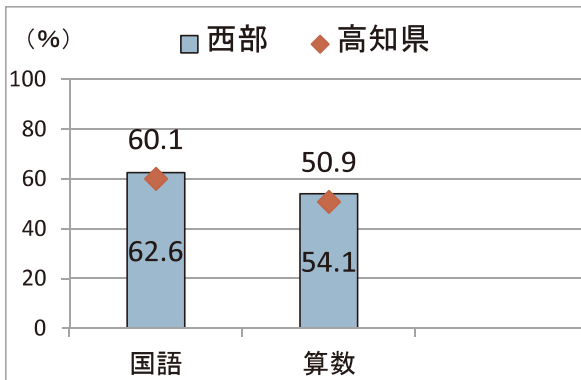


小学校第5学年

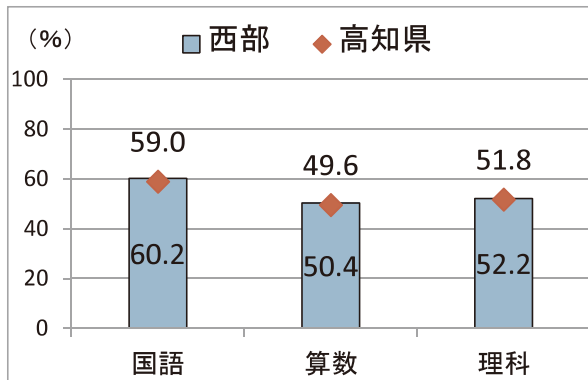


西部教育事務所

小学校第4学年

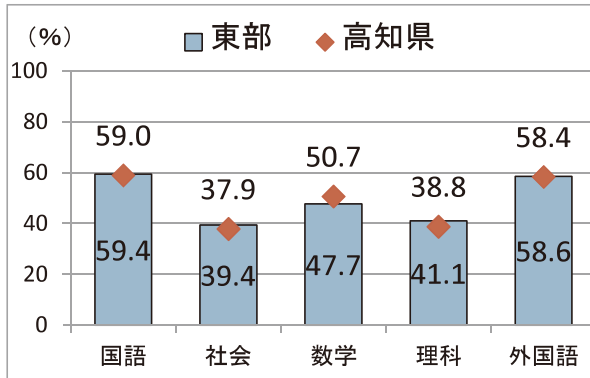


小学校第5学年

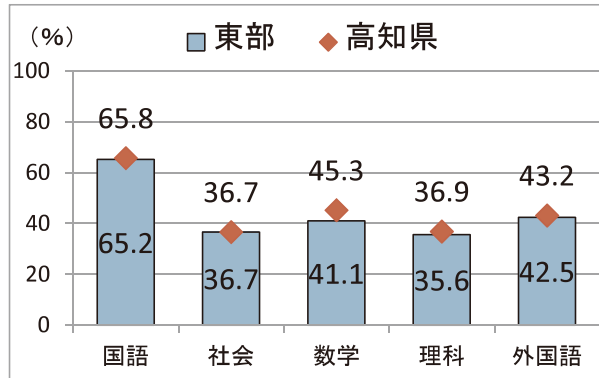


東部教育事務所

中学校第1学年

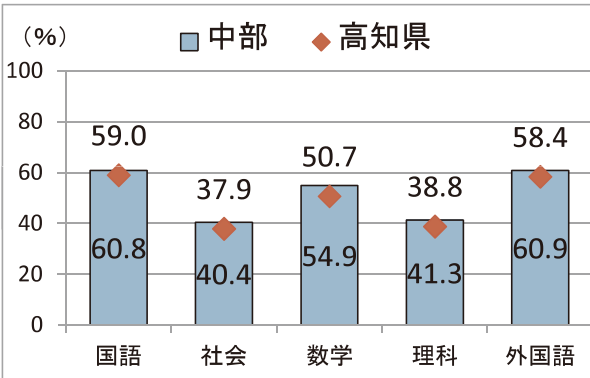


中学校第2学年

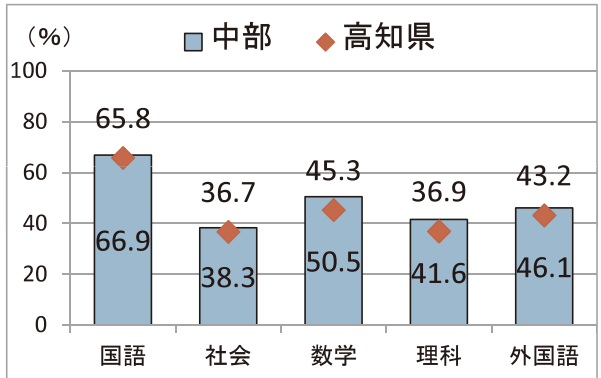


中部教育事務所

中学校第1学年

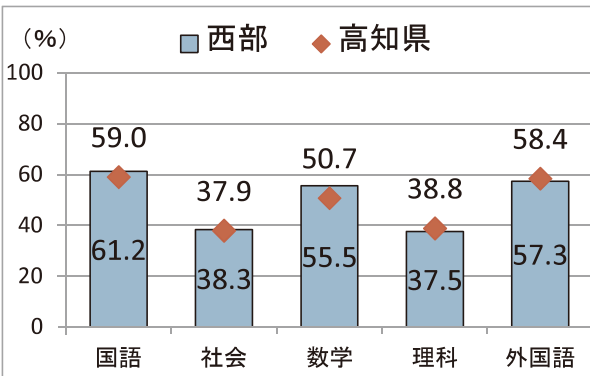


中学校第2学年

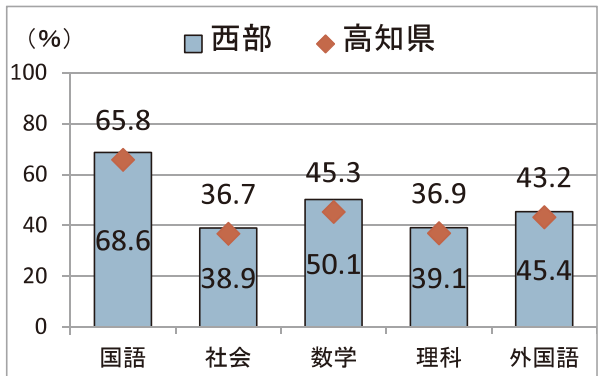


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年

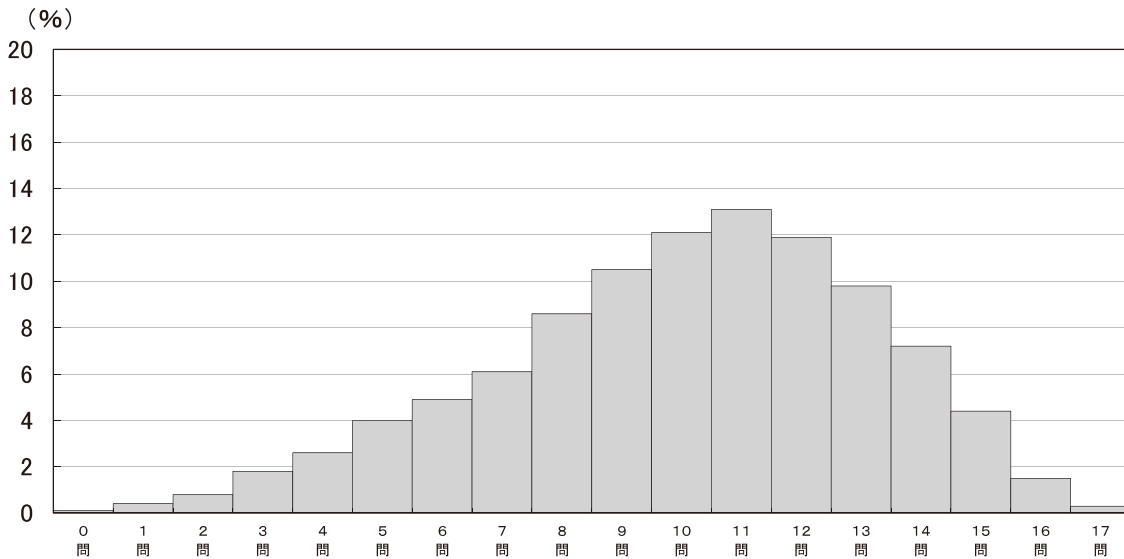


【分類・区分別の状況】(第5学年国語)

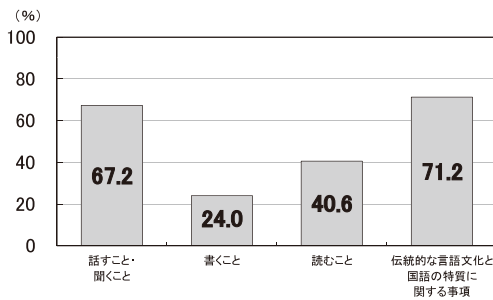
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,399	10.0 / 17	59.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.4
2問	0.8
3問	1.8
4問	2.6
5問	4.0
6問	4.9
7問	6.1
8問	8.6
9問	10.5
10問	12.1
11問	13.1
12問	11.9
13問	9.8
14問	7.2
15問	4.4
16問	1.5
17問	0.3

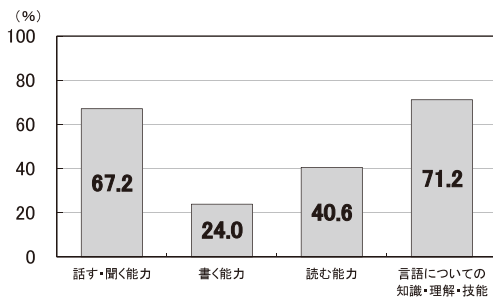
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



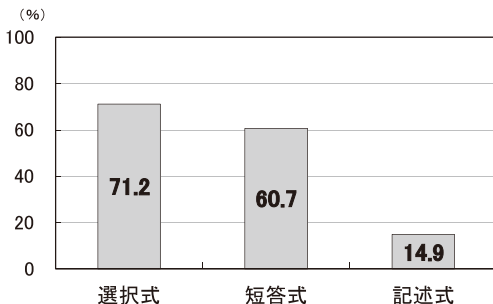
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は59.0%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・目的に応じて、図表やグラフなど複数の資料を読み、事実と意見とを区別して書くこと
- [3三 正答率21.3%、無解答率17.3%]

【ポスター】

すごい! 高知の野菜

★ 全国で出荷量のわりが多い高知県の野菜ベスト4

1 なす	35,300 t	・どの野菜も出荷量全国1位!
2 しょうが	15,800 t	・どの野菜もほぼ一年中出荷!
3 にら	14,900 t	・春から夏が特においしい!
4 ししとう	2,940 t	

★ ア 理由

高知県では、さまざまな野菜がつくられています。これは、右の【高知県のこう水量と平均気温】のグラフからわかるように、あたたかくて雨がが多いという高知県の気候に関係があります。

★ みんなに自慢したい! 高知県の野菜

イ

高知県の野菜は、おいしいよ!

- (条件)
- 「資料1」から「資料3」の中から一つ選び、その資料から分かることと、自分の考えたことを分けて書くこと。
 - 文章の最後は、ポスターを読む人によびかけるように書くこと。
 - 八十文字以上、百字以内で書くこと。

三 秋山さんは、「みんなに自慢したい! 高知県の野菜」という見出しを考えて、「ポスター」の「イ」の部分に、高知県の野菜をみんなに食べてもらうためによびかける文章を書くこととして、まず、あなたなら、どのように書きますか。文章を書くために使う資料を、「資料1」から「資料3」の中から一つ選び(どの資料を選んでもおかまいません)、次の(条件)に合わせて書きましょう。

※学習シート等との関連
 国語学習シート No.94・106・107・124
 国語指導改善資料集 P. 18~27

【設問別正答率】（第4学年国語）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)
1	一	(1)	○		漢字を読む（町の風景をながめる）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1)ウ(4)			○	○	90	98.3	0.3	
1	一	(2)	○		漢字を読む（新しい家を建てる）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(2)ウ(4)			○	○	90	98.7	0.3	
1	二	(1)	○		漢字を書く（くうこうへバスで行く）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			(1)ウ(4)			○	○	80	33.7	7.3	
1	二	(1)	○		漢字を書く（駅で落とし物をひろう）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			(1)ウ(4)			○	○	80	76.3	6.7	
1	三	1	○		ローマ字を読む（densya）	撥音、濁音の含まれたローマ字表記を正しく読む			(1)ウ(7)			○	○	80	73.0	12.7	
1	三	2	○		ローマ字で書く（ざりがに）	濁音の含まれた単語をローマ字で正しく書く			(1)ウ(7)			○	○	70	53.9	13.8	
1	四	ア	○		ことわざの使い方としてふさわしいものをえらぶ	「ことわざ」の意味と使い方を正しく理解する			(1)ア(4)			○	○	80	80.6	0.7	
1	四	イ	○		故事成語の使い方としてふさわしいものをえらぶ	「故事成語」の意味と使い方を正しく理解する			(1)ア(4)			○	○	80	52.2	2.4	
1	五	(1)	○		文の中で、ほかの言葉をくわしく説明する言葉として、ふさわしいものをえらぶ	修飾と被修飾との関係など、文の構成について正しく理解する			(1)イ(4)			○	○	80	55.9	0.9	
1	五	(2)	○		言葉の意味と使い方としてふさわしいものをえらぶ	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を正しく理解する			(1)イ(4)			○	○	70	63.7	1.6	
1	六	(1)	○		学級での話し合いの様子から、発言の内容としてふさわしいものをえらぶ	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする	エ					○	○	70	70.0	1.4	
1	六	(2)	○		学級での話し合いの様子から、司会者の発言のねらいとしてふさわしいものをえらぶ	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会の役割を果たしながら進行に沿って話し合う	オ					○	○	70	43.5	2.3	
1	七		○		お礼の手紙の下書きを読み直し、ていねいな書き方に直す	相手や目的に応じて、文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く	エ					○	○	80	84.7	1.3	
2	一		○		説明的な文章を読み、その内容としてふさわしいものをえらぶ	目的に応じて、中心となる語を捉えて文章を読む			イ			○	○	70	81.0	1.9	
2	二	(1)	○		説明的な文章を読み、メモの一部を、よりよい表げんに書き直す	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする	オ					○	○	60	30.0	19.3	
2	二	(2)	○		説明的な文章を読み、じょうけんにそって感想文の一部を書く	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由や事例を挙げて書く	ウ	エ				○	○	60	21.7	26.3	
3	一		○		友だちの助言をもとに、新聞の見出しとしてふさわしいものをえらぶ	文章を読んで、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く			オ			○	○	70	63.7	8.1	
3	二		○		新聞とインタビューメモを関連づけて読み、目的に応じて情報を取り出して記事を書く	複数の情報を関連付けて読み、目的に応じて中心となる語や文を捉えて書く	ウ	イ				○	○	70	15.5	25.7	
3	三		○		自分がえらんだ記事の内ようについて、じょうけんにそってえらんだ理由を書く	書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて理由を挙げて書く	ウ	エ				○	○	60	40.9	24.5	

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年国語）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)
1	一	(1)	○		漢字を読む(河口に近いキャンプ場集まる)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1)ウ(7)			○	○	○	90	78.5	2.9
1	一	(2)	○		漢字を読む(風の勢いが強い)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1)ウ(7)			○	○	○	90	89.6	1.0
1	二	(1)	○		漢字を書く(結果にまんぞくする)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			3・4(1)ウ(4)			○	○	○	80	71.9	5.2
1	二	(2)	○		漢字を書く(月の光が夜道をてらす)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			3・4(1)ウ(4)			○	○	○	80	57.5	10.1
1	三	1	○		ローマ字を読む(T o k y o)	長音の含まれた固有名詞のローマ字表記を正しく読む			3・4(1)ウ(7)			○	○	○	80	79.0	5.7
1	三	2	○		ローマ字で書く(四国)	頭文字を大文字とする固有名詞をローマ字で正しく書く			3・4(1)ウ(7)			○	○	○	70	71.0	4.3
1	四		○		慣用句の使い方としてふさわしいものを選ぶ	慣用句の意味と使い方を正しく理解する			3・4(1)ア(4)			○	○	○	70	65.8	0.4
1	五	(1)	○		敬語の使い方としてふさわしいものを選ぶ	日常でよく使われる敬語(尊敬語, 謙讓語, 丁寧語)を正しく理解する			(1)イ(7)			○	○	○	70	86.4	0.4
1	五	(2)	○		文と文のつながりを考えながら, 複数の文を一文にして書く	書こうとすることの中心を明確にし, 目的に応じて書く		ウ	3・4(1)イ(7)			○	○	○	70	41.5	7.2
1	六	(1)	○		中島さんと小西さんの発言の内容に共通する観点として, ふさわしいものを選ぶ	目的に応じて, 話合いの観点を整理する		オ				○	○	○	70	75.1	0.3
1	六	(2)	○		質問のねらいとしてふさわしいものを選ぶ	質問の意図を捉える		エ				○	○	○	70	59.2	1.0
2	一		○		説明的な文章を読み, その内容としてふさわしいものを選ぶ	目的に応じて, 文章の内容を的確に押さえる		ウ				○	○	○	70	77.9	0.6
2	二		○		説明的な文章を読み, 事実と意見の関係を押さえながら整理して書く	意見文を書くという目的に応じて, 事実と意見の関係を押さえながら読む		ウ				○	○	○	60	32.8	12.6
2	三		○		説明的な文章を読み, 筆者の考えを引用しながら意見文を書く	自分の考えを明確にしなが読み, 文章から引用しながら伝わるように書く		エ	ウ			○	○	○	50	8.5	23.8
3	一		○		ポスターを作るために複数の資料を関連づけて読み, ふさわしいものを選ぶ	目的に応じて, 図表やグラフなどの複数の資料を選び, 比べて読む			カ			○	○	○	70	62.8	3.2
3	二		○		ポスターに書く見出しとしてふさわしい言葉, 資料をもとにして書く	目的に応じて, 文章の内容を的確に押さえ, 簡単に書く		ウ				○	○	○	60	24.6	15.5
3	三		○		よびかける文章を書くために複数の資料を読み, その中から選んだ資料をもとに, 条件にそって自分の考えを書く	目的に応じて, 図表やグラフなど複数の資料を読み, 事実と意見とを区別して書く		ウ	カ			○	○	○	50	21.3	17.3

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校国語における成果と課題】

	第4学年			第5学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	伝 1四ア 80.6%	「ことわざ」の意味と使い方を正しく理解すること	伝 1五(1) 86.4%	日常でよく使われる敬語（尊敬語・謙讓語・丁寧語）を正しく理解すること	
		読 2一 81.0%	目的に応じて、中心となる語を捉えて文章を読むこと			
書 1七 84.7%		相手や目的に応じて、文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと				
経年				伝 1三 2 71.0%	頭文字を大文字とする固有名詞を大文字で正しく書くこと	
				H26 1三(2) 40.0%		
				読 2一 77.9%	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえること	
				H26 2二 53.6%		
課題	本年度	伝 1二(1) 38.7%	前学年までに配当されている漢字を正しく書くこと 「 <u>くこう</u> へバスで行く」	伝 1二(2) 57.5%	前学年までに配当されている漢字を正しく書くこと 「月の光が <u>夜道</u> を <u>てらす</u> 」	
		話 1六(2) 43.5%	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会の役割を果たしながら進行に沿って話し合うこと	書 1五(2) 41.5%	書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて書くこと	
		書 2二(1) 30.0%	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること	書読 2三 8.5%	自分の考えを明確にしながらか読み、文章から引用しながら伝わるように書くこと	
	経年	書読 2二(2) 21.7%	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由や事例を挙げて書くこと →P.47「小学校国語指導改善のポイント」へ	読 2二 32.8%	意見文を書くという目的に応じて、事実と意見の関係を押さえながら読むこと	
				H26 2二 28.9%	H26 2二 53.6%	
		書読 3二 15.5%	複数の情報を関連付けて読み、目的に応じて中心となる語や文を捉えて書くこと	書 3二 24.6%	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、簡単に書くこと	
	H26B 2二 県 29.0% 全国 26.9%		H26 1八 9.3%			
			書読 3三 21.3%	目的に応じて、図表やグラフなど複数の資料を読み、事実と意見とを区別して書くこと		
			H27B 2三 県 44.9% 全国 41.6%			

【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

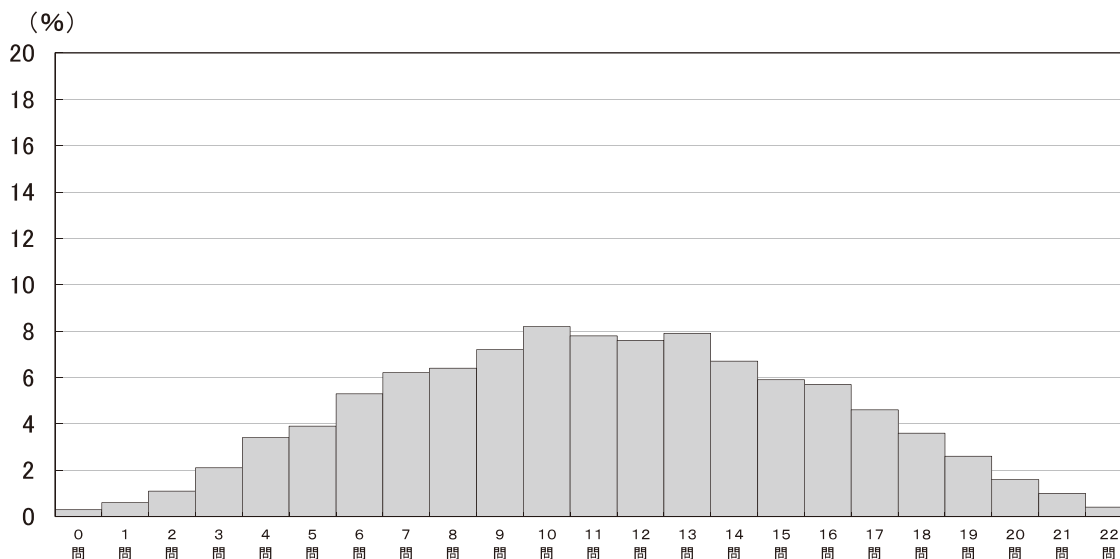
- 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりするなど、推敲し文章を整えさせる指導が大切である。
- 引用の仕方について指導するとともに、引用したことについて、自分の考えを書かせる指導が大切である。
- 目的に応じて文章や資料を読み、中心となる語や文を捉えたり、必要な情報を取り出したり、事実と意見とを区別したりするなどの学習活動を通して、読むことと書くことを複合させた指導が大切である。

(2) 小学校算数
【分類・区別の状況】(第4学年算数)

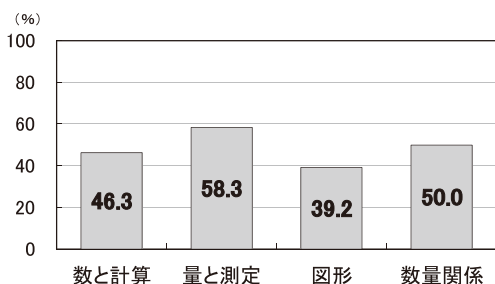
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,350	11.2 / 22	50.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.6
2問	1.1
3問	2.1
4問	3.4
5問	3.9
6問	5.3
7問	6.2
8問	6.4
9問	7.2
10問	8.2
11問	7.8
12問	7.6
13問	7.9
14問	6.7
15問	5.9
16問	5.7
17問	4.6
18問	3.6
19問	2.6
20問	1.6
21問	1.0
22問	0.4

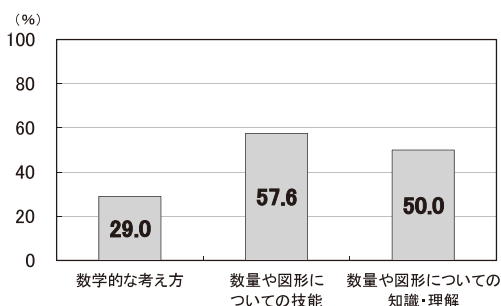
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



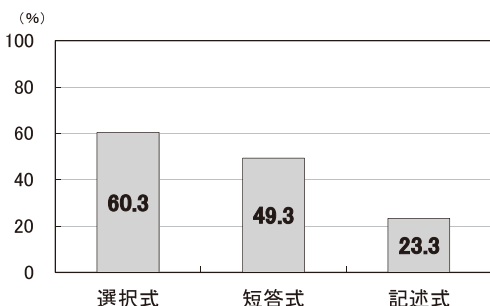
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

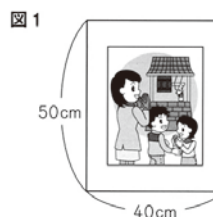


算数の平均正答率は50.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報から、掲示板からはみ出す台紙の長さや台紙を重ね合わせる部分の数を基に、台紙を重ね合わせる部分の長さの求め方を記述すること

[11(3) 正答率7.3%、無解答率44.2%]

11 しおりさんは、けいじ板に作品をはろうとしています。作品は、下の図1のようなたての長さが50cm、横の長さが40cmの長方形の台紙にはられています。



(3) 次に、たての長さが60cm、横の長さが4m20cmの長方形のけいじ板に、図1の大きさの台紙を(2)の図3のようにして11まいはります。

けいじ板から台紙がはみ出ないようにぴったりとはるには、台紙を重ね合わせる部分の長さを、何cmずつにすればよいでしょうか。

そのもとめ方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

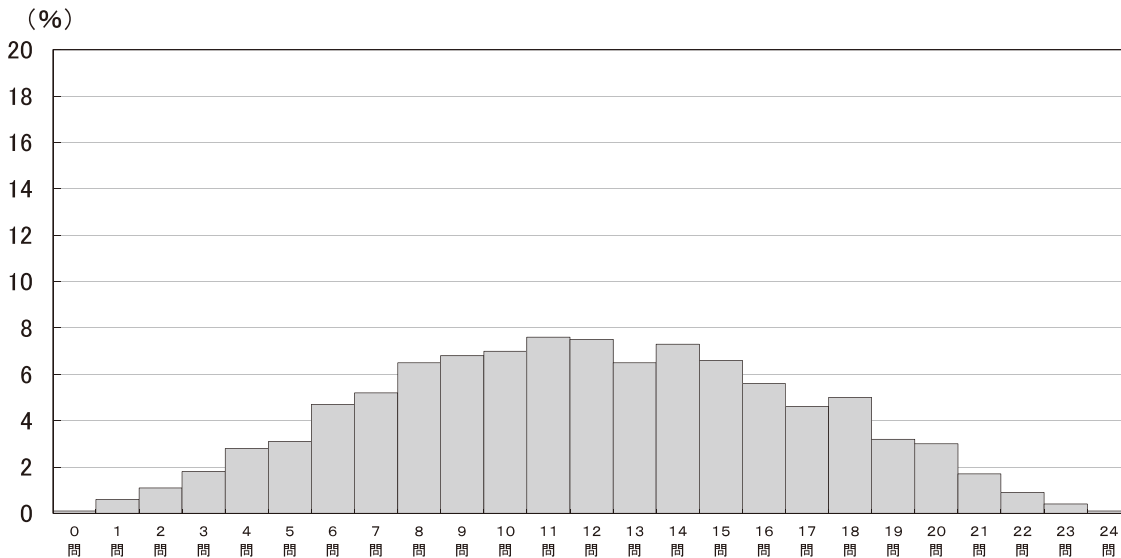
※学習シート等との関連
4年第5回フォローアップ
4年算数シート No.36

【分類・区分別の状況】(第5学年算数)

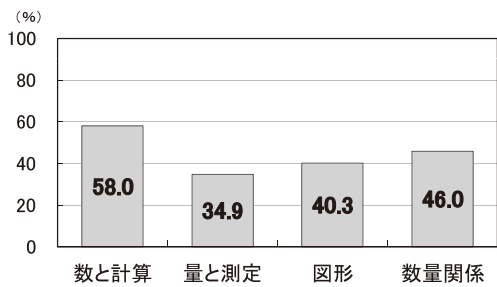
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,399	11.9 / 24	49.6

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.6
2問	1.1
3問	1.8
4問	2.8
5問	3.1
6問	4.7
7問	5.2
8問	6.5
9問	6.8
10問	7.0
11問	7.6
12問	7.5
13問	6.5
14問	7.3
15問	6.6
16問	5.6
17問	4.6
18問	5.0
19問	3.2
20問	3.0
21問	1.7
22問	0.9
23問	0.4
24問	0.1

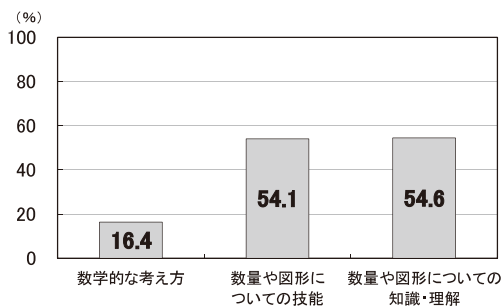
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



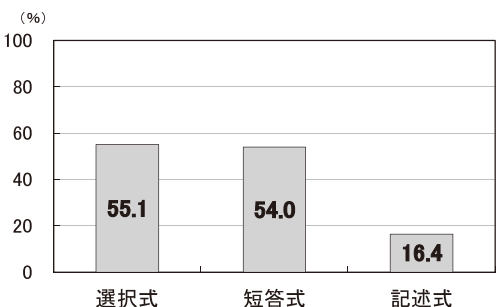
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



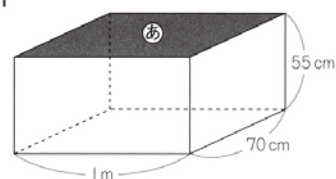
算数の平均正答率は49.6%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報を基に、お風呂にお湯がたまる時間と高さの関係を捉えて、お湯がたまる時間の予想が正しい理由を記述すること

[12(3) 正答率13.5%、無解答率35.1%]

12 はやとさんの家では、お風呂が新しくなりました。新しいお風呂は、下の図1のような直方体になっています。

図1



(3) 空のお風呂にお湯を入れ始めてから、5分たったとき、お風呂の底から水面までの高さは、15 cmでした。はやとさんは、このまま、ジャロから出るお湯の量を変えないとして、お風呂の底から水面までの高さが45 cmになる時間を、下のように予想しました。

あと10分で、お風呂の底から水面までの高さが45 cmになる。

はやとさんの予想は正しいと言えます。そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。

※学習シート等との関連

5年第3回フォローアップ

5年算数シート No.16・27

【設問別正答率】（第4学年算数）

問題番号	大	小	問題	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 数学的な考え方	数量や図形についての技能・理解	問題形式 選択式 短答式 記述式	期待正答率(%)	高知県	
								数と計算	量と測定	図形	数量関係					正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)					389+4897の和を見積もるとき、ふさわしい数をえらぶ	整数の加法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる								90	82.3	0.6
1	(2)					$\frac{9}{7} - \frac{4}{7}$ の計算のしかたを、 $\frac{1}{7}$ をもとに考えるとき、あてはまる数の組み合わせを書く	真分数の減法において、単位分数を基にした計算の方法を理解している								80	32.2	4.0
1	(3)					分数のたし算の結果を、ひき算を用いてたしかめるとき、あてはまる数の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している								80	26.2	10.4
1	(4)					4800×350を計算する	乗法の計算をすることができる								80	63.5	1.4
1	(5)					7500÷30を計算する	除法の計算をすることができる								80	56.7	4.4
1	(6)					84-24÷6を計算する	減法と除法の混合した計算をすることができる			(2)ア					90	82.9	1.8
1	(7)					6.7+3.34を計算する	小数の加法の計算をすることができる			(5)イ					80	85.3	1.5
2						60兆は100億の何倍であるかを書く	1億以上の数の構成を理解している			(1)ア					80	27.9	2.7
3						数直線上に示された分数を読み取って書く	数直線上に示された分数を読み取ることができる			3(6)イ					80	33.2	15.0
4	(1)					おはじきの数のもとの説明にあてはまる図と式をえらぶ	示された数量の関係を図と式に表すことができる			3(2)ア 4(2)ア					70	71.6	1.6
4	(2)					図と式をもとに、おはじきの数をどのようにもめたのか、考え方を書く	図と式で表された数量の関係を読み取り、考え方を記述できる			3(2)ア 4(2)ア					60	39.4	22.5
5						1本分のテープの長さをもとめる場面にあてはまる図をえらび、それをもとにして1本分のテープの長さをもとめる式を書く	二つの数量の関係を図に表し、基準量を求めるために除法を用いることができる			(3)イ					60	59.2	3.6
6						マッチぼう18本を使って長方形をつくるとき、だてのマッチぼうの本数を□本、横のマッチぼうの本数を○本として、□と○の関係を式に書く	二つの数量の関係を見だし、□や○を用いた式に表すことができる			(1)ア (2)ウ					60	49.5	10.9
7						1kgの重さにもっとも近いものをえらぶ	重さについての感覚を身に付けている			3(1)イ					90	62.8	1.9
8	(1)					2まいの三角じょうぎを組み合わせてつくった角の大きさが15°になるものをえらぶ	三角定規を組み合わせてできる角の大きさを理解している			(2)アイ					90	72.4	2.5
8	(2)					2まいの三角じょうぎを組み合わせてつくった角の大きさをもとめる式を書く	補角の大きさを求めることができる			(2)アイ					80	39.6	16.1
9	(1)					コンパスを使って平行四辺形をかくとき、使われている平行四辺形の特ちょうをえらぶ	作図に用いられている図形の性質を理解している			(1)アイ					70	34.4	4.0
9	(2)					しめされている四角形の特ちょうにあてはまる四角形をえらぶ	四角形の定義や性質を理解している			(1)アイ					80	62.0	5.0
10						半径3cmの4このボールがぴったりと入るはこの横の長さをえらぶ	球と直方体の関係を基に、直方体の横の長さを求めることができる			2(1)ウ 3(1)ウ					70	56.6	5.0
11	(1)					6まいの台紙の横の長さの合計が、けいじ板の横の長さより何cm長くなるかを書く	示された情報から、台紙の横の長さの合計と掲示板の横の長さの差を求めることができる			3(3)イ					80	35.5	17.8
11	(2)					台紙を重ね合わせるとき、台紙のまい数と台紙を重ね合わせる部分の数の関係を正しく表しているものをえらぶ	台紙を重ね合わせたときの台紙の枚数と台紙を重ね合わせる部分の数の関係を考えることができる			3(2)ア 4(1)					80	40.3	13.3
11	(3)					横の長さが4m20cmのけいじ板に、11まいの台紙をはみ出さないようにぴったりとはるとき、台紙を重ね合わせる部分の長さをもとめ方とものをえらぶ	示された情報から、掲示板からみ出す台紙の長さや台紙を重ね合わせる部分の数を基に、台紙を重ね合わせる部分の長さの求め方を記述できる			3(3)イ					50	7.3	44.2

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年算数）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 数学的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	問題形式			期待正答率(%)	高知県	
							数と計算	量と測定	図形	数量関係		選択式	短答式	記述式		正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	○			14.9÷5.1の商を見積もるとき、ふさわしい数を選ぶ	小数の除法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	4(2)アウ 5(3)イ					○	○		80	59.8	1.0
1	(2)	○			60×2.5の計算のしかたを、60×25をもとに考えるとき、あてはまる言葉と数を書く	乗数が小数である場合の計算を、整数の乗法に直して求める方法を理解している	(3)イウ					○	○		80	55.9	8.0
1	(3)	○			小数のわり算の結果を、かけ算を用いて確かめるとき、あてはまる数の組み合わせを書く	除法における計算の確かめの方法を理解している	(3)イウ					○	○		80	61.1	4.7
1	(4)	○			0.6+1.4×8を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)イウ 5(3)ウ		4(2)ア			○	○		80	62.6	1.0
1	(5)	○			36÷2.7(商は一の位まで求めて、あまりを出す)を計算する	小数の除法での余りのある計算をすることができる	(3)イ					○	○		70	39.5	2.7
1	(6)	○			$\frac{3}{8} - \frac{5}{24}$ を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	(4)エ					○	○		90	83.8	2.4
1	(7)	○			$0.7 + \frac{4}{15}$ を計算する	小数と分数の加法の計算をすることができる	(4)アオ					○	○		80	76.3	4.1
2		○			1.5.7のカードをあてはめて、50にいちばん近い数を書く	十進位取り記数法を基に、小数の構成を理解している	(2)ア					○	○		90	93.2	0.2
3		○			たて9cm、横15cm、高さ6cmの箱に、同じ大きさの立方体をすき間なく入れるとき、最も大きい立方体の1辺の長さを書く	最大公約数を求めることができる	(1)イ					○	○		70	40.9	6.9
4		○			40分が何時間になるのかを、分母がいちばん小さい分数で書く	分数を使った時間の表し方を理解している	(4)エ	2(3)ア				○	○		80	55.9	4.7
5		○			小数のかけ算やわり算の式で、計算の答えがかけられる数、わられる数より大きくなるものを選ぶ	小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している	(3)アイ					○	○		60	42.9	2.0
6		○			0.4Lの重さが0.5kgのペンキ1Lの重さを求める場面にあてはまる図を選び、それをもとにしてペンキ1Lの重さを求める式を書く	二つの数量の関係を図に表し、基準量を求めるために除法を用いることができる	(3)ア					○	○		70	24.1	1.4
7	(1)	○			さやかさんの考え方でかいた、合同な三角形の図を選ぶ	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している	(1)イ					○	○		80	56.1	1.7
7	(2)	○			合同な三角形のかき方をもちに、平行四辺形ABCDと合同な平行四辺形のかき方を説明する	平行四辺形のかき方を、合同な三角形のかき方を基に記述できる	(1)イ				○		○		60	12.9	19.4
8	(1)	○			図から必要な部分の長さを選び、三角形の面積を求める式を書く	三角形の面積を求めることができる	(1)ア					○	○		80	71.9	4.5
8	(2)	○			図をもとに、3つの三角形の面積が等しくなるわけを書く	示された情報から、3つの三角形において底辺と高さがそれぞれ等しいことを根拠に、面積が等しくなる理由を記述できる	(1)ア	4(1)ア				○	○		60	22.9	9.9
9		○			2つの学級の人数と借りた本の平均のざつ数をもとに、学年全体の借りた本の平均のざつ数を求めるとき、あてはまる式を選ぶ	平均の意味を理解している	(3)ア		4(2)ア			○	○		60	31.1	2.6
10	(1)	○			直方体に示された面AEHDに垂直な辺をすべて書く	直方体の面に垂直な辺を理解している		4(2)アイ				○	○		70	39.6	8.1
10	(2)	○			直方体の点Eをもとにして横、たて、高さを表すとき、頂点Gの位置を表したものを選ぶ	空間の中でものの位置を三つの要素で表すことができる		4(2)ア 4(3)				○	○		80	60.9	5.7
11	(1)	○			1mの重さが25gのはり金の長さを2倍、3倍、...すると、重さはどのように変わるかを選ぶ	表に示された二つの数量が比例の関係にあることを捉えることができる			(1)ア			○	○		80	85.8	4.4
11	(2)	○			はり金の長さを□m、はり金の重さを○gとし、□と○の関係を表す式を書く	伴って変わる二つの数量の関係を□や○を用いて、式に表すことができる			4(2)ウ			○	○		70	36.9	11.2
12	(1)	○			たて70cm、横1m、高さ55cmの直方体の面(あ)になる四角形を選ぶ	立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している		2(1)ウ 4(2)ア				○	○		90	49.4	7.0
12	(2)	○			たて70cm、横1m、高さ55cmの直方体のお風呂に、底から12cmの高さまでお湯がたまったときのお湯の量を書く	直方体の体積を求めることができる	(2)アイ					○	○		80	14.0	24.3
12	(3)	○			底から15cmの高さまでお湯がたまる時間をもとに、45cmの高さまでお湯がたまる時間の予想が正しいわけを書く	示された情報を基に、お風呂にお湯がたまる時間と高さの関係を捉えて、お湯がたまる時間の予想が正しい理由を記述できる	(2)アイ (4)ア		(1)ア			○	○		50	13.5	35.1

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校算数における成果と課題】

		第4学年			第5学年		
		問題番号	出題のねらい	問題番号	問題番号	出題のねらい	
成果	本年度	計 1(1) 82.3%	整数の加法について、計算の結果のおよその大きさを捉えること				
	経年	計 1(7) 85.3% H25 1(6) 県 69.9%	小数の加法の計算をすること	計 2 93.2% H23A 2(3) 県 75.3%		十進位取り記数法を基に、小数の構成を理解すること	
		計 数 5 59.2% H26 9イ 県 40.2%	二つの数量の関係を図に表し、基準量を求めるために除法を用いること	計 数 11(1) 85.8% H24 8(1) 県 79.3%		表に示された二つの数量が比例の関係にあることを捉えること	
課題	本年度	計 1(2) 32.2%	真分数の減法において、単位分数を基にした計算の方法を理解すること	量 12(2) 14.0%		直方体の体積を求めること	
		計 1(3) 26.2%	加法における計算の確かめの方法を理解すること	図 7(2) 12.9%		平行四辺形のかき方を、合同な三角形のかき方を基に記述すること	
		計 3 33.2%	数直線上に示された分数を読み取ること	図 10(1) 39.6%		直方体の面に垂直な辺を理解すること	
		量 8(2) 39.6%	補角の大きさを求めること	量 図 8(2) 22.9%		示された情報から、3つの三角形において底辺と高さがそれぞれ等しいことを根拠に、面積が等しくなる理由を記述すること	
		計 数 4(2) 39.4%	図と式で表された数量の関係を読み取り、考え方を記述すること	量 数 12(3) 13.5%		示された情報を基に、お風呂にお湯がたまる時間と高さの関係を捉えて、お湯がたまる時間の予想が正しい理由を記述すること →P. 49「小学校算数指導改善のポイント」へ	
	計 図 数 11(3) 7.3%	示された情報から、掲示板からはみ出す台紙の長さや台紙を重ね合わせる部分の数を基に、台紙を重ね合わせる部分の長さの求め方を記述すること					
	経年	計 図 9(1) 34.4% H26A 6 県 46.5% 全国 52.0%	作図に用いられている図形の性質を理解すること	計 1(5) 39.5% H26 1(6) 県 42.2%		小数の除法での余りのある計算をすること	
			計 数 5 42.9% H24 3(2) 県 41.3%		小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解すること		
			計 数 6 24.1% H26 6 県 14.4%		二つの数量の関係を図に表し、基準量を求めるために除法を用いること		

【領域・内容】 計：数と計算、量：量と測定、図：図形、数：数量関係

今後さらに重点となる指導改善のポイント

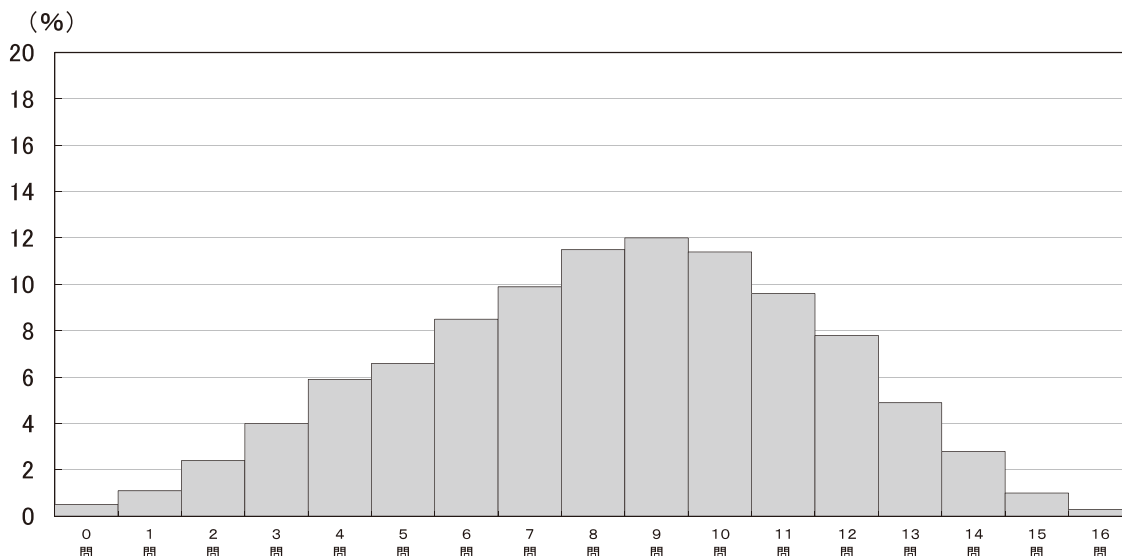
- 分数の意味を、実感を伴って理解できるようにするために、数直線上に分数を示したり、具体物を用いて分数の大きさを捉えさせたりすることが大切である。
- 作図の意味を理解できるようにするために、図形のどのような特徴を活用すれば作図できるかを考えさせることが大切である。
- 問題文から基準量を捉え、分かること（比較量、割合など）を順序よく図に表す活動を取り入れるなど、数量の関係を図に表すことが大切である。

(3) 小学校理科
【分類・区分別の状況】(第5学年理科)

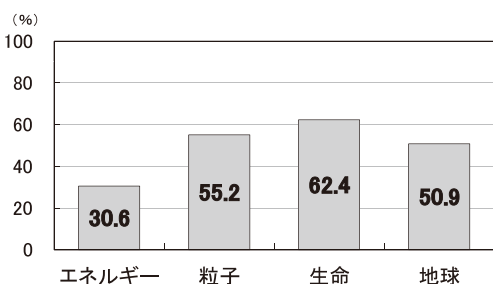
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,401	8.3 / 16	51.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.5
1問	1.1
2問	2.4
3問	4.0
4問	5.9
5問	6.6
6問	8.5
7問	9.9
8問	11.5
9問	12.0
10問	11.4
11問	9.6
12問	7.8
13問	4.9
14問	2.8
15問	1.0
16問	0.3

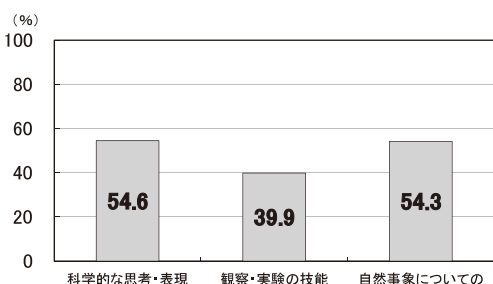
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



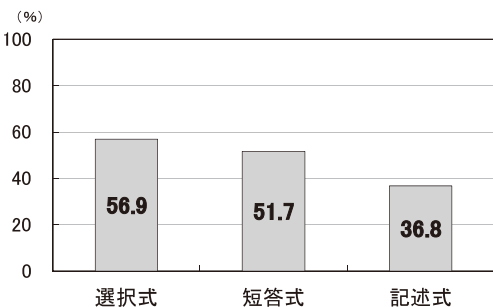
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

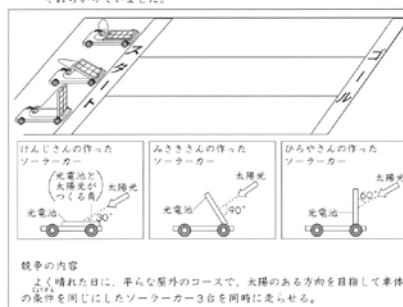


理科の平均正答率は51.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・ソーラーカーの速さについて、光電池と太陽光がつくる角の大きさの違いによる、当たる光の強さと回路に流れる電流の強さを関係付けながら、考察すること

[2(2) 正答率26.9%、無解答率10.0%]

(2) けんじさんは、イベントでもらった光電池とモーターを使ってソーラーカーを作り、みさきさん、ひろやさんと競争することにしました。材料は3人とも同じですが、光電池と太陽光がつくる角の大きさは、それぞれが違ってました。



きりを覚えて何回走らせても、必ずみさきさんが1位でした。けんじさんは、なぜみさきさんの作ったソーラーカーが一番速いのかを不思議に思いました。けんじさんは、光電池と太陽光がつくる角の大きさと回路に流れる電流の強さが関係しているのではないかと考え、調べることにしました。そこで、3人が作ったソーラーカーの光電池と太陽光がつくる角の大きさを同じようにして光を当て、流れる電流の強さをけんじさんの計測のほりにふれて調べました。

【結果】

光電池と太陽光がつくる角の大きさ(度)	30	60	90
けんじさんの計測のほりにさす目もり(A)	0.1	0.3	0.4

※A…電流の強さを表す単位。

【考えたこと】
光電池と太陽光がつくる角の大きさが90度に近いほど、けんじさんの計測のほりにさす目もりが大きくなった。このことから、光電池と太陽光がつくる角の大きさが90度に近いほど、太陽光が光電池によく当たると考えられるので、モーターの回る速さが速くなった。だから、みさきさんのソーラーカーが一番速く走ったと考えられる。

【結果】から、【考えたこと】の()に出てる言葉を書きましょ。

【設問別正答率】（第5学年理科）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		期待正答率(%)	高知県	
							エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式		記述式	正答率(%)
1	(1)			○	水、温度、空気についての条件を変えたそう置から、種子の発芽に水が必要であるかどうかを調べるためのそう置の組み合わせを選ぶ	植物の発芽に必要な条件を確かめる実験について、条件を制御しながら構想できる			(1)イ		○	○	○	○	80	69.2	0.1	
1	(2)			○	発芽前後の種子の中の養分を調べた実験結果をもとに、植物の発芽と種子の中の養分との関係について、当てはまる言葉を書く	植物の発芽と種子の中の養分との関係について、実験結果を基に考察できる			(1)ア		○	○	○	70	76.0	2.4		
1	(3)			○	植物の成長に、肥料が関係するかどうかを調べるための実験について、実験結果をもとに見直した実験方法を書く	植物の成長に関係する条件を確かめる実験について、実験結果を基に実験方法を改善し、その内容を記述できる			(1)ウ		○	○	○	60	58.2	7.5		
1	(4)			○	メダカのだまごの中の変化のようすを、成長の順番に正しく並べかえる	生まれた卵は、日がたつにつれて中の様子が変化して孵化することを理解している			(2)ア		○	○	○	70	39.2	0.4		
1	(5)			○	池の水の観察結果をもとに、メダカが食べ物とするものを書く	魚は、水中の小さな生物を食べ物として生きていることを理解している			(2)イ		○	○	○	80	69.3	3.4		
2	(1)	①		○	温度計の目もりを46℃と読むものを選ぶ	温度計の目盛の正しい読み方を身に付けている			3(3)イ		○	○	○	80	45.8	0.3		
2	(1)	②		○	実験結果をもとに、ソーラークーラーの加熱のしくみについて、当てはまる言葉を書く	ソーラークーラーの加熱の仕組みについて、反射させた太陽光の当て方と物の暖かさとのかわりを関連付けて考えることができる			3(3)アイ		○	○	○	60	19.1	9.4		
2	(2)			○	実験結果をもとに、光電池と太陽光がつくる角の大きさを90度にしたソーラーカーが一番速く走ったわけについて、当てはまる言葉を書く	ソーラーカーの速さについて、光電池と太陽光がつくる角の大きさの違いによる、当たる光の強さと回路に流れる電流の強さを関係付けながら、考察できる			4(3)イ		○	○	○	60	26.9	10.0		
3	(1)			○	方位磁針の正しい使い方を選び、そのときの太陽の方位を書く	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている			3(3)ア		○	○	○	80	45.0	0.7		
3	(2)			○	【かげの観察記録】をもとに、かげがなかった時間の空のようすを選ぶ	影がなかった時間の空の様子について、影の様子と雲の様子とを関連付けて考察できる			3(3)ア 5(4)ア		○	○	○	70	82.7	0.5		
3	(3)			○	天気と気温の変化を関係付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く	天気と気温の変化の関係について、データを基に考察して分析し、その内容を記述できる			3(3)ア 4(3)ア		○	○	○	50	15.3	2.0		
3	(4)			○	4日間の雲画像から、天気の変化のきまりを見だし、予想した天気のようすを選ぶ	気象情報を基に、天気の変化を予想できる			(4)イ		○	○	○	70	60.7	0.9		
4	(1)			○	実験結果をもとに、温度変化と水の体積変化の関係について、当てはまる言葉を書く	温度変化と水の体積変化の関係について、実験結果を基に考察できる			4(2)ア		○	○	○	80	62.6	3.3		
4	(2)			○	温度変化と水の体積変化の関係をもとに、温度計のしくみについて、当てはまる言葉を書く	温度計の仕組みについて、温度変化と水の体積変化の関係を適用して考えることができる			4(2)ア		○	○	○	80	75.4	5.5		
4	(3)			○	アルコールランプの正しい使い方を選ぶ	アルコールランプの適切な扱い方を身に付けている			4(2)ア		○	○	○	80	28.9	1.3		
4	(4)			○	実験結果をもとに、鉄道のレールのつなぎ目にすき間をつくるわけを選ぶ	鉄道のレールのつなぎ目にすき間をつくる理由について、温度変化と金属の体積変化の関係を適用して考えることができる			4(2)ア		○	○	○	70	54.0	1.5		

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校理科における成果と課題】

		第5学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度			
	経年	生	①(3) 58.2% H26 ①(5) 県 45.1%	植物の成長に関係する条件を確かめる実験について、実験結果を基に実験方法を改善し、その内容を記述すること
		地	③(2) 82.7% H24 全国 ④(4) 県 60.3% 全国 64.6%	影がなかった時間の空の様子について、影の様子と雲の様子とを関係付けて考察すること
課題	本年度	生	①(4) 39.2%	生まれた卵は、日がたつにつれて中の様子の変化して孵化することを理解すること
		工	②(1) ① 45.8%	温度計の目盛の正しい読み方を身に付けること
			②(1) ② 19.1%	ソーラークッカーの加熱の仕組みについて、反射させた太陽光の当て方と物の暖かさとのかわりに関連付けて考えること
		②(2) 26.9%	ソーラーカーの速さについて、光電池と太陽光がつくる角の大きさの違いによる、当たる光の強さと回路に流れる電流の強さを関係付けながら、考察すること →P. 51「小学校理科指導改善のポイント」へ	
	粒	④(3) 28.9%	アルコールランプの適切な扱い方を身に付けること	
	経年	地	③(1) 45.0% H24 全国 ④(1) 県 26.4% 全国 27.3%	方位磁針の適切な操作方法を身に付けること
			③(3) 15.3% H24 全国 ④(5) 県 14.0% 全国 16.9%	天気と気温の変化の関係について、データを基に考察して分析し、その内容を記述すること

【領域・内容】工：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

観察、実験の器具について、操作の意味を捉え、適切な扱い方を理解し身に付ける指導の充実

- 観察、実験の器具について、操作手順を理解するだけでなく、操作の意味を考えさせる。
- 児童一人一人が観察、実験の器具を繰り返し扱うことができる場や時間を保証する。

ポイント2

天気の変化について、様々な気象情報と関連付けて考察する指導の充実

- いろいろな天気の日々の気温を調べ、天気による気温の変化の特徴や傾向を捉えさせる。
※複数回測定した気温の変化を、天気別に透明なシート等に表示し、重ねて比べさせるとよい。
※学校行事等と関連させて、天気の変化について興味・関心をもち、気温の変化について調べさせるとよい。
- 一日の中で天気の変化した場合の気温の変化のグラフや雲画像等を、記録温度計やインターネット等で収集し、そのときの天気の変化について多面的に考察させる。

ポイント3

自分の予想と観察、実験の結果を照らし合わせ、より妥当な考えに改善する指導の充実

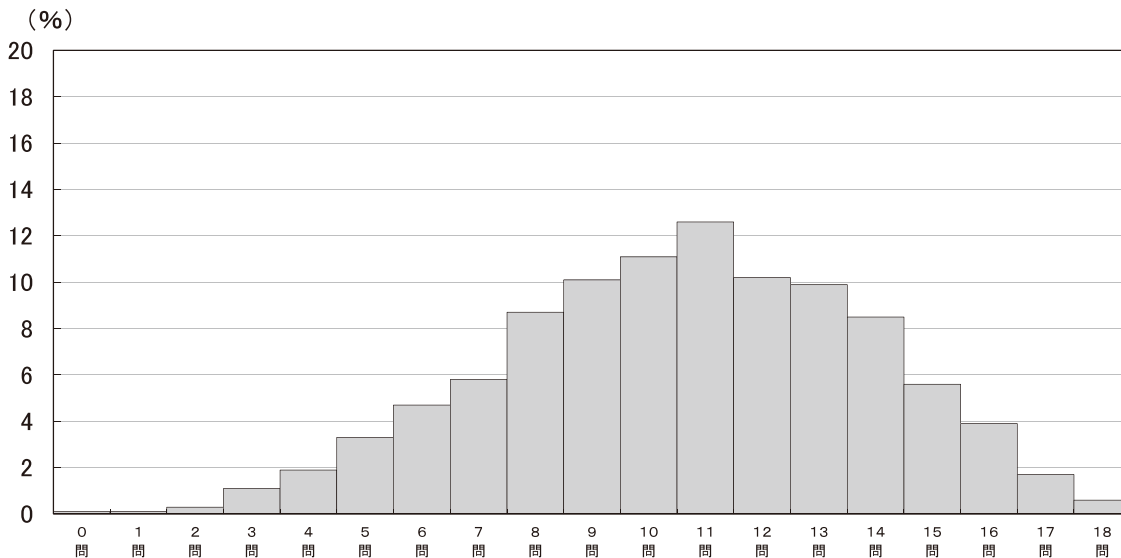
- 問題に正対した予想や仮説を立て、多様な考えを共有させる。
- 自分の予想と観察、実験の結果を照らし合わせ、自分の予想が確認されたのか検討させる。
- 予想が結果と一致しなかった場合、自分や他者の予想を振り返ったり、再検討したりすることで、自分の考えをより妥当なものへ改善し、結果から適切に考察させる。

(4) 中学校国語
【分類・区分別の状況】(第1学年国語)

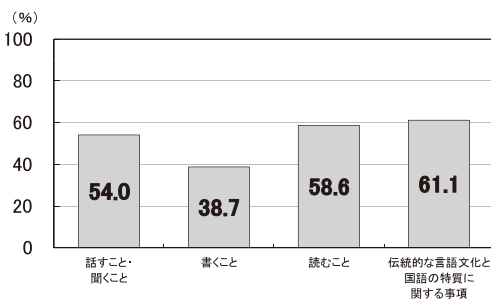
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,605	10.6 / 18	59.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.3
3問	1.1
4問	1.9
5問	3.3
6問	4.7
7問	5.8
8問	8.7
9問	10.1
10問	11.1
11問	12.6
12問	10.2
13問	9.9
14問	8.5
15問	5.6
16問	3.9
17問	1.7
18問	0.6

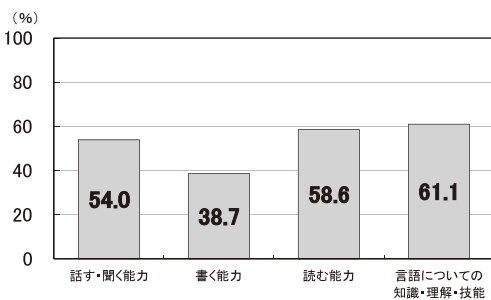
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



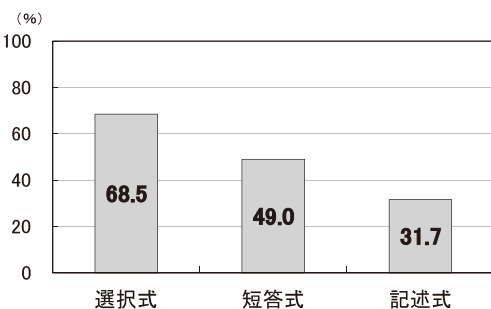
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は59.0%で、例えば次のような課題が見られた。
・画像を選択した理由について根拠を明確にして自分の考えを書くこと
[3三 正答率21.2%、無解答率5.4%]

【画像】
ア

イ

高知県の魅力は、
「選んだ画像」
「選んだ理由」
「選んだ画像に〇をつけてください。」

条件1 「ア」のページの画像を1枚だけ選び、その理由として次の「選んだ理由」欄に記入してください。
条件2 「イ」のページの画像は「ア」の画像と同じか、異なるかを判断し、その理由として次の「選んだ理由」欄に記入してください。
※ 次のページの枠は、下書きに使うことができます。解答は学習帳用紙に書かれます。

※学習シート等との関連

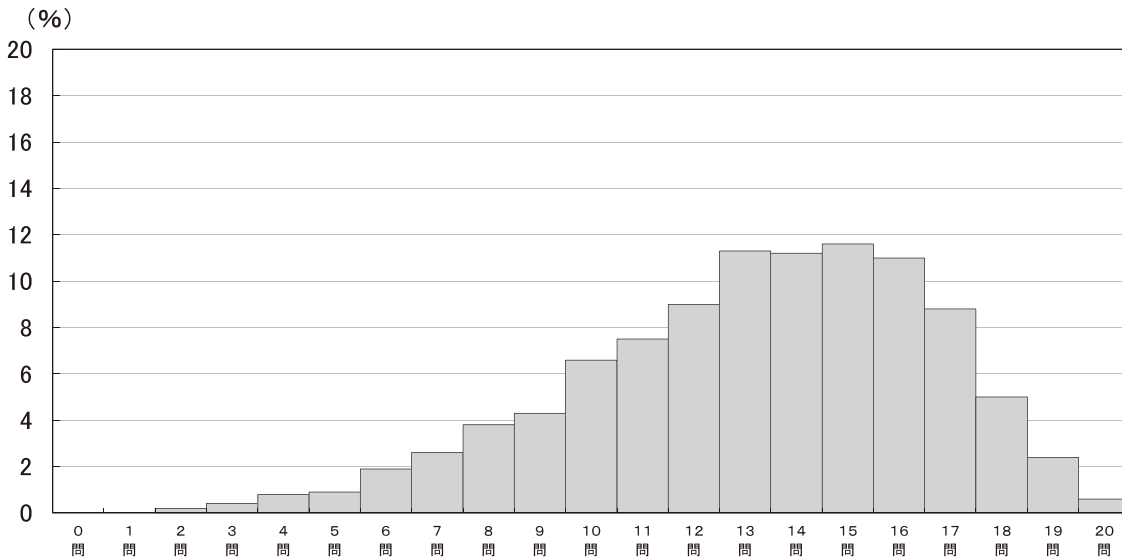
国語学習シート No.12・22・23・26・60
国語学習シート活用事例集 P.13～16

【分類・区分別の状況】(第2学年国語)

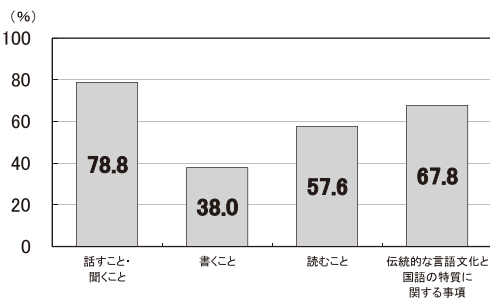
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,775	13.2 / 20	65.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.0
2問	0.2
3問	0.4
4問	0.8
5問	0.9
6問	1.9
7問	2.6
8問	3.8
9問	4.3
10問	6.6
11問	7.5
12問	9.0
13問	11.3
14問	11.2
15問	11.6
16問	11.0
17問	8.8
18問	5.0
19問	2.4
20問	0.6

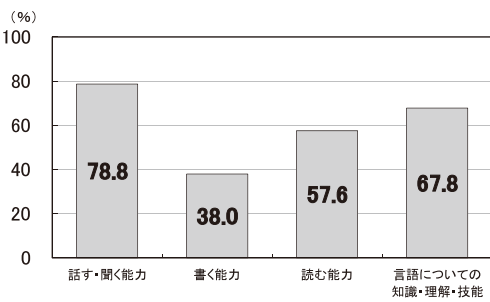
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



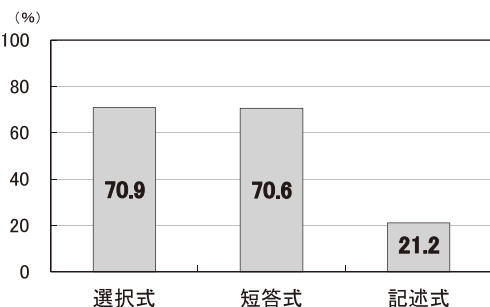
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は65.8%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くこと
- [3三 正答率26.7%、無解答率17.3%]

③ 高知さん山下さんは、ニュース番組で放送された「わたしの国語」について意見を述べた。その意見は、次のように述べられている。

「国語は、わたしの生活の中で、とても大切な役割を果たしている。国語を学ぶことは、自分の考えを正確に伝えるために必要だ。また、国語を学ぶことで、他の人とコミュニケーションがとれ、社会で生きていくことができる。だから、国語をしっかりと学ぶ必要がある。」

この意見について、あなたはどのように考えるか。自分の考えを、国語を学ぶことの重要性について、具体的な理由を挙げて述べよう。

④ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑤ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑥ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑦ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑧ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑨ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑩ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑪ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑫ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑬ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑭ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑮ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑯ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑰ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑱ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑲ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

⑳ 国語の学習で、国語の学習の重要性について、自分の考えを述べよう。

※学習シート等との関連
 国語学習シート No.10・12・23・30・33・50・62・63・66
 国語学習シート活用事例集 P.9～16

【設問別正答率】（第1学年国語）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率(%)	高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式	正答率(%)
1	一	(1)	○		漢字を書く (映画のビジュアルを読む)	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(4)			○	○		80	32.1	18.9	
1	一	(2)	○		漢字を書く (今年の冬は、寒さが生じしい)	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(4)			○	○		80	58.1	14.0	
1	二	(1)	○		漢字を読む (この地域は養蚕がさかんである)	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(7)			○	○		80	23.2	13.2	
1	二	(2)	○		漢字を読む (つり糸を垂らす)	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(7)			○	○		80	94.9	1.2	
1	三	ア	○		適切な語句を選ぶ (安心して思わず笑みをこぼした)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1) イ(9)			○	○		80	84.1	0.3	
1	三	イ	○		適切な語句を選ぶ (温暖化が続く地球の行く末が案じられる)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1) イ(9)			○	○		80	65.7	0.3	
1	三	ウ	○		適切な語句を選ぶ (「ずっと忘れられない出来事がある」という文の体言は出来事である)	単語の類別について理解する				(1) イ(1)			○	○		70	59.5	0.7	
1	四		○		行書で書いた漢字と同じ部首をもつ漢字を選ぶ	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く				(2) イ			○	○		80	95.3	0.2	
1	五	(1)	○		歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				(1) ア(7)			○	○		80	36.7	5.5	
1	五	(2)	○		古文と現代語訳とを対応させ、現代語訳の言葉の組み合わせとして適切なものを選ぶ	古文と現代語訳を対応させ、文章の展開に即して内容を読み取る				ウ			○	○		80	68.9	0.3	
1	六	(1)	○		話し方の工夫として、適切でないものを選ぶ	聞き手に分かりやすい話し方をする				ウ			○	○		70	57.7	0.4	
1	六	(2)	○		スピーチを聞いた人が、関心をもって聞き取ったと考えられる内容として適切なものを選ぶ	話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る				エ			○	○		70	50.3	0.6	
2	一		○		語句から考えられる登場人物の様子として適切なものを選ぶ	文脈の中における語句の意味を理解する				ア			○	○		80	84.3	0.5	
2	二		○		物語の内容をまとめたノートの一部に当てはまる内容として適切なものを選ぶ	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する				ウ			○	○		70	73.0	0.7	
2	三		○		登場人物の立場になって、伝える内容を書く	伝える内容について根拠を明確にして自分の考えを書く				ウ	オ		○	○	○	50	42.3	18.6	
3	一		○		ウェブページや調査結果などの資料から分かることとして適切なものを選ぶ	複数の資料を読み、目的や必要に応じて要旨を捉える				イ			○	○		70	62.1	1.2	
3	二		○		ウェブページの文の接続の言葉を書き換えたものとして適切なものを選ぶ	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える				エ			○	○		70	52.5	1.3	
3	三		○		二つの画像からウェブページに使用する画像の一つを選び、その画像を選んだ理由を書く	画像を選択した理由について根拠を明確にして自分の考えを書く				ウ	カ		○	○	○	40	21.2	5.4	

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年国語）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題 主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)
1	一	(1)	○	漢字を書く (地域の人をショウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1) ウ(4)			○	○	80	57.4	13.2	
1	一	(2)	○	漢字を書く (練習時間を <u>手</u> ずめる)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1) ウ(4)			○	○	80	86.0	7.0	
1	二	(1)	○	漢字を読む (警告を発する)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1) ウ(7)			○	○	80	98.8	0.3	
1	二	(2)	○	漢字を読む (山の頂に立つ)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1) ウ(7)			○	○	80	78.1	2.6	
1	三	ア	○	適切な語句を選ぶ (毎週、日曜日に市が立つそうだ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			(1) イ(4)			○	○	80	38.3	0.3	
1	三	イ	○	適切な語句を選ぶ (道路の完成まで、十年におよぶ歳月が流れた)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1(1) イ(7)			○	○	80	95.5	0.1	
1	三	ウ	○	適切な敬語を選ぶ (元気に過ごしております)	敬語について理解する			(1) イ(7)			○	○	80	79.9	0.3	
1	四		○	文字を書く際に生かした助言として適切なものを選ぶ	文字の大きさ、配列などに注意して書く			1(2) ア			○	○	80	43.6	0.1	
1	五	(1)	○	歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1) ア(7)			○	○	80	68.7	7.0	
1	五	(2)	○	古文の教訓を使ってアドバイスをする場面として適切なものを選ぶ	文章の展開に即して語句の意味を理解し、適切に用いる		1ア				○	○	70	63.7	0.3	
1	六	(1)	○	フリップの効果の説明したものととして適切なものを選ぶ	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す		ウ				○	○	80	74.8	0.2	
1	六	(2)	○	発表を聞いてから質問する内容として適切なものを選ぶ	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す		1エ				○	○	70	82.7	0.3	
1	七	(1)	○	書き加える描写として適切なものを選ぶ	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える		ウ				○	○	80	75.0	0.4	
1	七	(2)	○	主人公の心配な気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える		エ				○	○	70	34.4	15.9	
2	一		○	二つの話に共通する内容について適切なものを選ぶ	複数の文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ			○	○	70	83.9	0.3	
2	二		○	「一杯食わせやがって」と言った人物の気持ちとして適切なものを選ぶ	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その気持ちを想像する			イ (1) ア(4)			○	○	70	83.9	0.5	
2	三		○	落語のセリフの読み方を選択し、なぜそのように読むのか本文を根拠にその理由を書く	落語に表れているものの方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	エ (1) ア(7)			○	○	50	15.7	14.6	
3	一		○	新聞記事の特徴を説明したものととして適切なものを選ぶ	文章の構成や表現の特徴を捉える			1エ			○	○	60	63.1	1.2	
3	二		○	二つの新聞記事の内容を説明したものととして適切なものを選ぶ	複数の資料を読み、要旨を捉える			1イ			○	○	60	66.0	1.3	
3	三		○	土佐サンゴの保護について賛成する意見を選び、選んだ理由を新聞記事を引用して書く	読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書く		ウ	エ			○	○	40	26.7	17.3	

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校国語における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	伝 1三ア 84.1%	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと 笑みをこぼした	伝 1三イ 95.5%	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと 十年におよぶ歳月	
		伝 1四 95.3%	漢字の楷書と行書との違いを理解して書くこと	話 1六(2) 82.7%	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すこと	
	経年	読 2一 84.3% H26A 3二 県 78.4% 全国 79.8%	文脈の中における語句の意味を理解すること	読 2一 83.9% H26B 3一 県 43.5% 全国 52.0%	複数の文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ること	
		読 2二 83.9% H26B 3二 県 64.5% 全国 67.2%	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その気持ちを想像すること			
課題	本年度	伝 1一(1) 32.1%	文脈に即して漢字を正しく書くこと ヒヒョウ	伝 1三ア 38.3%	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと 市が立つ	
		伝 1二(1) 23.2%	文脈に即して漢字を正しく読むこと 養蚕	伝 1四 43.6%	文字の大きさ、配列などに注意して書くこと	
		書 読 2三 42.3%	伝える内容について根拠を明確にして自分の考えを書くこと	書 1七(2) 34.4%	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えること	
	経年	伝 1五(1) 36.7% H26 1五(1) 県 49.0%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと	書 読 伝 2三 15.7% H26B 3三 県 42.4% 全国 46.5%	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと	
		書 読 3三 21.2% H23B 1三 県 32.6%	画像を選択した理由について根拠を明確にして自分の考えを書くこと	書 読 3三 26.7% H20B 3三 県 45.9% 全国 53.7%	読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くこと →P. 53「中学校国語指導改善のポイント」へ	

【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

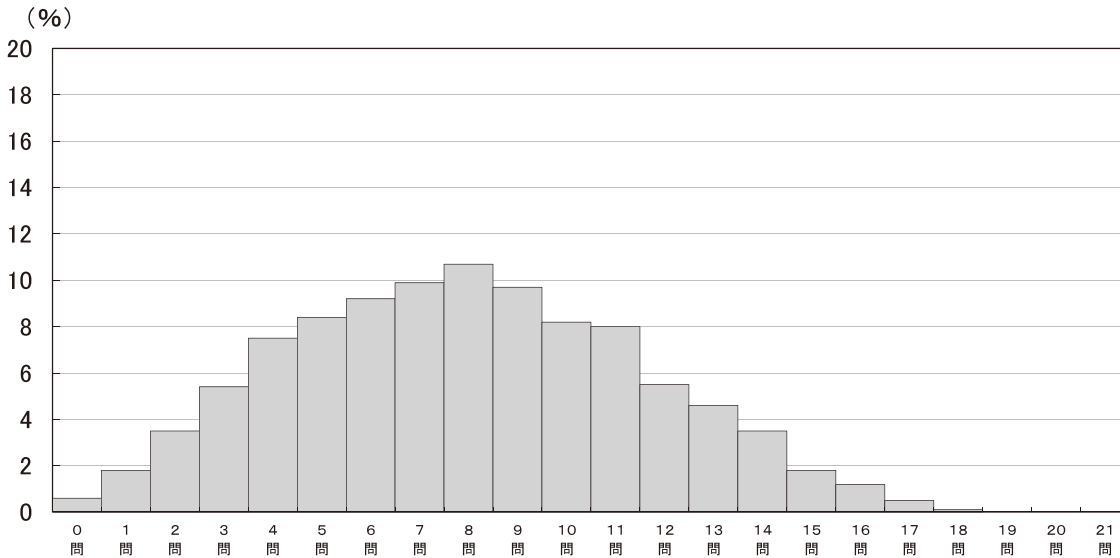
- 文学的な文章を読む際には、話の展開に沿って登場人物の心情の変化などについて、根拠を明確にして自分の考えをもつ学習活動の充実を図る。
- 自分の考えを書く際には、考えの裏付けとなる事柄を具体的に挙げたり、自分と異なる立場の意見も踏まえ、自分の考えを深めたりした上で、文章を書く学習活動の充実を図る。
- 書く力を付けるためには、生徒が記述したものを教師が適切に評価することが重要である。

(5) 中学校社会
【分類・区別の状況】(第1学年社会)

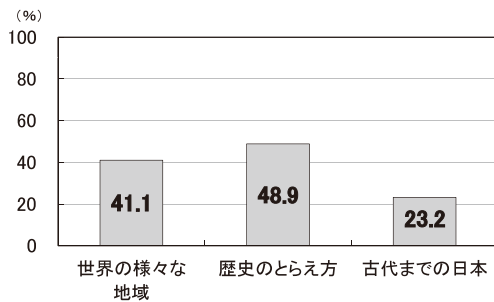
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,598	8.0 / 21	37.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.8
2問	3.5
3問	5.4
4問	7.5
5問	8.4
6問	9.2
7問	9.9
8問	10.7
9問	9.7
10問	8.2
11問	8.0
12問	5.5
13問	4.6
14問	3.5
15問	1.8
16問	1.2
17問	0.5
18問	0.1
19問	0.0
20問	0.0
21問	0.0

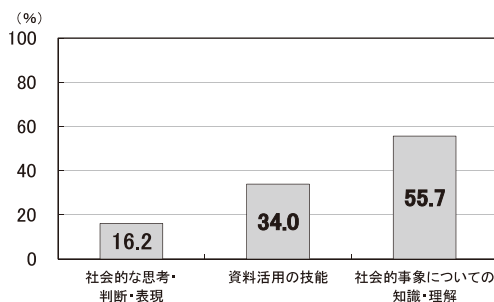
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



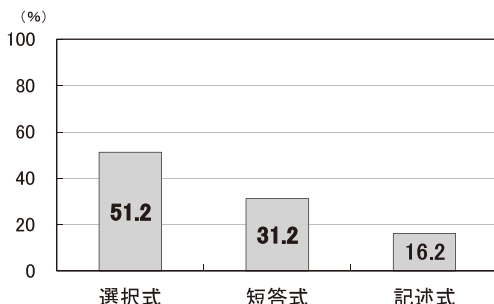
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式






社会の平均正答率は37.9%で、例えば次のような課題が見られた。
・資料を基に、遣唐使の派遣によって、国際的な要素をもった文化が栄え、遣唐使の廃止後に文化の国風化が進んだことについて、説明すること [7(5) 正答率14.3%、無解答率40.0%]

7 高橋さんは、飛鳥時代から平安時代までの日本と中国のできごとを下の【年表】にまとめ、それをもとに、「飛鳥時代から平安時代までの日本の国づくり」について調べています。次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

(5) 高橋さんは、「飛鳥時代から平安時代までの日本の国づくり」について調べている中で、資料4、資料5を見つけました。2つの資料は、それぞれ8世紀と11世紀を代表する文化財です。高橋さんは、政治の面だけでなく、文化の面でも日本と中国のかかわりを考えるために、下の【学習メモ】のように整理しました。【学習メモ】をもとに、8世紀と11世紀の文化の特色を、その文化に影響を与えた15ページの【年表】中の日本のできごとと関連づけて書きなさい。

【学習メモ】

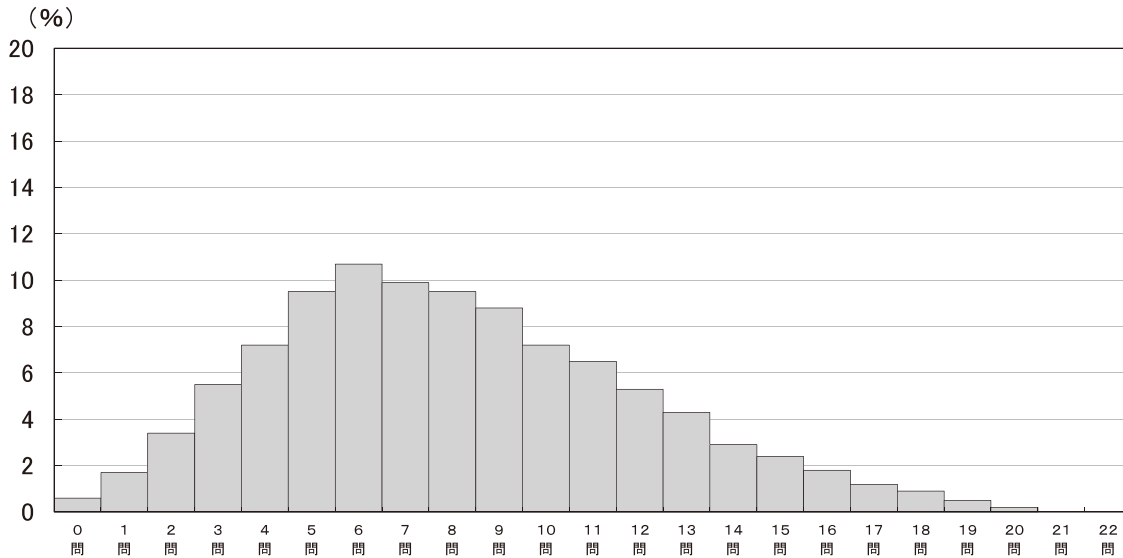
8世紀		11世紀
資料4 鳥毛立女屏風 (日本)  (正倉院宝物館蔵)	資料5 樹下美人図 (中国)  (MOA美術館蔵)	源氏物語絵巻の一部 (日本)  (徳川美術館蔵)
【気づいたこと】 2つの絵に描かれている人物や服装のようすが似ている。		【気づいたこと】 女性の服装(十二単)や家の中の畳・ふすまなどに日本風の特徴が見られる。

【分類・区分別の状況】(第2学年社会)

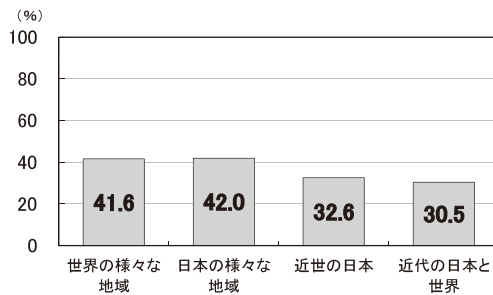
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,811	8.1 / 22	36.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.7
2問	3.4
3問	5.5
4問	7.2
5問	9.5
6問	10.7
7問	9.9
8問	9.5
9問	8.8
10問	7.2
11問	6.5
12問	5.3
13問	4.3
14問	2.9
15問	2.4
16問	1.8
17問	1.2
18問	0.9
19問	0.5
20問	0.2
21問	0.0
22問	0.0

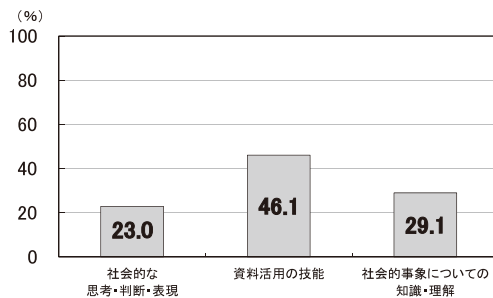
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



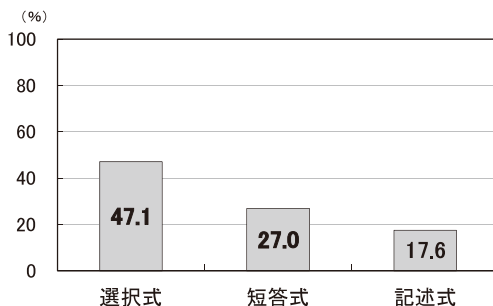
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



社会の平均正答率は36.7%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、明治政府による改革のねらいについて、説明すること

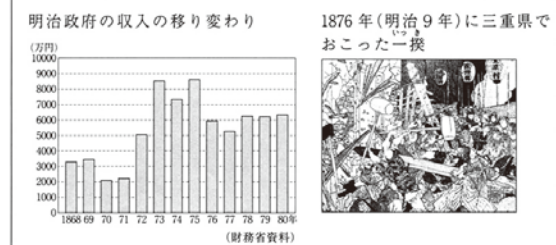
[5(3)② 正答率5.9%、無解答率38.9%]

5 白石さんの学級では、明治政府が進めた国づくりについて学習しています。白石さんは、明治政府による近代化と人々の生活への影響について調べています。次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(3) 白石さんは、明治政府が行った改革について江戸時代と比較して、下の表のようにまとめました。次の①、②の各問いに答えなさい。

② 白石さんは、明治政府の改革である「地租改正」について、17ページの表と【資料3】をもとに、明治政府のねらいと人々の受け止め方について考え、下の【地租改正について】のようにまとめました。なぜ、地租改正により、国の収入が安定したのかを、「税率」と「現金」の2つの語句を使って書きなさい。

【資料3】



【地租改正について】

明治政府のねらい
国の収入を安定させること。

人々の受け止め方

土地を個人が所有することができたが、江戸時代と変わらず生活が苦しいため、地租改正反対一揆を起こした。

【設問別正答率】（第1学年社会）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県		
							世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		1 (1)	○		世界地図をもとに、三大洋のすべてに面している大陸名を選ぶ	資料を基に、大陸と海洋の位置関係について、読み取ることができる	(1)ア				○	○			80	74.1	0.6	
		1 (2)	○		地図に示された都市の中で、東京から真西に位置する都市名を選ぶ	資料から、地球上の位置関係を正しく読み取ることができる	(1)ア				○	○			80	26.9	0.5	
		1 (3)	○		経度0度の経線の名称(本初子午線)を書く	本初子午線の意味を理解している	(1)ア				○	○			80	57.9	10.0	
		1 (4)	○		地図を見て、インド洋と大西洋の位置として正しいものを選ぶ	三大洋の位置関係を理解している	(1)ア				○	○			80	65.6	0.2	
		2 (1)	○		赤道に近い2つの都市で気候のようすが異なる理由を、資料から読み取って書く	資料から、気候に影響を与える条件を読み取ることができる	(1)イ				○	○			70	60.2	11.8	
		2 (2)	○		気温と降水量のグラフを参考に、熱帯気候の地域で見られる伝統的な住居として適切なものを選ぶ	気候の特色と関連付けて、住居の工夫を読み取ることができる	(1)イ				○	○			80	58.4	0.6	
		3 (1)	○		EUが進めている統合の内容として、適切でないものを選ぶ	EU加盟国における統合の内容を理解している	(1)ウ (1)				○	○			80	49.5	1.3	
		3 (2)	○		表をもとに、EUが統合を進めている理由に当てはまる内容を書く	資料を基に、ヨーロッパと、アメリカや日本を比較し、EUの統合の理由について、読み取ることができる	(1)ウ (1)				○	○			70	17.5	12.0	
		3 (3)	○		資料をもとに、EU加盟国間で、労働者や企業に動きがある理由を説明する	資料を基に、EU加盟国における人々の移動などについて考察し、ヨーロッパの地域的特色について、説明することができる	(1)ウ (1)				○	○			50	5.4	25.0	
		4 (1)	○		アジア州の人口と人口上位10か国に占めるアジアの国の数を、資料から読み取って書く	資料から、アジアにおける人口の変化を読み取ることができる	(1)ウ (7)				○	○			70	4.6	5.9	
		4 (2)	○		資料をもとに、アジア州の国々で三大宗教やヒンドゥー教が広がり信仰された理由を、「交易路」の語句を使って説明する	資料を基に、アジアにおける宗教の広がりを考察し、説明することができる	(1)ウ (7)				○	○			40	31.6	30.8	
		5 (1) ①	○		社会のしくみの特徴で大きく区分したとき、古代の時代区分に当てはまる文を選ぶ	時代区分について理解している	(1)ア				○	○			80	46.6	1.2	
		5 (1) ②	○		資料を参考に、西暦を世紀を表す	年代の表し方について理解している	(1)ア				○	○			80	59.5	6.8	
		5 (2)	○		歴史上の人物について調べるとき、その調査方法として、適切でないものを選ぶ	歴史の学び方を理解している	(1)イ				○	○			80	75.2	1.2	
		6 (1)	○		古代の日本と東アジアとのかかわりを示した資料に当てはまる地図を選ぶ	資料から、東アジアの国々と日本とのかかわりについて読み取ることができる	(2)ア				○	○			70	45.7	1.2	
		6 (2)	○		資料をもとに、渡来人が日本の社会に果たした役割についてまとめた文に当てはまる語句を書く	資料を基に、大陸より移住してきた人々が、我が国の社会に果たした役割について、読み取ることができる	(2)ア				○	○			70	5.8	14.0	
		7 (1)	○		資料をもとに、聖徳太子が目指した政治の方針について述べた文として、適切なものを選ぶ	資料を基に、聖徳太子の政治の特色について、読み取ることができる	(2)イ				○	○			70	34.4	1.6	
		7 (2)	○		律令国家の確立に至るまでの期間の日本のできごとに関する資料を、年代の古い順に並べかえる	資料から、国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開した過程を読み取ることができる	(2)イ				○	○			60	12.5	5.0	
		7 (3)	○		鑑真が来日した年代として適切な期間を選ぶ	仏教の伝来とその影響に関するできごとを理解している	(2)ウ				○	○			70	35.7	4.6	
		7 (4)	○		資料をもとに、藤原氏がどのように政治の実権をにぎったかを説明する	資料を基に、摂関政治の特色について、説明することができる	(2)イ				○	○			50	13.7	23.0	
		7 (5)	○		資料をもとに、8世紀と11世紀の文化の特色を、その文化に影響を与えた年表中の日本のできごとと関連づけて説明する	資料を基に、遣唐使の派遣によって、国際的な要素を持った文化が栄え、遣唐使の廃止後に文化の国風化が進んだことについて、説明することができる	(1)ウ (2)ウ				○	○			40	14.3	40.0	

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年社会）

大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			高知県		
						世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界	資料活用の技能	社会的な思考・判断・表現	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)
1	(1)	○		東京から真東に進んだときに通る大陸や海洋の順をもとに、中心からの方位が正しい地図を選ぶ	地球上の位置関係を基に、世界地図の特色について、読み取ることができる	(1)ア				○	○				80	51.0	1.2
1	(2)	○		地図をもとに、条件をすべて満たす国を選ぶ	世界地図の特色を基に、与えられた条件を満たす国の位置を読み取ることができる	(1)ア				○	○				70	52.5	0.2
1	(3)	○		クライストチャーチの地球上の正反対に当たる都市を選ぶ	示された情報を基に、対蹠点の意味を理解し、当該都市の対蹠点を読み取ることができる	(1)ア				○	○				60	49.7	0.4
1	(4)	○		排他的経済水域について正しく述べている文を選ぶ	排他的経済水域について理解している		(2)ア			○	○				70	34.5	0.4
1	(5)	○		地図を用いて、東京が平成28年1月1日午後2時のときのクープタウンの日時として正しいものを選ぶ	地図を活用し、時差から当該都市の時刻を求めることができる		(2)ア			○	○				70	44.7	1.0
2	(1)	○		マレーシアやタイの輸出品の変化についてまとめた文に当てはまる語句を、資料から読み取って書く	資料から、東南アジアの国々の輸出品の変化を読み取ることができる	(1)ウ	(7)			○	○				80	52.7	4.6
2	(2)	う	○	マレーシアの外国企業誘致政策の内容を、資料から読み取って書く	資料から、外国の企業がアジアの国に進出している理由を読み取ることができる	(1)ウ	(7)			○	○				60	26.6	23.8
2	(2)	え	○	東南アジアの国々の真金と日本、アメリカ、フランスの真金のちがいを、資料から読み取って書く	資料から、外国の企業がアジアの国に進出している理由を読み取ることができる	(1)ウ	(7)			○	○				60	17.0	20.5
3	(1)	○		地図と、気温と降水量のグラフを参考に、近畿地方の3つの地域に当てはまる自然環境をまとめた文を選ぶ	地形と、気温と降水量のグラフから、近畿地方の3地域の気候の特色を読み取ることができる		(2)ウ	(4)		○	○				70	76.6	0.4
3	(2)	○		大阪市、京都市、神戸市の各都市の歴史的背景と関係の深い資料を選ぶ	資料から、地域を特色付ける歴史的背景を読み取ることができる		(2)ウ	(4)		○	○				70	33.1	0.6
3	(3)	○		資料をもとに、京都市は歴史的景観の保全にどのように取り組んでいるかを、「規制」と「活用」の2つの視点で説明する	資料を基に、古都における歴史的背景の保全の取り組みを2つの視点で考察し、説明することができる		(2)ウ	(4)		○	○				40	21.1	32.7
4	(1)	①	○	織田信長が行った政治の特色を参考に、それに関係する資料として適切でないものを選ぶ	資料から、織田信長の政治の特色を読み取ることができる		(4)ア			○	○				70	45.9	0.7
4	(1)	②	○	資料をもとに、豊臣秀吉が行った政治の特色として適切なものを選ぶ	資料を基に、豊臣秀吉の政治の特色について、読み取ることができる		(4)ア			○	○				80	70.4	0.8
4	(2)	○		資料をもとに、幕府の政策の目的を、「参勤交代」と「外様大名」の2つの語句を使って説明する	資料を基に、江戸幕府の大名統制の目的を、説明することができる		(4)イ			○	○				40	15.4	34.7
4	(3)	○		資料を関連づけて、江戸時代の農業の発達について、「耕地面積」と「石高」の2つの語句を使って説明する	資料を関連づけ、江戸時代の農業の特色について、説明することができる		(4)ウ			○	○				50	23.4	30.0
4	(4)	①	○	資料をもとに、百姓一揆の発生件数が急に増えた理由を、「ききん」と「年貢」の2つの語句を使って説明する	資料を基に、幕府の政治改革と農民の生活について、説明することができる		(4)エ			○	○				40	22.3	29.7
4	(4)	②	○	幕府が行った3つの政治改革の内容に当てはまるものを選ぶ	幕府が行った政治改革の内容を理解している		(4)エ			○	○				70	18.3	1.5
5	(1)	①	○	フランス革命の前後のようすを、資料から読み取り、正しいものを選ぶ	資料から、欧米諸国における市民革命による社会の変化を読み取ることができる		(5)ア			○	○				80	71.4	1.1
5	(1)	②	○	イギリスなど欧米諸国が産業革命後、本格的にアジアに進出した理由として適切なものを選ぶ	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアに進出した目的を理解している		(5)ア			○	○				80	16.6	1.6
5	(2)	○		明治政府が近代化を進める中で行ったこととして適切でないものを選ぶ	新政府による改革の特色を理解している		(5)イ			○	○				80	47.0	2.6
5	(3)	①	○	明治時代の教育についてまとめた文に当てはまる語句を、資料から読み取って書く	江戸時代との違いに着目し、資料から、明治政府による改革のねらいを読み取ることができる		(5)イ			○	○				70	11.7	13.8
5	(3)	②	○	地租改正により国の収入が安定した理由を、「税率」と「現金」の2つの語句を使って説明する	資料を基に、明治政府による改革のねらいについて、説明することができる		(5)イ			○	○				50	5.9	38.9

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校社会における成果と課題】

		第1学年			第2学年		
		問題番号	出題のねらい	問題番号	問題番号	出題のねらい	
成果	本年度						
	経年			日本 ③(1) 76.6% H25 ④ d 県 51.4%		地形と、気温と降水量のグラフから、近畿地方の3地域の気候の特色を読み取ること	
課題	本年度	世界 ①(2) 26.9%	資料から、地球上の位置関係を正しく読み取ること	世界 ②(2) 17.0%		資料から、外国の企業がアジアの国に進出している理由を読み取ること ※当該生徒第1学年時との比較	
		③(3) 5.4%	資料を基に、EU加盟国における人々の移動などについて考案し、ヨーロッパの地域的特色について、説明すること	日本 ③(3) 21.1%		資料を基に、古都における歴史的背景の保全の取り組みを2つの視点で考察し、説明すること	
		古代 ⑥(2) 5.8%	資料を基に、大陸より移住してきた人々が、我が国の社会に果たした役割について、読み取ること	近世 ④(3) 23.4%		資料を関連付け、江戸時代の農業の特色について、説明すること	
		⑦(2) 12.5%	資料から、国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開した過程を読み取ること	④(4) 22.3%		資料を基に、幕府の政治改革と農民の生活について、説明すること	
		歴史 古代 ⑦(5) 14.3%	資料を基に、遣唐使の派遣によって、国際的な要素をもった文化が栄え、遣唐使の廃止後に文化の国風化が進んだことについて、説明すること →P. 55「中学校社会指導改善のポイント」へ	⑤(3) ① 11.7%		江戸時代との違いに着目し、資料から、明治政府による改革のねらいを読み取ること	
	経年	古代 ⑦(4) 13.7% H25 ⑦(1) ② 県 37.5%	資料を基に、摂関政治の特色について、説明すること	近世 ④(2) 15.4% H25 ⑥ (2) 県 3.5% (3) 〇県 35.1% ⑤ 県 23.2% 近代 ⑤(3) ② 5.9% H26 ⑥(3) 県 38.9%		資料を基に、江戸幕府の大名統制の目的を、説明すること 資料を基に、明治政府による改革のねらいについて、説明すること	

【領域・内容】 世界：世界の様々な地域、 日本：日本の様々な地域
歴史：歴史のとらえ方、 古代：古代までの日本、 近世：近世の日本、 近代：近代の日本と世界

今後さらに重点となる指導改善のポイント

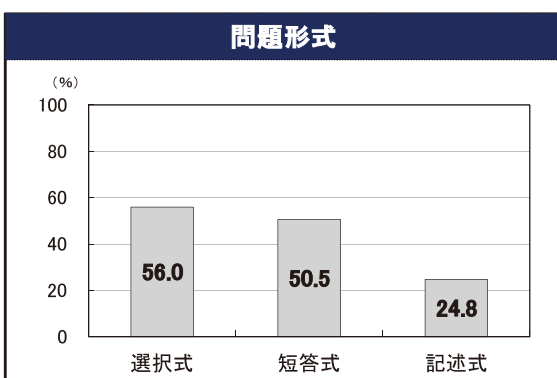
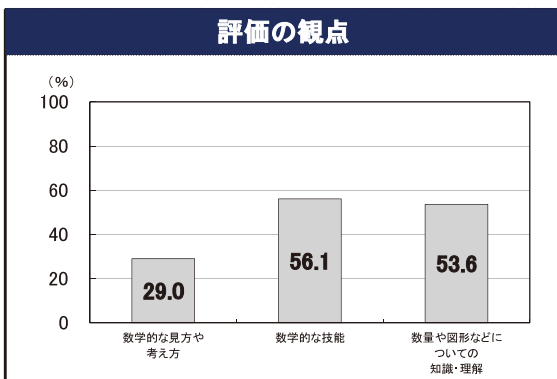
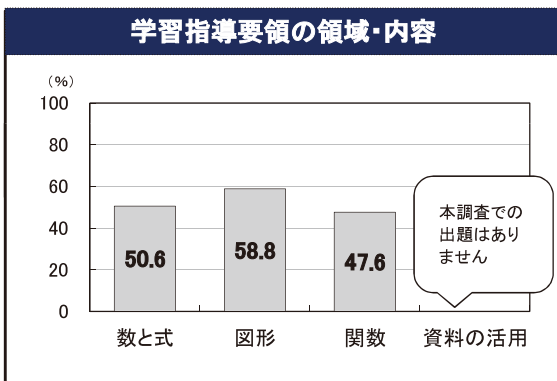
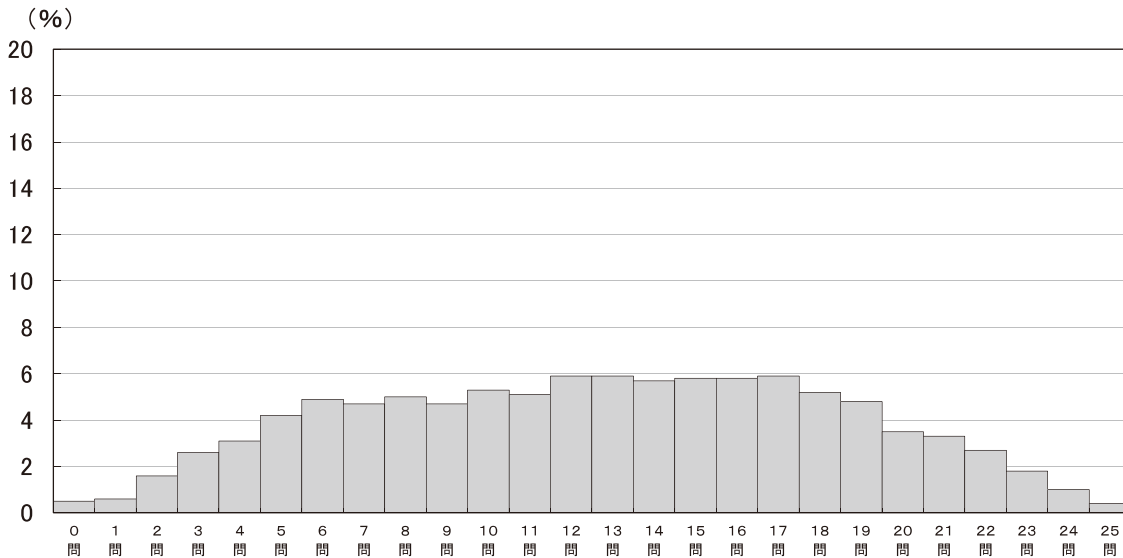
- 地域的特色を捉えさせるために、「なぜこの地域には、このような特色ある生活・文化が根付いているのか」などの問いかけを基にして、資料から読み取った情報を比較したり、関連付けたりしながら、分かったことや考えたことを整理してまとめることなどが大切である。
- 各時代の特色を捉えさせるために、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、時代が変化してきた要因を考察し、自分の言葉で表現することなどが大切である。
- 知識を覚えさせる学習で終わるのではなく、身に付けた社会的な見方や考え方を活用して社会的な事象を考察させる学習活動を組み込むことが重要である。

(6) 中学校数学
【分類・区別の状況】(第1学年数学)

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,592	12.7 / 25	50.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.5
1問	0.6
2問	1.6
3問	2.6
4問	3.1
5問	4.2
6問	4.9
7問	4.7
8問	5.0
9問	4.7
10問	5.3
11問	5.1
12問	5.9
13問	5.9
14問	5.7
15問	5.8
16問	5.8
17問	5.9
18問	5.2
19問	4.8
20問	3.5
21問	3.3
22問	2.7
23問	1.8
24問	1.0
25問	0.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

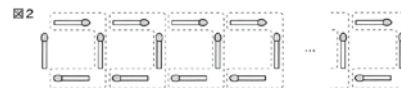


数学の平均正答率は50.7%で、例えば次のような課題が見られた。

・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること

[6(2) 正答率22.4%、無解答率25.8%]

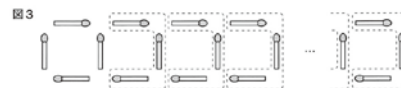
(2) 図2のような囲み方をすると、マッチ棒全部の本数は、 $3n+1$ という式で求めることができます。マッチ棒全部の本数を求める式が $3n+1$ になる理由は、次のように説明できます。



説明

正方形の3つの辺を囲んでいるから、1つのまともりは3本である。同じまともりが n 個あるので、このまともりで数えたマッチ棒の本数は $3n$ 本になる。
このとき、マッチ棒を1本数えていないので、マッチ棒全部の本数は $3n$ 本より1本多い。
したがって、マッチ棒全部の本数を求める式は、 $3n+1$ になる。

図3のように囲み方をやってみると、マッチ棒全部の本数は、 $3(n-1)+4$ という式で求めることができます。マッチ棒全部の本数を求める式が $3(n-1)+4$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。



説明

したがって、マッチ棒全部の本数を求める式は、 $3(n-1)+4$ になる。

※学習シート等との関連

1年数学シート No.2

全国学力・学習状況調査B問題集

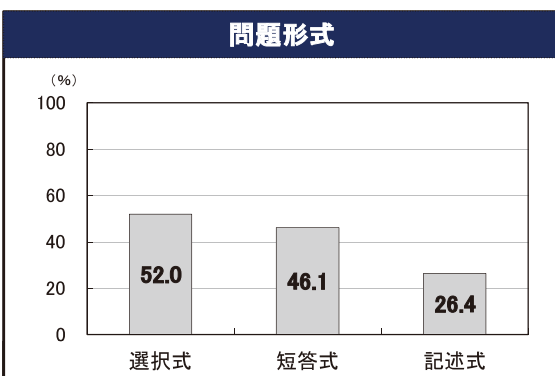
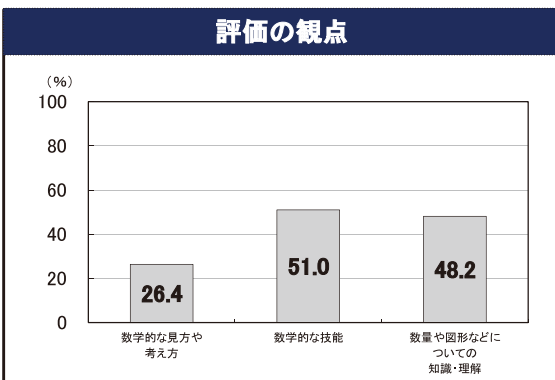
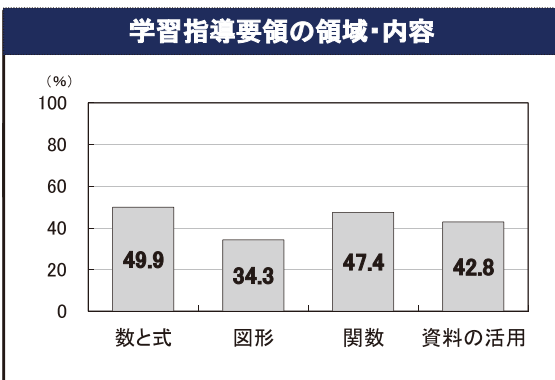
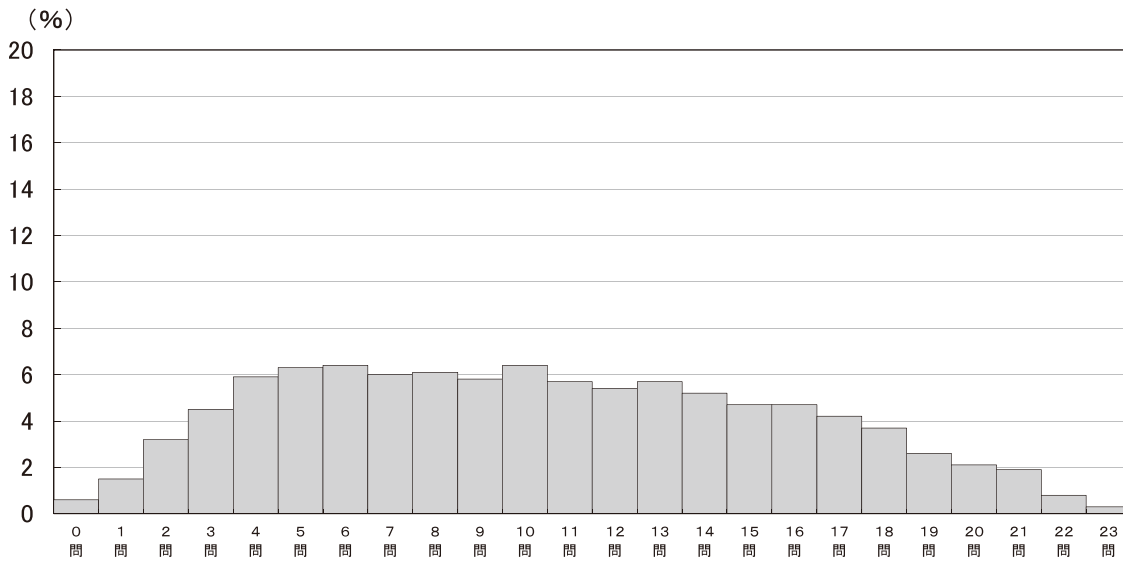
第1学年A数と式(25年度)6

【分類・区分別の状況】(第2学年数学)

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,805	10.4 / 23	45.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.5
2問	3.2
3問	4.5
4問	5.9
5問	6.3
6問	6.4
7問	6.0
8問	6.1
9問	5.8
10問	6.4
11問	5.7
12問	5.4
13問	5.7
14問	5.2
15問	4.7
16問	4.7
17問	4.2
18問	3.7
19問	2.6
20問	2.1
21問	1.9
22問	0.8
23問	0.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



数学の平均正答率は45.3%で、例えば次のような課題が見られた。

・発展的に考え、予想した事柄を説明すること
[7(2) 正答率42.3%、無解答率37.0%]

7 美咲さんは、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を
入れかえた数の和がどんな数になるかを調べています。

(2) 美咲さんは、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を
入れかえた数の差は、どんな数になるかを考えてみたいと思い、いくつか
の場合を調べました。

32 のとき $32 - 23 = 9$
 74 のとき $74 - 47 = 27$
 18 のとき $18 - 81 = -63$
 …… ……

これらのことから、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の
数を入れかえた数の差について、どのようなことが予想できますか。
前ページの予想のように、「～は、……になる。」という形で書きなさい。

※学習シート等との関連
 全国学力・学習状況調査B問題集
 第2学年A数と式(25年度)2

【設問別正答率】（第1学年数学）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点	問題形式			期待正答率(%)	高知県	
							数と式	図形	関数		数式的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式		短答式	記述式
1	(1)	○			$4 + (-5) - (-2)$ を計算する	正の数と負の数の加法・減法の計算ができる	(1)ウ			○	○	○	90	73.5	2.9	
1	(2)	○			(-3^2) と同じ計算を表しているものを選ぶ	指数の計算の仕方を理解している	(1)ウ			○	○	○	80	72.1	0.3	
1	(3)	○			$2-3$ を加法の交換法則によって表したものをを選ぶ	数の範囲を負の数まで拡張したときの加法の交換法則の意味を理解している	(1)イ			○	○	○	60	56.9	0.6	
1	(4)	○			-2.7°C が 0.8°C より何度低いかを求める	正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付けて理解している	(1)ア,エ			○	○	○	80	23.1	4.2	
1	(5)	○			減法の計算は、整数の範囲では成り立つが、自然数の範囲では成り立たないことを選ぶ	数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることを理解している	(1)ア			○	○	○	60	58.0	0.7	
2	(1)	○			$a \times b \times (-3) \times a$ を文字を用いた式の表し方にしたがって書く	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる	(2)イ			○	○	○	90	71.3	10.2	
2	(2)	○			$(8x + 5) - (3x - 2)$ を計算する	一次式の加法・減法の計算ができる	(2)ウ			○	○	○	70	41.0	6.5	
2	(3)	○			$a = -7$ のときの式 $-2a$ の値を求める	文字式に数を代入して、式の値を求めることができる	(2)エ			○	○	○	80	64.6	10.7	
2	(4)	○			不等式 $x \geq 30$ が表していることがらとして正しいものを選ぶ	不等式が表す数量の大小関係を理解している	(2)エ			○	○	○	70	54.9	0.5	
2	(5)	○			ある商品の税抜価格が a 円るとき、8%の消費税込価格を求める	数量を文字式で表すことができる	(2)エ			○	○	○	50	14.4	17.9	
3	(1)	○			一次方程式の解が正しいことを確かめているものを選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	(3)ア			○	○	○	70	66.0	1.7	
3	(2)	○			一次方程式 $3x + 2 = 8$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	(3)イ			○	○	○	80	63.0	1.6	
3	(3)	○			一次方程式 $0.7x + 0.5 = 0.4x - 1$ を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	(3)ウ			○	○	○	80	51.8	9.9	
3	(4)	○			比例式 $6 : x = 4 : 6$ が成り立つときの x の値を求める	簡単な比例式を解くことができる	(3)ウ			○	○	○	80	62.7	8.2	
3	(5)	○			何人かの子どもにも菓を7個ずつ配ると6個たりず、6個ずつ配ると2個余るとき、子どもの人数を x 人として方程式をつくる	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式で表し、一元一次方程式をつくることができる	(3)ウ			○	○	○	70	48.7	12.5	
4	(1)	○			与えられた表を基に、人数と入館料の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	(1)ア			○	○	○	50	30.2	14.7	
4	(2)	○			数量の関係が比例になるものを選ぶ	2つの数量の関係が比例になることを理解している	(1)イ			○	○	○	60	23.8	1.5	
4	(3)	○			$(3, -4)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる	(1)ウ			○	○	○	90	84.0	2.7	
4	(4)	○			反比例のグラフから式を選ぶ	反比例のグラフから、 x と y の関係を式で表すことができる	(1)エ			○	○	○	70	73.1	1.1	
5	(1)	○			三角形が対称移動したときの対称軸を選ぶ	図形を対称移動させたとき、図形と対称軸の位置の関係を理解している	(1)イ			○	○	○	70	57.9	1.9	
5	(2)	○			$\triangle ABC$ を、矢印の方向に6cm平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる	(1)イ			○	○	○	70	59.8	2.8	
6	(1)	○			マッチ棒で正方形の形をつくり n 個並べたとき、マッチ棒の全部の本数を表した文字式の一部を選ぶ	事象の特徴を的確に捉え、その事象を文字を用いた式で表すことができる	(2)ア			○	○	○	60	34.6	1.8	
6	(2)	○			マッチ棒で正方形の形をつくり n 個並べたとき、マッチ棒の全部の本数を $3(n-1)+4$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	(2)ア			○	○	○	40	22.4	25.8	
7	(1)	○			ゆずドレッシングを作るために必要なゆずの個数を求める方法を説明する	事象を数式的に解釈し、問題解決の方法を数式的に説明することができる	(1)オ			○	○	○	40	27.2	15.1	
7	(2)	○			ゆずドレッシングを作るために必要なサラダ油の量を求める比例式をつくる	与えられた情報から必要な情報を選択し、その関係を的確に表現することができる	(3)ウ			○	○	○	50	31.9	28.8	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年数学）

大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点	問題形式			高知県		
						数と式	図形	関数	資料の活用		数式的な見方や考え方	数式的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式
1	(1)	○		$(8x+5y)-(3x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	(1)ア				○	○			80	69.6	3.1
1	(2)	○		$a=-7, b=3$ のとき、式 $-ab^2$ の値を求める	文字式に数を代入して、式の値を求めることができる	(1)イ				○	○			80	49.3	8.8
1	(3)	○		等式 $l=2\pi r$ を、 r について解く	具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる	(1)ウ				○	○			60	36.8	19.4
1	(4)	○		連続する3つの自然数の和が $n+(n+1)+(n+2)$ で表されるとき、文字 n が表すものを選ぶ	具体的な場面に照らして、文字式の意味を読み取ることができる	(1)イ				○	○			60	53.0	0.7
1	(5)	○		a 分間で b 枚印刷することができる機械が1分間に印刷できる枚数を、 a, b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる	(1)イ				○	○			50	31.6	16.1
2	(1)	○		連立方程式の解が正しいかどうかを確認しているものを選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している	(2)イ				○	○			80	75.8	1.0
2	(2)	○		連立方程式 $\begin{cases} 3x+2y=9 \\ y=4x-1 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	(2)ウ				○	○			80	63.1	18.0
2	(3)	○		大人1人の入館料が中学生1人の入館料より110円高い美術館で、大人2人と中学生4人で入館したときの入館料の合計が1720円るとき、連立方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることことができる	(2)ウ				○	○			80	47.6	4.8
3	(1)	○		数量の関係が一次関数になるものを選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している		(1)ア			○	○			60	15.4	1.0
3	(2)	○		一次関数 $y=3x-5$ について、 x の係数が3であることからいえることとして、正しいものを選ぶ	一次関数 $y=ax+b$ の a が、 x が1増加したときの y の増加量を表していることを理解している		(1)イ			○	○			60	45.2	1.1
3	(3)	○		一次関数のグラフから式を選ぶ	一次関数のグラフから、 x と y の関係を式で表すことができる		(1)イ			○	○			70	59.2	0.6
3	(4)	○		方程式 $y=2$ のグラフを選ぶ	二元一次方程式のグラフの特徴を理解している		(1)ウ			○	○			70	70.2	0.5
4	(1)	○		グラフから、おもりが移動した距離が5cmのときのばねの長さが11.4cmであることを表す点を選ぶ	与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ることができる		(1)エ			○	○			90	72.9	0.9
4	(2)	○		おもりが移動した距離が10cmのときのばねの長さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる		(1)イ,エ			○	○			40	21.7	41.4
5	(1)	○		ある1つの角について同位角と錯角の位置にある角を選ぶ	同位角と錯角の意味を理解している		(1)ア			○	○			60	56.2	1.0
5	(2)	○		六角形のある頂点における外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している		(1)イ			○	○			70	51.5	5.4
5	(3)	○		証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘し、その方針にもとづいて証明する際に用いる三角形の合同条件を書く	証明のための構想や方針の必要性和意味、及び三角形の合同条件を理解している		(2)イ,ウ			○	○			80	20.0	9.0
5	(4)	○		対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している		(2)イ			○	○			60	32.4	1.7
5	(5)	○		2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	方針に基づいて証明することができる		(2)ウ			○	○			40	11.1	28.5
6	(1)	○		高知龍馬マラソン2015の参加者の年齢の範囲を求める	範囲の意味を理解している		(1)ア			○	○			90	45.7	12.5
6	(2)	○		小数第4位を四捨五入した近似値の真の値を a とするとき、 a の値の範囲を正しく表しているものを選ぶ	近似値と誤差の意味を理解している		(1)ア			○	○			60	39.9	3.6
7	(1)	○		2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和が11の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる	(1)イ,ウ				○	○			50	30.3	34.9
7	(2)	○		2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との差について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	(1)イ,ウ				○	○			50	42.3	37.0

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校数学における成果と課題】

		第1学年		第2学年	
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	関 4 (3) 84.0%	座標平面上に点の位置を示すこと		
	経年	数 3 (4) 62.7% H24A 3 (1) 県 55.3% 全国 61.8%	簡単な比例式を解くこと	数 1 (1) 69.6% H26 中 1 2 (2) 県 45.1%	整式の加法と減法の計算をすること ※当該生徒第1学年時との比較
		関 5 (2) 59.8% H27A 4 (2) 県 44.9% 全国 54.5%	平行移動した図形をかくこと	関 3 (4) 70.2% H25A 1 3 県 60.0% 全国 69.0%	二元一次方程式のグラフの特徴を理解すること
課題	本年度	数 2 (5) 14.4%	数量を文字式で表すこと	関 5 (3) 20.0%	証明のための構想や方針の必要性和意味、及び三角形の合同条件を理解すること
		関 4 (2) 23.8%	2つの数量の関係が比例になることを理解すること	関 5 (5) 11.1%	方針に基づいて証明すること
	経年	数 2 (2) 41.0% H26 2 (2) 県 45.1%	一次式の加法・減法の計算をすること	数 1 (3) 36.8% H26 1 (4) 県 38.7%	具体的な場面で、等式を目的に応じで変形すること
		数 2 (4) 54.9% H26 2 (4) 県 56.2%	不等式が表す数量の大小関係を理解すること	数 1 (5) 31.6% H26 1 (3) 県 31.0%	数量の関係や法則などを文字式で表すこと
		数 6 (2) 22.4% H26 6 (2) 県 22.4%	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること	関 7 (2) 42.3% H25B 2 (2) 県 29.3% 全国 38.0%	発展的に考え、予想した事柄を説明すること →P. 57「中学校数学指導改善のポイント」へ
		関 4 (1) 30.2% H26A 9 県 30.9% 全国 35.8%	関数の意味を理解すること	関 3 (1) 15.4% H25 3 (1) 県 26.3%	2つの数量の関係が一次関数になることを理解すること
		数 7 (1) 27.2% H26 7 (2) 県 14.0%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	数 4 (2) 21.7% H26 4 (2) 県 15.9%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

【領域・内容】 数：数と式、関：関数、資：資料の活用

今後さらに重点となる指導改善のポイント

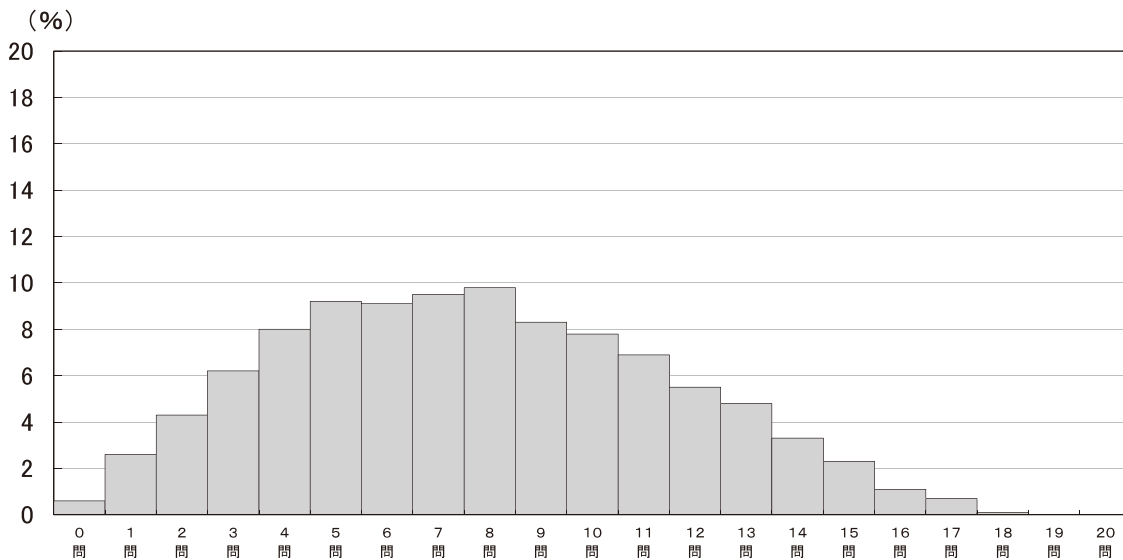
- 用語・記号の意味を理解できるようにするために、用語・記号を用いて処理したり説明したりする場面を設定し、用語・記号を用いるよさや必要性を感じさせることが大切である。
- 数学的に表現された結果を事象に即して解釈できるようにするために、問題解決の過程を振り返り、図や式を関連付けて考える機会を設けることが重要である。
- 事柄・事実や方法・手順、理由を説明できるようにするために、問題解決の過程や、結果を振り返る際に、説明する必然性のある場面を設定することが大切である。

(7) 中学校理科
【分類・区分別の状況】(第1学年理科)

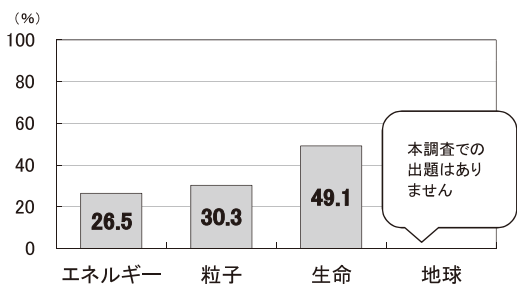
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,586	7.8 / 20	38.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	2.6
2問	4.3
3問	6.2
4問	8.0
5問	9.2
6問	9.1
7問	9.5
8問	9.8
9問	8.3
10問	7.8
11問	6.9
12問	5.5
13問	4.8
14問	3.3
15問	2.3
16問	1.1
17問	0.7
18問	0.1
19問	0.0
20問	0.0

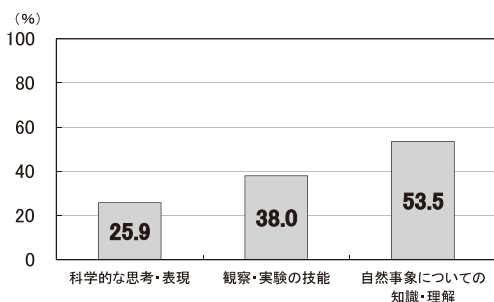
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



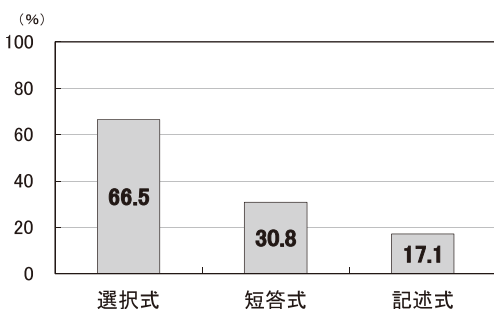
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は38.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・溶解度曲線を基に、他者が考えた実験方法を考察し、その方法が適切でない理由を説明すること

[2(3) 正答率11.6%、無解答率23.9%]

実験2

【課題2】

砂糖と塩化ナトリウムで、水に溶ける質量にはどのような違いがあるのだろうか。

【方法2】

10℃の水100gが入ったビーカーを2つ用意し、一方に砂糖10g、もう一方には塩化ナトリウム10gを入れてよくかき混ぜ、すべて溶けたかどうかを調べる。すべて溶けたら同じ物質をさらに10gずつ加えていき、どちらかが溶け残るまで続ける。

この実験は、水温を10℃に保って行う。

【結果2】

物質の質量	10g	20g	30g	40g
砂糖	すべて溶けた	すべて溶けた	すべて溶けた	すべて溶けた
塩化ナトリウム	すべて溶けた	すべて溶けた	すべて溶けた	溶け残った

10℃の水100gに砂糖は40gすべて溶けるが、塩化ナトリウムは溶け残った。

【感想】

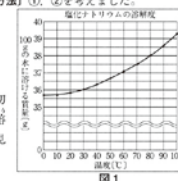
どのようにしたら溶け残った塩化ナトリウムを、水にすべて溶かすことができるのだろうか。

武史さんは、【実験2】で溶け残った塩化ナトリウムを水にすべて溶かしたいと思い、小学校で学習したことをもとに、下の【方法】①、②を考えました。

【方法】

- ①水の温度を上げる。
- ②10℃の水の量を増やす。

そして、武史さんは、【方法】①、②が適切かどうかを考えるために、塩化ナトリウムの溶解度についてインターネットで調べ、図1を見つけた。



- (3) 【実験2】で溶け残った塩化ナトリウムをすべて溶かすためには、武史さんが考えた【方法】①は適切ではありません。その理由を、図1をもとに書きなさい。

※学習シート等との関連

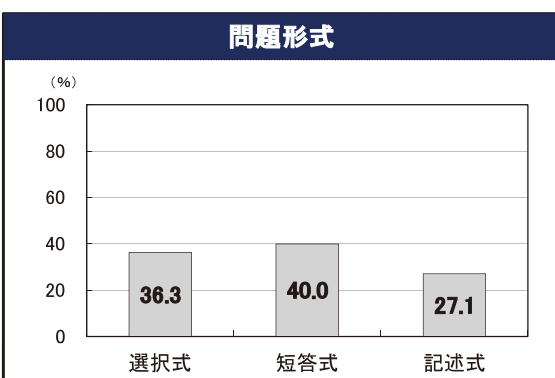
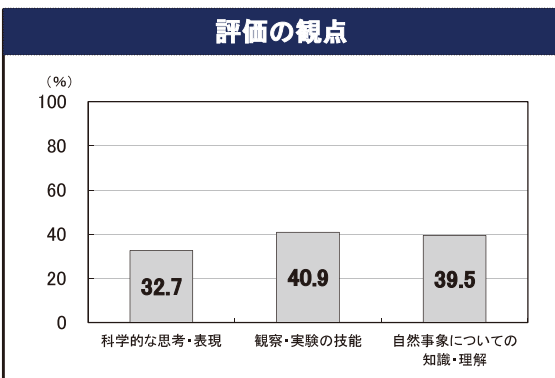
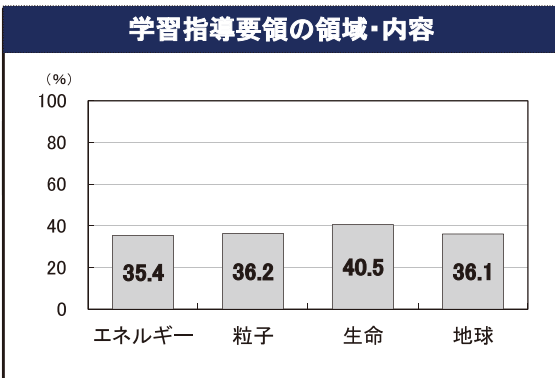
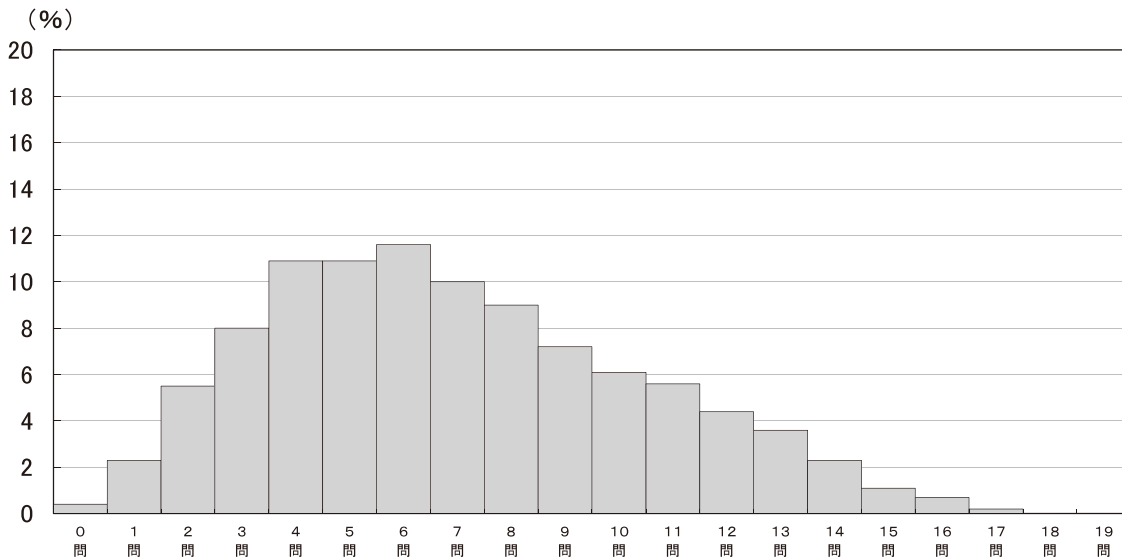
高知県理科思考力問題集 中1-04

【分類・区分別の状況】(第2学年理科)

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,815	7.0 / 19	36.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	2.3
2問	5.5
3問	8.0
4問	10.9
5問	10.9
6問	11.6
7問	10.0
8問	9.0
9問	7.2
10問	6.1
11問	5.6
12問	4.4
13問	3.6
14問	2.3
15問	1.1
16問	0.7
17問	0.2
18問	0.0
19問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



理科の平均正答率は36.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・電圧と電流の関係を表したグラフを基に、電気抵抗に加わる電圧と流れる電流の関係を説明すること

[4(5) 正答率19.5%、無解答率33.9%]

4 さとしさんは、信号機や照明に使われるようになったLED(発光ダイオード)に興味をもち、LEDにはどのような特徴があるのかを、LEDと豆電球を比較して調べています。次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

(5) さとしさんは、前のページの「実験2」の図3をもとに、LEDと豆電球に流れる電流の大きさについて、下のようにとまとめました。下の【まとめ】のXに当てはまる内容を書きなさい。

【まとめ】

豆電球は、加える電圧が0Vから0.8Vまでは、電流は変化の量が小さくなりながらも増え、0.8Vから3.0Vまでは、ほぼ一定の割合で増加している。

LEDは、

X

豆電球とLEDに、同じ大きさの電圧を加えたときに流れる電流の大きさは、LEDの方が豆電球より小さく、LEDは豆電球より少ない電流で光ることがわかる。

※学習シート等との関連

高知県理科思考力問題集 中2-01

【設問別正答率】（第1学年理科）

問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式			期待正答率(%)	高知県	
					エネルギー	粒子	生命	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式		記述式	正答率(%)
1 (1)	○		種子植物を被子植物と裸子植物に分類するときの観点を表した文に当てはまる言葉（胚珠、子房）を書く	種子植物の体のつくりの特徴を理解している			(1)ウ(7)		○	○		70	40.8	8.3	
1 (2)	○		単子葉類の葉と根のようすを表した模式図として、最も適切な組み合わせを選ぶ	単子葉類の体の特徴を理解している			(1)イ(4)		○	○		90	51.8	0.3	
1 (3)	○		種子をつくらない植物をシダ植物とコケ植物に分類するときの観点となる体のつくり（維管束）を書く	種子をつくらない植物の体のつくりの特徴を理解している			(1)ウ(4)		○	○		70	17.2	30.4	
1 (4)	○		コケ植物が多く見られる場所の特徴として、最も適切なものを選ぶ	コケ植物の体のつくりの特徴と生育場所の特徴を関連付けて理解している			(1)ウ(4)		○	○		90	83.8	0.3	
1 (5)	○		ナスを植物カードに整理された体のつくりの特徴をもとに分類し、その分類名を選ぶ	植物を体のつくりの特徴を基に考察し、分類することができる			(1)ウ(7)(4)	○		○		80	73.0	0.6	
2 (1)	○		液体中の砂糖の粒子のようすを表した図として、最も適切なものを選ぶ	水溶液では溶質が均一に分散していることを粒子のモデルと関連付けて理解している			(2)イ(7)		○	○		90	77.7	0.2	
2 (2)	○		200gの水に砂糖50gがすべて溶けたときの水溶液の質量パーセント濃度として、正しいものを選ぶ	質量パーセント濃度を求めることができる			(2)イ(7)	○		○		80	39.0	0.6	
2 (3)	○		実験2で溶け残った塩化ナトリウムをすべて溶かすために、水の温度を上げることが適していない理由を、溶解度を示した図をもとに説明する	溶解度曲線を基に、他者が考えた実験方法を考察し、その方法が適切でない理由を説明することができる			(2)イ(4)	○		○		50	11.6	23.9	
2 (4)	○		実験2で溶け残った塩化ナトリウムを、できるだけ少ない量の10℃の水を増やして溶かすとき、水を何g増やせばよいかを書く	溶解度曲線を基に、溶質がすべて溶けるための溶媒の質量を求めることができる			(2)イ(4)	○		○		70	1.4	38.0	
2 (5)	○		4つの物質について、60℃の水100gの飽和水溶液を20℃まで下げたとき、溶けきれなくなって出てくる物質の質量が最も大きくなる物質を選び、選んだ理由を説明する	溶解度の表を基に、析出する量が最も大きくなる物質を判断し、その理由を説明することができる			(2)イ(4)	○		○		50	22.0	5.5	
3 (1)	○		日光の当たり方が水の減る量に関係することを調べる実験で、メスシリンダーの水面に油をたらず理由を書く	日光と植物が吸水する量の間に関係があるかどうかを調べるための実験の技能を身に付けている			(1)イ(4)	○		○		70	54.4	14.0	
3 (2)	○		アジサイが吸い上げる水の量が日光の当たり方に関係することを確かめるとき、アジサイAと比べるものとして、適切なものを選ぶ	日光が植物の吸水する量に関係していることを確かめるため、条件を比較し、実験を計画することができる			(1)イ(4)	○		○		70	73.7	0.9	
3 (3)	○		葉に何もめらなかつたアジサイと葉の表側にワセリンをぬったアジサイの蒸散の量の違いをもとに、蒸散が行われているアジサイの体の名称を書く	蒸散の実験方法の条件を比較し、その方法から確かめられることを指摘することができる			(1)イ(4)	○		○		70	7.9	14.1	
3 (4) ①	○		アジサイの体の表皮に複数見られる「あるつくり」の名称（気孔）を書く	葉のつくりを働きと関連付けて理解している			(1)イ(4)		○	○		70	68.2	13.8	
3 (4) ②	○		蒸散の実験の結果をもとに、アジサイの茎、葉の表、葉の裏それぞれの部分の「あるつくり」の数の違いを説明する	蒸散の実験結果を気孔の数と関連付けて考察することができる			(1)イ(4)	○		○		50	20.0	31.8	
4 (1)	○		凸レンズの光軸に平行に進む光線が、凸レンズで屈折して集まる点の名称（焦点）を書く	凸レンズの焦点について理解している			(1)ア(4)		○	○		70	44.2	14.8	
4 (2)	○		光が空気中からガラスに進むときの入射角と屈折角の関係を書く	光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を見いだすことができる			(1)ア(7)		○	○		70	20.7	28.2	
4 (3)	○		凸レンズを通して拡大して見える像の名称（虚像）を書く	虚像について理解している			(1)ア(4)		○	○		70	44.5	16.7	
4 (4)	○		スクリーンに像ができるときの光源と凸レンズの距離を求める実験を計画するとき、適切な距離を4つ設定して書く	実験結果の考察を基に、スクリーンに実像ができる光源と凸レンズの距離を設定し、追実験を計画することができる			(1)ア(4)	○		○		60	8.4	21.1	
4 (5)	○		スクリーンに像ができない理由を、図をもとに説明する	物体を凸レンズの焦点よりも内側に置いたとき、スクリーンに実像ができない理由を説明することができる			(1)ア(4)	○		○		50	14.9	27.7	

「太字」 は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」 は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」 は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年理科）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 科学的な思考・表現 観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	問題形式			期待正答率(%)	高知県	
							エネルギー	粒子	生命	地球			選択式	短答式	記述式		正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)		○		岩石の特徴をもとに、地層をつくっている岩石の名称（凝灰岩）を選ぶ	堆積岩の特徴を理解している				(2)イ(7)		○	○		80	32.7	0.2	
1	(2)		○		砂岩、泥岩の順に層が堆積したときの環境の変化をまとめた文に当てはまる言葉の組み合わせとして、正しいものを選ぶ	地層の重なりと構成物の特徴を基に、地層が堆積した環境を推定することができる				(2)イ(7)	○		○		70	26.9	0.3	
1	(3)		○		地層のようすから、地層の堆積、しゅう曲、断層が起こった順を並べかえたものとして、正しいものを選ぶ	地層を観察し、地層形成の時間的変化を考察することができる				(2)イ(7)	○		○		70	49.3	0.5	
1	(4)		○		地層の堆積した時代の推定に役立つ化石の名称（示準化石）を書く	示準化石について理解している				(2)イ(7)		○	○		70	28.7	26.7	
1	(5)		○		同じ層からアンモナイトとサンヨウチュウの化石が発見されたとき、その層が堆積した時代として、最も適切なものを選ぶ	地質年代を理解している				(2)イ(7)		○	○		80	42.9	0.4	
2	(1)		○		ガスバーナーの火を消す前に、水そうの水の中からガラス管を取り出す理由を書く	分解の実験を安全に行うための技能を身に付けている				(4)ア(7)		○	○		70	49.7	15.0	
2	(2)		○		1種類の物質が2種類の別の物質に変化する反応の名称（分解）を書く	分解について理解している				(4)ア(7)		○	○		70	42.8	17.1	
2	(3)		○		実験結果をもとにして、酸化銀に含まれる酸素の質量を求め、銀と酸素の質量の比として、最も適切なものを選ぶ	酸化物を分解して得られる物質の質量から、物質と酸素の質量の関係を求め、比で表すことができる				(4)ア(7)ウ(7)	○		○		60	16.8	0.4	
2	(4)		○		実験結果をもとにして、10gの銅を得るために必要な酸化銅の質量を求める	反応する物質の質量の間には、比例の関係があることを使って、物質の質量を求めることができる				(4)ウ(4)	○		○		60	30.1	9.8	
2	(5)		○		酸化銀から酸素が失われる反応の名称（還元）を書く	還元について理解している				(4)イ(4)		○	○		70	41.4	24.4	
3	(1)		○		表をもとに、両生類が魚類から進化したと考えられる根拠となる体のつくりの特徴を書く	セキツイ動物が共通の祖先をもち、分類ごとに共通の特徴が見られることを理解している				(3)ウ(7)		○	○		70	36.0	12.5	
3	(2)		○		ハ虫類など、気温が変化すると体温が変化する動物の名称（変温動物）を書く	変温動物について理解している				(3)ウ(7)		○	○		70	83.9	4.7	
3	(3)		○		セキツイ動物の卵が、進化とともにどのような自然環境に適した特徴をもつ卵に変化してきたかを答える	セキツイ動物が生育環境に適した特徴をもつように進化していることを理解している				(3)ウ(7)		○	○		70	7.2	24.9	
3	(5)		○		シソチョウが、何類から何類へと進化する間の動物かを、理由をあげて説明する	セキツイ動物の化石の特徴を基に、進化の証拠とされる事柄を説明することができる				(3)エ(7)	○		○		50	34.8	9.1	
4	(1)		○		豆電球の光り方を比較した実験の結果をもとに、LEDが2個とも光るつなぎ方を選ぶ	電流と電圧についての規則性を見だし、LEDが光るつなぎ方を予想することができる				(3)ア(7)	○		○		60	41.7	0.6	
4	(2)		○		LEDに3.0Vの電圧を加えたときの流れる電流の大きさを図から読み、LEDとつなぐ電流計の端子として、適切なものを選ぶ	電流計を使った適切な回路をつくることができる				(3)ア(7)	○		○		80	32.3	0.6	
4	(3)		○		示された回路の回路図として、正しいものを選ぶ	回路を回路図で表すことができる				(3)ア(7)	○		○		90	40.8	0.7	
4	(4)		○		LEDに3.0Vの電圧を加えたときの電気抵抗の大きさを求めたものとして、適切なものを選ぶ	電圧と電流の関係を表したグラフから必要な数値を読み取り、電気抵抗を求めることができる				(3)ア(4)	○		○		60	42.8	1.6	
4	(5)		○		豆電球に加えた電圧と流れる電流の関係をもちに、LEDに加える電圧と流れる電流の関係を説明する	電圧と電流の関係を表したグラフを基に、電気抵抗に加わる電圧と流れる電流の関係を説明することができる				(3)ア(7)	○		○		50	19.5	33.9	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校理科における成果と課題】

		第1学年		第2学年	
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	生 1(4) 83.8%	コケ植物の体のつくりの特徴と生育場所の特徴を関連付けて理解すること	生 3(2) 83.9%	変温動物について理解すること
	経年				
課題	本年度	粒 2(3) 11.6%	溶解度曲線を基に、他者が考えた実験方法を考察し、その方法が適切でない理由を説明すること →P.59「中学校理科指導改善のポイント」へ	工 4(2) 32.3%	電流計を使った適切な回路をつくること
		2(4) 1.4%	溶解度曲線を基に、溶質がすべて溶けるための溶媒の質量を求めること	生 3(3) 7.2%	セキツイ動物が生育環境に適した特徴をもつように進化していることを理解すること
		生 1(3) 17.2%	種子をつくらない植物の体のつくりの特徴を理解すること	地 1(1) 32.7%	堆積岩の特徴を理解すること
		3(3) 7.9%	蒸散の実験方法の条件を比較し、その方法から確かめられることを指摘すること	1(2) 26.9%	地層の重なりと構成物の特徴を基に、地層が堆積した環境を推定すること
		3(4)② 20.0%	蒸散の実験結果を気孔の数と関連付けて考察すること	1(4) 28.7%	示準化石について理解すること
	経年	工 4(2) 20.7%	光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を見いだすこと	粒 2(3) 16.8%	酸化物を分解して得られる物質の質量から、物質と酸素の質量の関係を求め、比で表すこと
		H25 4(2) 県 39.1%		H26 2(4) 県 14.9%	
		4(4) 8.4%	実験結果の考察を基に、スクリーンに実像ができる光源と凸レンズの距離を設定し、追実験を計画すること	2(4) 30.1%	反応する物質の質量の間には、比例の関係があることを使って、物質の質量を求めること
		H24 全国 3(2) 県 32.7% 全国 33.9%		H26 2(3) 県 11.9%	
		4(5) 14.9%	物体を凸レンズの焦点よりも内側に置いたとき、スクリーンに実像ができない理由を説明すること		
	粒 2(2) 39.0%	質量パーセント濃度を求めること			
	H27 全国 1(1) 県 39.3% 全国 45.0%				

【領域・内容】 工：エネルギー、粒：粒子、生：生物、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

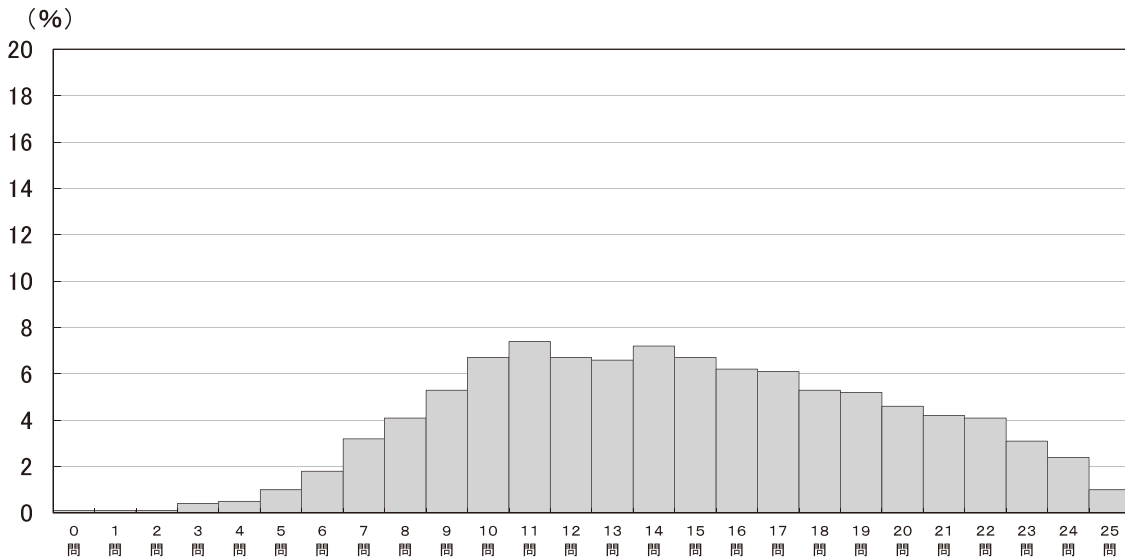
- 主体的に探究する学習展開となるよう、生徒が興味をもち、課題を見いだすことができるような事象を提示することが大切である。
- 予想・仮説を検証する観察、実験を計画できるようにするために、どのような条件を設定する必要があるかを考えさせることが重要である。
- 課題に正対した考察を行うことができるようにするために、観察、実験の結果を予想・仮説を基に分析・解釈させることが大切である。

(8) 中学校外国語(英語)
【分類・区分別の状況】(第1学年外国語(英語))

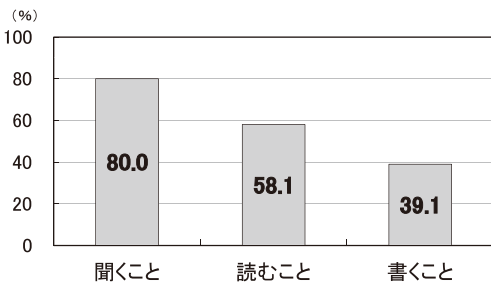
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,607	14.6 / 25	58.4

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.4
4問	0.5
5問	1.0
6問	1.8
7問	3.2
8問	4.1
9問	5.3
10問	6.7
11問	7.4
12問	6.7
13問	6.6
14問	7.2
15問	6.7
16問	6.2
17問	6.1
18問	5.3
19問	5.2
20問	4.6
21問	4.2
22問	4.1
23問	3.1
24問	2.4
25問	1.0

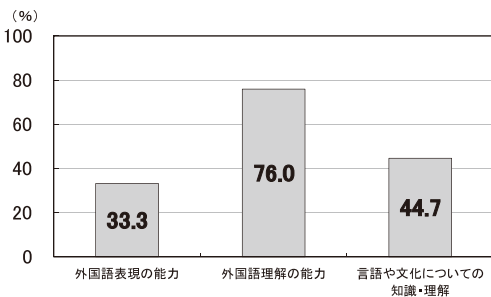
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



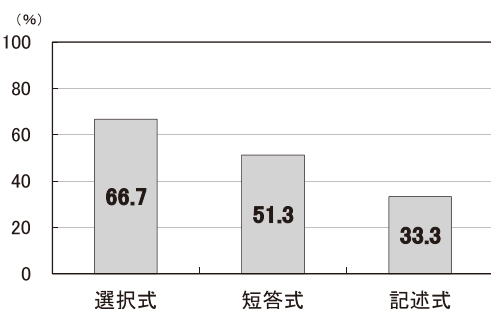
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は58.4%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

- (1) 正答率27.8%、無解答率12.5%
- (2) 正答率40.9%、無解答率13.6%
- (3) 正答率31.3%、無解答率13.1%

12 メグミ (Megumi) の学級では、留学生のエミリー (Emily) に、「私の大切なもの」を紹介することになりました。メグミは、紹介文を書くために、紹介したいものについて下のような【図】に整理し、分からない単語を辞書で調べました。あなたがメグミなら、「私の大切なもの」をどのように紹介しますか。【図】をもとに【紹介文の原稿】が全体としてつながりのあるものになるように、【紹介文の内容】の(1)から(3)について、それぞれ英語で書き、【紹介文の原稿】を完成させなさい。

【図】

【紹介文の原稿】

私の大切なもの

Hello.

I'm Megumi. This is a picture of my dog.

(1) _____

(2) _____

(3) _____

I like him very much.

Thank you.

【紹介文の内容】

(1) 犬の名前を紹介する文を書く。
(2) 【図】のAから2つ選び、「and」を使って1文を書く。
(3) 【図】のBから1つ選んで書く。

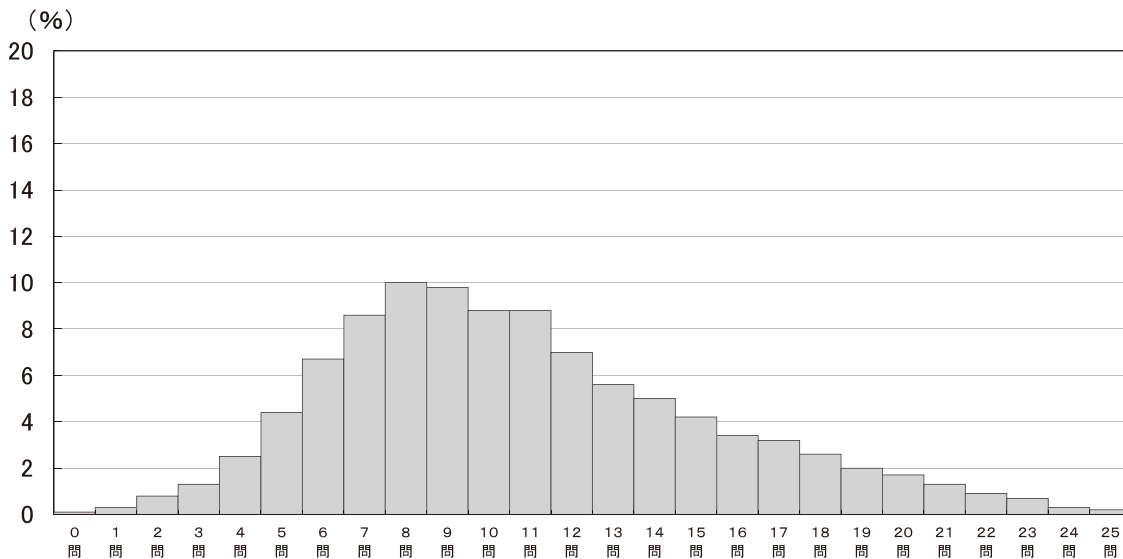
※学習シート等との関連
英語ライティングシート
Ⅱ 重要表現編1年生P. 145~146
Ⅲ テーマ作文編1年生P. 225~242

【分類・区分別の状況】(第2学年外国語(英語))

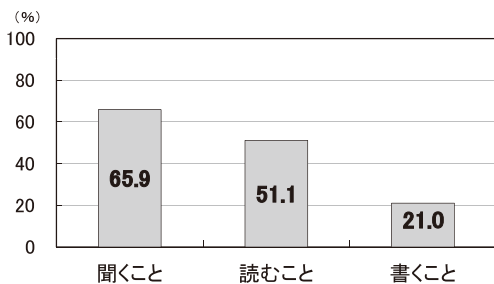
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,732	10.8 / 25	43.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.8
3問	1.3
4問	2.5
5問	4.4
6問	6.7
7問	8.6
8問	10.0
9問	9.8
10問	8.8
11問	8.8
12問	7.0
13問	5.6
14問	5.0
15問	4.2
16問	3.4
17問	3.2
18問	2.6
19問	2.0
20問	1.7
21問	1.3
22問	0.9
23問	0.7
24問	0.3
25問	0.2

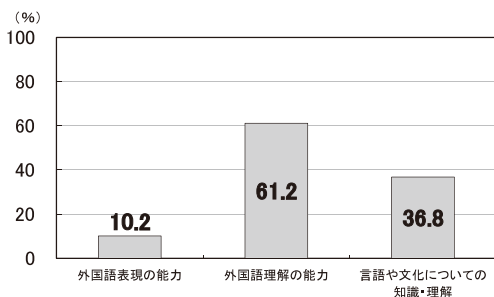
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



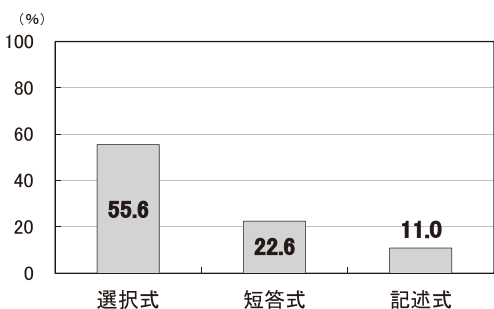
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は43.2%で、例えば次のような課題が見られた。

・聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること

[8(3)① 正答率11.9%、無解答率56.0%]

⑧ 次は、土佐図書館で開催されている展覧会「The World of Sakamoto Ryoma」についての【ウェブページ情報】と、その展覧会に関する意見を掲載している【インターネット上の掲示板】です。これを読んで、次の(1)から(3)の各問いに答えなさい。

(3) 次の英文は、【インターネット上の掲示板】を見た土佐図書館の係の人からOrangeへの返信です。【ウェブページ情報】と【インターネット上の掲示板】をもとに、返信の英文中の①、②に当てはまる適切な内容を入れ、英文をそれぞれ完成させなさい。

From : Tosa Library Date : 2016/2/7 16:50
Dear Orange
Thank you for visiting our web page. Our guided tour should be interesting for you because you ① .
Please remember our library does not ② on Mondays.

※学習シート等との関連

英語ライティングシート

Ⅱ 重要表現編2年生P. 193~194

Ⅲ テーマ作文編1年生P. 243~260

Ⅲ テーマ作文編2年生P. 277~290

【設問別正答率】（第1学年外国語（英語））

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式	期待正答率(%)	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと	外国語理解の能力	外国語表現の能力	言語や文化についての知識・理解			選択式	短答式
		1	(1)	○	発音される単語（fine）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気付き、正しく書く	(ア)				○	○		90	89.2	1.6
		1	(2)	○	発音される単語（cat）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気付き、正しく書く	(ア)				○	○		90	96.3	0.7
		2	(1)	○	語句（eggs, miso soup and rice）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○		90	93.9	0.2
		2	(2)	○	語句（English every morning）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○		90	96.5	0.1
		2	(3)	○	語句（in the bag）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（ダイアログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○		80	95.6	0.2
		3	(1)	○	対話を聞いて、適切に答えているもの（Yes, I am.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	(ウ)				○	○		80	78.3	0.2
		3	(2)	○	対話を聞いて、適切に答えているもの（It's my sister's.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	(ウ)				○	○		70	52.8	0.7
		4	(1)	○	対話の中の＜on Saturday, I get up at eight o'clock.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○		80	38.9	0.3
		4	(2)	○	対話の中の＜I have two yukatas for girls.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○		80	78.6	0.6
		5	(1)	○	対話文に入る適切な語句（What）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○	70	73.5	0.3
		5	(2)	○	対話文に入る適切な語句（play）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○	70	30.1	0.3
		5	(3)	○	対話文に入る適切な語句（He）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○	70	52.9	0.5
		6		○	英語1日キャンプの案内を読んで、その内容を表しているメモとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)				○	○		70	87.0	0.3
		7		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜Me, too. What does the girl have?＞を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)				○	○		70	50.0	0.6
		8		○	病院のホームページを読み、ジェフの行った行動として適切なものを選ぶ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に答える	(エ)				○	○		80	55.2	0.9
		9	(1)	○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら英文として正確に＜This is Yumi's pen.＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く	(ア)				○	○		60	20.1	4.6
		9	(2)	○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら英文として正確に＜Do you go to Canada?＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く	(ア)				○	○		70	43.6	5.7
		10	(1)	○	＜she is your music teacher.＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○	○		80	56.1	7.9
		10	(2)	○	＜Where does he live?＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○	○		70	33.1	7.8
		10	(3)	○	＜my mother doesn't eat it.＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○	○		80	20.9	10.0
		11	(1)	○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜What season do you like?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	(オ)				○	○		70	52.4	1.3
		11	(2)	○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜Who is that girl?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	(オ)				○	○		70	64.8	1.5
		12	(1)	○	図をもとに、犬の名前を紹介する文をHis, He等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)		○				○	60	27.8	12.5
		12	(2)	○	図をもとに、紹介する犬の特徴などをandを使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)		○				○	60	40.9	13.6
		12	(3)	○	図をもとに、紹介する犬の好きなものや好きなことをlikes等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)		○				○	60	31.3	13.1

*読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

- 「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
- 「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
- 「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年外国語（英語））

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点	問題形式	期待正答率（％）	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと				正答率（％）	無解答率（％）
		1 (1)	○		語句（running with his friend）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)			○	○	90	92.3	0.2
		1 (2)	○		語句（sunny in the morning, cloudy in the afternoon）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)			○	○	70	90.2	0.2
		2 (1)	○		対話を聞いて、適切に答えているもの（I had breakfast at 6:00.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	(ウ)			○	○	70	81.8	0.1
		2 (2)	○		対話を聞いて、適切に答えているもの（How about this one?）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	(ウ)			○	○	70	37.8	0.3
		2 (3)	○		対話を聞いて、適切に答えているもの（Yes, Where will we practice?）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	(ウ)			○	○	70	57.2	0.3
		3 (1)	○		対話の中の＜I want to go shopping with you.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○	60	55.4	0.4
		3 (2)	○		対話の中の＜My grandfather and sister did.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○	70	46.6	0.3
		4 (1)	○		対話文に入る適切な語句（making）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている				○	○	70	50.1	0.2
		4 (2)	○		対話文に入る適切な語句（to see）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている				○	○	70	50.4	0.2
		4 (3)	○		対話文に入る適切な語句（don't have to）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている				○	○	70	35.2	0.5
		5	○		アヤ、ジェイン、エレンがやりとりした電子メールを読んで、アヤがエレンに送った電子メールの内容に当てはまるものを選ぶ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に答える	(エ)			○	○	70	36.2	0.2
		6	○		アイコとレンが書いた作品紹介文を読んで、2人の木工作品に共通していることとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)			○	○	70	70.8	0.5
		7	○		質問の様子を読んで、ケンのノートに当てはまる内容の組み合わせとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)			○	○	80	78.5	0.3
		8 (1)	○		インターネット上の掲示板を読んで、Orangeが土佐図書館にどのような手段で行くことにしたのかを選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる	(オ)			○	○	70	41.8	0.4
		8 (2)	○		ウェブページ情報とインターネット上の掲示板を見て、Orangeが参加する予定のガイドツアーの開始時間を選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる	(オ)			○	○	70	46.1	0.8
		8 (3) ①	○		ウェブページ情報とインターネット上の掲示板をもとに、Orangeへの返信として、ガイドツアーがおもしろい理由を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする	(ウ)	○			○	60	11.9	56.0
		8 (3) ②	○		ウェブページ情報とインターネット上の掲示板をもとに、Orangeへの返信として、図書館の休館日を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする	(ウ)	○			○	80	7.1	47.8
		9 (1)	○		＜look(s) like+名詞＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○	70	41.2	9.2
		9 (2)	○		＜to不定詞＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○	70	11.6	10.2
		9 (3)	○		＜bring+人+物＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○	70	30.5	9.5
		10 (1)	○		対話の流れを考えて、意味が通るように＜When will she come here next week?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	(オ)			○	○	80	44.0	1.3
		10 (2)	○		対話の流れを考えて、意味が通るように＜How can I get there?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	(オ)			○	○	80	31.3	1.5
		11 (1)	○		動物園の情報をもとに、選んだ施設が動物園にあることを、The zoo has等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○			○	60	8.8	28.5
		11 (2)	○		動物園の情報をもとに、選んだ施設で体験できることを、can等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○			○	60	8.2	30.1
		11 (3)	○		動物園に来てもらえるよう呼びかける文を、Please, Why don't you等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○			○	60	15.2	36.7

*読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校外国語（英語）における成果と課題】

		第1学年		第2学年	
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	聞 2(1) 93.9% (2) 96.5%	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取ること	聞 1(2) 90.2%	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取ること
	経年	読 6(1) 87.0%	まとまりのある英語を読み、大切な部分などを正確に読み取ること	2(1) 81.8%	質問や依頼など対話文を聞いて適切に応じること
課題	本年度	聞 1(2) 96.3% H26 1(2) 県 77.8%	発音と綴りの関係に気付き、正しく書くこと		
	経年	聞 4(1) 38.9%	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること	読 5 36.2%	電子メールを読み、書き手の意図を理解し、適切に応じること
		読 5(2) 30.1% H26 5(1) 県 53.3%	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けていること	書 8(3) ①11.9% ② 7.1% H26 8(3) 県① 8.3% ②23.6%	ウェブページ情報とインターネット上の掲示板の内容を読み取り、メールの返事を書くこと →P. 61「中学校外国語（英語）指導改善のポイント」へ
		書 9(1) 20.1% H26 9(1) 県 34.3%	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと	9(2) 11.6% H26 9(3) 県 22.5%	語と語のつながりなどに注意して正しい語順（to不定詞）に並べかえること
	10(2) 33.1% (3) 20.9% H26 10 県(1)19.4% (3)58.7%	語と語のつながりなどに注意して正しい語順（疑問詞から始まる疑問文、一般動詞を使った否定文）に並べかえること	10(2) 31.3% H26 10 県(1)37.9% (2)66.6%	文と文のつながりに注意し、対話の流れに合った文を書くこと	
	12(1) 27.8% (2) 40.9% (3) 31.3% H26 12 県①60.5% ②56.7% ③52.0%	資料（図）を基に、文と文のつながりなどに注意して犬を紹介する文を書くこと	11(1) 8.8% (2) 8.2% (3)15.2% H26 11 県(1)30.3% (2)17.2% (3)13.5%	資料（動物園の情報）を基に、文と文のつながりなどに注意してパンフレットの内容を書くこと	

【領域・内容】 聞：聞くこと、読：読むこと、書：書くこと

今後さらに重点となる指導改善のポイント

- 自分の考えを述べたり、その理由を示したりすることができるようにするために、複数の領域を統合的に活用するコミュニケーション活動の充実を図ることが重要である。
- 英文などの概要や要点を正確に読み取ることができるようにするために、マッピングするなど情報を整理する活動を仕組むことが大切である。
- 生徒が主体的に書く活動に取り組むことができるようにするために、書きたい内容を図表にまとめたり、分からない単語などを辞書で調べることで、表現内容を広げたりすることが大切である。

各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について

今回の調査問題を活用し、今後の指導改善を進めるためのポイントとして、以下の①～④の流れを示しました。また、調査問題の解答類型等からつまずきの状況を把握し、その解決を図るための具体的な事例として、授業アイデア例を示していますので、ぜひ参考にしてください。

小学校国語 指導改善のポイント (第4学年)

【問題が見られる設問の例】 問題2(2)

① 《出題のねらい》
目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由や事例を挙げて書くことができるかどうかをみる。

② 《学習指導要領における領域・内容》
B 書くこと (第3学年及び第4学年)
(1) ウ 書くこととすることを明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。
C 読むこと (第3学年及び第4学年)
(1) エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

解答類型	既応率(%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「花を見つける手がかり」から、花の代わりに四角い色紙を使う実験で確かめていることを書いている。 ② 「四角い色紙」と「花の形」の二つの言葉を使って書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、六十文字以上、八十文字以内で書いている。		
(正答例) （ちなみに、）花の代わりに四角い色紙を使った実験をすることで、もしもしろようが、花の形でなく色を手がかりにしているかどうかをたしかめています。(67字)		
1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	31.7	◎
2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	1.8	
3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	1.8	
4 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	10.4	
9 上記以外の解答	35.0	
0 無解答	26.3	

③ 学習指導に当たって

【読むこと】
・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら内容を適切におさえて読む力を付ける。
→文章の中から大事な文(中心文)や言葉を見つけ、段落ごとに要約する力を付ける。

【書くこと】
・読み取った内容や感想をメモ等に整理させ、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書かせる。
・字数制限や使用する語句など、複数の条件に沿って段階的に文章を書かせる。

④ 【学習シート等との関連】
国語学習シート No. 6 7 「だん落の内容を読み取ろう」 高知県国語指導改善資料集 P. 5 4 ~ 5 9
国語学習シート No. 7 7 「調べたことを書くこと」
国語学習シート No. 8 7 「だん落のつながり」

- ① 調査問題の出題のねらいと学習指導要領における領域・内容を記述しています。
- ② 解答類型別反応率と児童生徒の解答状況から分析した誤答の傾向を記述しています。
- ③ 課題解決を図る授業づくりの参考となるよう、学習指導におけるポイントを記述しています。このことを踏まえて、授業アイデア例を作成しています。
※1単位時間あるいは1単元の指導において、注目・留意していただきたい点を示しています。
- ④ 評価問題などとして活用できる学習シート等を示しています。

◇ 授業アイデア例

各教科における課題が見られる問題を活用し、「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」に基づき、子どもたちに、「何を学ぶのか」が分かり、「何を学んだか」を実感できるよう授業展開例を示しています。

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント

授業中に	チェック
1. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。	
① 学習指導要領の指導内容に基づいたねらいになっている。	<input type="checkbox"/>
② 児童生徒にねらいがつかませ、課題意識をもたせている。	<input type="checkbox"/>
2. 学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。	
① 板書計画に基づいた構造的な板書している。	<input type="checkbox"/>
② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫している。	<input type="checkbox"/>
3. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。	
① 資料の特色を生かした方法で執筆できる手立てを工夫している。	<input type="checkbox"/>
② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援している。	<input type="checkbox"/>
4. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。	
① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を積極的に取り上げたりしている。	<input type="checkbox"/>
5. 学習したことの振り返りの機会を確保する。	
① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。	<input type="checkbox"/>
② 学習内容に有用なものがもてる適用問題や評価問題を実施している。	<input type="checkbox"/>
日常的に	チェック
6. 学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。	
7. すべての子が通いやすい学校・教育環境をつくる。(守らざるに十分な配慮、机・椅子の整理整頓など)	
8. あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢、教師が子どもの模範となる。	<input type="checkbox"/>

平成27年10月改訂 高知県教育委員会事務局小中学校課

指導のねらい 説明文の内容を適切におさえて読み、目的や必要に応じて要点や自分の考えをメモに整理して感想文を書くことができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの機会を確保する。

【課題解決的な言語活動】

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇ 学習のねらいと言語活動の内容(教師による自作モデル等)を具体的に示し、学習への意欲と見通しをもたせる。

第二次 説明文(調査問題)を読み、目的や必要に応じて要点や自分の考えを整理して感想文を書く

活動1 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約する

＜要約する時のポイント＞

① それぞれの段落の特に大事な文(中心文)を見つける。
※ 例や理由を挙げながら詳しく説明している部分には書く。
※ 繰り返し出てくる言葉、題名とつながりがある言葉、「つまり」「このように」などの言葉(接続詞)をヒントにする。
② 中心文から特に大事な言葉を見つけ、
③ 見つけた大事な言葉を入れながら、中心文を短くまとめる。

一 大事な言葉や文にサイドラインを引かせたり、キーワードを書きこませたりといった指導も大切だ。

二 要点が適切にまとめられているかを確認するため、根拠をもとに説明させたり書かせたりする活動を仕組むことも必要です。

活動2 まとめた要約と自分の考えをメモに整理し、感想文を書く

＜書く時のポイント＞

① 書くこととすることを中心をはっきりさせて書く
② 特に大事なことを通し、順序を等えたりして書く
③ 目的や必要に応じて、理由や事例も挙げて書く

要約の仕方や感想文を書くポイントが分かりました。他の説明文を読んで感想文を書くときも、この方法を使って読んでみます。

第三次 関連する他の説明文を読み、感想文を書いて交流する

活動3 活動1・2で学習したことを生かし、関連する他の説明文を読んで感想文を書き、互いに読み合ったり意見交換をしよう
・学習を振り返り、本単元で身に付けたことをまとめる

各学校においても、調査結果の分析を踏まえ、学習指導の工夫・改善を図り、子どもたちに獲得した知識・技能を活用して課題を解決していく力を育む取り組みを充実させてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第4学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2ニ（2）

① 《出題のねらい》

目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由や事例を挙げて書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと〔第3学年及び第4学年〕

(1) ウ 書くこととするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

C 読むこと〔第3学年及び第4学年〕

(1) エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

② 解答類型

(正答の条件)
次の条件を満たして解答している。
① 「花を見つける手がかり」から、花の代わりに四角い色紙を使う実験で確かめていることを書いている。
② 「四角い色紙」と「花の形」の二つの言葉を使って書いている。
③ 書き出しの言葉に続けて、六十字以上、八十字以内で書いている。

(正答例)
・(さらに、)花の代わりに四角い色紙を使った実験をすることで、もんしろちょうが、花の形でなく色を手がかりにしているかどうかをたしかめています。(67字)

反応率(%)	正答
	○本設問は、説明文「花を見つける手がかり」を読み、複数の条件に沿って、その【感想文の一部】を書く問題であり、平均正答率は21.7%である。 ○誤答についてみると、類型4が10.4%であり、説明文から必要な内容を適切に読み取れていないと思われる。また、類型9が35.0%であり、複数の条件に沿って書くことができていない解答も多い。 ○こうしたことから、説明文の内容を適切におさえて読む力や、必要に応じて複数の条件に沿って書く力の両方に課題があると考えられる。
21.7	◎
1.8	
4.8	
10.4	
35.0	
26.3	

③ 学習指導に当たって

【読むこと】

- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら内容を適切におさえて読む力を付ける。
→文章の中から大事な文（中心文）や言葉を見つけ、段落ごとに要約する力を付ける。

【書くこと】

- 読み取った内容や感想をメモ等に整理させ、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書かせる。
- 字数制限や使用する語句など、複数の条件に沿って段階的に文章を書かせる。

④ 【学習シート等との関連】

- 国語学習シート No. 6 7 「だん落の内容を読み取ろう」 高知県国語指導改善資料集 P. 5 4～5 9
- 国語学習シート No. 7 7 「調べたことを書こう」
- 国語学習シート No. 8 7 「だん落のつながり」

指導のねらい 説明文の内容を適切におさえて読み、目的や必要に応じて要点や自分の考えをメモに整理して感想文を書くことができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠に基づいて説明させたり、書かせたりする。

② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【課題解決的な言語活動】
説明文を読み、その要点や自分の考えを整理したメモをもとに感想文を書く

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇学習のねらいと言語活動の内容（教師による自作モデル等）を具体的に示し、学習への意欲と見通しをもたせる。

第二次 説明文（調査問題）を読み、目的や必要に応じて要点や自分の考えを整理して感想文を書く

活動1 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約する

《要約する時のポイント》
 ①それぞれの段落の特に大事な文（中心文）を見つける。
 ※例や理由を挙げながら詳しく説明している部分は省く。
 ※くり返し出てくる言葉、題名とつながりがある言葉、「つまり」「このように」などの言葉（接続語）をヒントにする。
 ②中心文から特に大事な言葉を見つける。
 ③見つけた大事な言葉を入れながら、中心文を短くまとめる。

→ 大事な言葉や文にサイドラインを引かせたり、キーワードを書きこませたりといった指導も大切です。
 → 要点が適切にまとめられているかを確認するため、根拠をもとに説明させたり書かせたりする活動を仕組むことも必要です。



活動2 まとめた要約と自分の考えをメモに整理し、感想文を書く

《書く時のポイント》
 ①書こうとすることの中心をはっきりさせて書く
 ②特に大事なことを選んだり、順序を考えたりして書く
 ③目的や必要に応じて、理由や例も挙げながら書く

要約の仕方や感想文を書く時のポイントがよく分かりました。他の説明文を読んで感想文を書くときも、この方法を使って読んでみます。



第三次 関連する他の説明文を読み、感想文を書いて交流する

活動3・活動1・2で学習したことを生かし、関連する他の説明文を読んで感想文を書き、互いに読み合って意見を述べ合う
 ・学習を振り返り、本単元で身に付けたことをまとめる

小学校算数 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題 12(3)

① 《出題のねらい》

示された情報を基に、お風呂にお湯がたまる時間と高さの関係を捉えて、お湯がたまる時間の予想が正しい理由を記述できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 量と測定

(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算によって求めることができるようにする。

ア 体積の単位（立方センチメートル（ cm^3 ）、立方メートル（ m^3 ））について知ること。

イ 立方体及び直方体の体積の求め方を考えること。

(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。

ア 単位量当たりの大きさについて知ること。

D 数量関係

(1) 表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係を考察できるようにする。

ア 簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。

② 解答類型

解答類型	反応率(%)	正答	解説
(正答の条件) 次の(a)、(b)、(c)、(d)の全てを書いている。 (a) もとにする量〔単位時間当たりの高さ（お湯の量）〕を示す言葉と数 (b) もとにする量と比較する量の時間の関係が、高さ（お湯の量）の関係と同じであることを示す言葉と数 (c) 高さが45 cmまでお湯がたまるのにかかる時間を示す言葉と数 (d) 高さが15 cmから45 cmになるのにかかる時間を示す言葉と数 (正答例) 1分で高さ3 cmまでお湯がたまります。 45 cmは、3 cmの15倍なので、時間も15倍になります。だから、高さ45 cmまでお湯をためるには1分の15倍で15分かかります。 このことと、高さ15 cmまでお湯をためるのにかかる時間が5分だったことから、高さが15 cmから45 cmになるのにあと10分かかります。 だから、あと10分でお風呂の底から水面までの高さが45 cmになるという予想は正しいと言えます。			○本設問は、底から15 cmの高さまでお湯がたまる時間をもとに、45 cmの高さまでお湯がたまる時間の予想が正しいわけを書く問題であり、正答率は13.5%である。 ○誤答についてみると、類型9が43.8%と多く、時間の変わり方に伴って、高さ（お湯の量）も変わることを捉えることができていない解答がみられた。 ○このことから、問題場面から伴って変わる数量を見いだし、二つの数量の変化の規則性を捉えることに課題があると考えられる。
1 (a)、(b)、(c)、(d)の全てを書いているもの	10.0	◎	
2 (b)、(c)、(d)を書いているもの	3.6	○	
3 (a)、(b)、(c)または(b)、(c)を書いているもの	7.6		
9 上記以外の解答	43.8		
0 無解答	35.1		

③ 学習指導に当たって

日常の事象を数理的にとらえ、事柄を考察し、それらの結果を表現する力を育てる

日常の事象を数理的にとらえ、処理していく活動が重要である。数理的にとらえるとは、事象の中に含まれる数、量、図形などの要素に着目したり、変化や対応などの関数の考えや、対象を明確にするなどの集合の考えなどの数学的な考え方に着目したりして、考察し探究していくことである。（「小学校学習指導要領解説 算数編」P. 21）



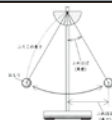
日常の事象と算数を結び付け、問題を解決するには、問題場面から伴って変わる数量を見いだし、表などに表すことで、変化の規則性を捉えることが大切である。捉えた数量の関係を用いて、時間を予想する方法を数学的に説明する活動を重視していく。

④ 【学習シート等との関連】

【全国学力・学習状況調査との関連】

平成25年度 全国学力・学習状況調査 B2 (3)

(高知県正答率 36.7% 全国正答率 35.2%)



実験3の結果

ふりこの長さ (cm)	25	50	75	100
10往復する時間 (秒)	10	14	17	20

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

①教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①児童に学んだことやさらに考えたことなどを確認させている。

じゃ口から出るお湯の量を変えずに空のお風呂にお湯を入れます。お湯を入れ始めて5分たったとき、お風呂の底から水面までの高さは、15 cmでした。お風呂の底から水面までの高さが45 cmになるのは、あと何分かを求めましょう。



問題場面から、伴って変わる数量を見いだす。



5分たったとき、お湯の高さは15 cmになります。

じゃ口から出るお湯の量は変わらないよ。



あと何分で高さが45 cmになるかを求める方法を考えよう。



じゃ口から出るお湯の量が変わらないから、時間と高さの関係が使えないかな。

表に表してみよう。



表を使って、二つの数量の変化を捉え、お湯のたまる時間を求める。

お湯をためる時間 (分)	1	2	3	4	5	□
お湯の高さ (cm)					15	45

Diagram showing relationships between time and height: 1 to 2 is ×2, 2 to 3 is ×3, 3 to 4 is ×3, 4 to 5 is ×3, 5 to □ is ×3. From 5 to 45 is ×3, and from 15 to 45 is ×3.



高さ15 cmまでは、高さはどのように変化するのがかな。



$15 \div 3 = 3$ で、1分あたり3 cmをもとにして変わり方を調べてみよう。

じゃ口から出るお湯の量が変わらないから、時間が2倍、3倍と変わると、お湯の高さも同じように2倍、3倍と変わっているよ。



高さ45 cmは3 cmの15倍だから、お湯がたまる時間も1分の15倍で15分になります。

$15 - 5 = 10$ で、10分後ということが分かるね。



※5分あたりお湯の高さ15 cmをもとにして、高さが45 cmになる時間を求める。

問題の解決方法を振り返り、学習したことをまとめる。

まとめ

お湯をためる時間が2倍、3倍…になれば、それともなって高さも2倍、3倍…になることから、この関係を使って時間や高さを求めることができる。

表を使うと、時間と高さの関係が見つかりました。この関係を使うと、1分あたりのお湯の高さをもとにしても、5分あたりのお湯の高さをもとにしても、お湯がたまる時間を求めることができました。



小学校理科 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2（2）

① 《出題のねらい》

ソーラーカーの速さについて、光電池と太陽光がつくる角の大きさの違いによる、当たる光の強さと回路に流れる電流の強さを関係付けながら、考察できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第4学年 A 物質・エネルギー（3）電気の働き

乾電池や光電池に豆電球やモーターなどをつなぎ、乾電池や光電池の働きを調べ、電気の働きについての考えをもつことができるようにする。

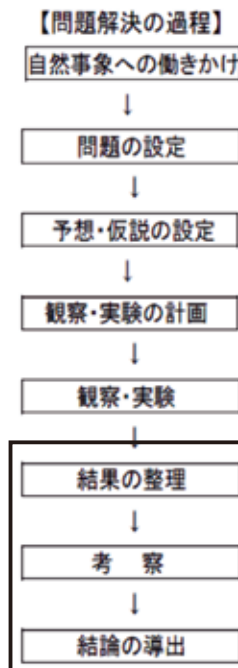
イ 光電池を使ってモーターを回すことなどができること。

② 解答類型		反応率(%)	正答	
1	回路に流れる電流が強くなったという趣旨で解答しているもの	26.9	◎	○本設問は、光電池と太陽光がつくる角の大きさによる、当たる光の強さと回路に流れる電流の強さを関係付けて考察し、光電池と太陽光がつくる角の大きさを90°にしたソーラーカーが一番速く走った理由を書くものである。正答率は26.9%である。
2	回路に流れる電流の強さが変わったという趣旨で解答しているもの	1.1		
3	検流計の針の指す目盛りが大きくなったという趣旨で解答しているもの	5.6		○誤答として、「ソーラーカーが速く走ることができる」「よく進む」「太陽光と光電池の角が大きくなる」等の解答がある。 ○このようなことから、実験結果から事実を適切に捉え、問題に正対した考察を行うとともに、考察したことを的確に表現することに課題があると考えられる。
9	上記以外の解答	56.4		
0	無解答	10.0		

③ 学習指導に当たって

小学校理科の学習は、体験を基盤とした児童の主体的、協働的な問題解決により展開する。見通しをもって観察、実験を行い、それらの結果を整理し、考察する学習活動の充実を図ることにより、科学的な思考力や表現力等の育成を図ることが大切である。

指導のポイント



ポイント①

観察、実験の結果を適切に処理する

※観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに処理したりする

ポイント②

観察、実験の結果と予想や仮説を照らし合わせながら、結果における全体的な共通性や傾向を捉えて考察し、結論を導き出す

※班の結果をグラフ等で一覧にして全体で共有し、比較・検討する

※自分や他者の予想や仮説を振り返り、検討する場を確保する

ポイント③

考察したことや、判断した根拠や理由を説明する際には、観察、実験の結果を基に事実と解釈したことを区別して、両方を示す

ポイント④

考えの根拠となる事実の捉えは適切か、事実を基に解釈した内容は問題と正対しているか確認する

次ページの授業アイデア例では「第5学年 A 物質・エネルギー（3）電流の働き」の学習において、電磁石の強さを変える要因について、実験結果を整理して考察し、事実と解釈したことを示して説明する活動を紹介している。

指導のねらい 電磁石の強さを変える要因について、実験結果を基に考察し、事実と解釈したことを示して的確に説明できる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

①児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

①教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

問題：電磁石を強くするには、どうしたらよいのだろうか

予想 問題に正対した予想・仮説を設定し、多様な考えを共有する。



回路に流れる電流が強くなると、モーターが速く回ったので、電磁石も強くなると思う。



コイルに鉄心を入れて、電流を流すと電磁石になったから、導線の巻数を増やすと、電磁石が強くなりそうだ。

計画 どのような実験結果が得られれば、問題に対する予想・仮説が証明されたことになるのか見通しをもって実験を計画する。

※「自然事象への働きかけ」から「観察・実験の計画」についての指導のポイントは、「平成26年度高知県学力定着状況調査結果の概要」P51、52を参照してください。

結果の整理 表やグラフを活用し、結果を適切に処理する。

<電流の強さとつり上げたクリップの数> <導線の巻数とつり上げたクリップの数>

乾電池の個数(個)	電流の強さ(A)	つり上げたクリップの数(個)			
		1回目	2回目	3回目	平均
1	0.8	6	6	5	5.7
2	1.5	14	14	13	13.7

導線の巻数(圈)	電流の強さ(A)	つり上げたクリップの数(個)			
		1回目	2回目	3回目	平均
100	0.8	5	6	5	5.3
200	0.8	13	13	12	12.7

考察 結果と予想を照らし合わせながら、結果における全体的な共通性や傾向を捉えて考察する。



予想と同じで、実験の結果から、電流が強くなると、電磁石が強くなると言えるね。



実験の結果から、導線の巻数を増やすと、つり上げるクリップの数が増えたよ。

☆根拠となる事実を明確にして、考えたことを表現させましょう。

☆事実を基に解釈したことも表現させましょう。



【考えたこと】
回路に流れる電流が強くなると、つり上げたクリップの数が増えたので、電流を強くすると電磁石が強くなると考えられる。



導線の巻数を増やすと、つり上げたクリップの数が増えたから、導線の巻数を増やすと電磁石が強くなると言えそうだ。

☆考えの根拠となる事実の捉えは適切か、事実を基に解釈した内容は問題と正対しているか確認しましょう。

※結果が予想と一致しなかった場合、自分や他者の予想を振り返ったり、再検討したりすることで、自分の考えを改善し、結果から適切に考察できるようにしましょう。

結論 問題に対する答え(妥当な考え)として結論を導き出す。

まとめ：電流を強くしたり、導線の巻数を増やしたりすると電磁石は強くなる。

問題解決の過程

自然事象への働きかけ
体験活動Ⅰ

問題の設定
言

予想・仮説の設定
語活

観察・実験の計画
動Ⅰ

観察・実験
体験活動Ⅱ

結果の整理
言

考察
語活

結論の導出
動Ⅱ

中学校国語 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題3三

① 《出題のねらい》

読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと

(1) ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

C 読むこと

(1) エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

② 解答類型

反応率(%)

正答

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① [高田さんの考え]と[山下さんの考え]のいずれか一つを選び、名前を解答欄に書いている。
- ② 選んだ理由を、【新聞記事】AやBから引用して書いている。
- ③ 引用した部分をかぎかっこ(「 」)でくくっている。
- ④ ②が賛成した考えの根拠として適切である。
- ⑤ 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内で書いている。

※誤字・脱字は評価の対象としない。また、どの新聞記事から引用したのかの記入の有無についても、評価の対象としない。

(正答例)

・(私は、高田さんの考えに賛成します。)理由は、新聞記事Bに「人気の高さから密漁や乱獲があとを絶たず、サンゴの数は激減している」とあり、密漁や乱獲を取り締まるだけでなく、漁も規制しないとサンゴを守りきれないと思うからです。(91字)

○本設問は、二つの新聞記事を読んで、土佐サンゴの保護についての二つの意見から賛成する意見の一つを選び、選んだ理由を新聞記事を引用して書くものである。正答率は26.7%である。

○誤答についてみると、類型5が17.2%と多く、自分が賛成した考えの根拠を新聞記事から引用して書けていないために根拠として不十分であったりする解答がみられた。

1	条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの	26.7	◎
2	条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさなくて解答しているもの	1.2	
3	条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさなくて解答しているもの	12.8	
4	条件①、②、④、⑤を満たし、条件③を満たさなくて解答しているもの	5.7	
5	条件①、③、⑤を満たし、条件②、④を満たさなくて解答しているもの	17.2	
9	上記以外の解答	19.2	
0	無解答	17.3	

③ 学習指導に当たって

事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするためには、分かりやすい説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容にふさわしい表現の仕方を工夫したりすることが大切である。説明や具体例を取り上げ、考えや意見の根拠となる事実や事柄を具体的に記述することで説得力をもたせることができる。

根拠を明確にした意見文を書く際には、自分と異なる立場の意見も踏まえ、自分の考えを深めたり、より説得力のある文章について考えたりすることが必要である。いろいろな角度から事象を捉え、自分の考えを形成することができるよう指導することが重要である。

根拠となる情報を吟味するに当たっては、信頼できるものかどうか、考えを裏付けるための材料として適切であるのかどうかといった点について検討し、その上で、根拠となる事柄を具体的かつ正確に取り上げながら、自分の考えを述べるよう指導することも必要である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート

- | | |
|----------------------------|------------|
| 10 根拠の明確な文章の構想 | 12 情報を集めよう |
| 23 要約・要旨 | 30 反論を考えよう |
| 33 文章推敲シート | |
| 50 社会で話題になっていることについて考えよう | |
| 62 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む | |
| 63 文章の表現を考える | 66 確認テスト |

国語学習シート活用事例集

p. 9～12
「複数の文章を読み比べる学習をする場合の活用例」
p. 13～16
「目的や意図に応じて短時間で要旨をとらえる場合の活用例」

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

社会生活の様々な問題に対する立場や意見を明確にし、それを説得力のある意見文として表現する言語活動は、生徒の思考力・判断力・表現力を養い、社会生活に必要な国語の能力を身に付けることにつながります。



五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①生徒に学んだことやさらに考えたことなどを確認させている。

【課題解決的な言語活動】 ニュースや新聞記事から自分の立場や意見と、その根拠を明確にした文章を書く。

学習の見通しをもつ

- ◇学習のねらいや単元全体の流れを確認する。
- ・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

テレビや新聞、インターネットなどの最近のニュースから、意見文を書くための課題を決める。

- 例：土佐サンゴの保護について
- ◇課題について情報を収集する。
 - ◇集めた資料の内容を比較し、要旨をまとめる。
 - ・集めた資料がそれぞれどのようなことをどのように伝えようとしているのかを、まとめさせる。
 - ※学校図書館等を活用し、同じテーマについて書かれた本や新聞記事などの資料を読み、様々なものの見方や考え方へとつなげる。
 - ※題材については、生徒自身が収集し、意見文のための課題を設定することが望ましいが、あらかじめ教師が適切と思われる資料を複数準備してそこから選べるなど、生徒の実態や指導時数等を考慮し、方法を工夫する。

自分の立場や意見とその根拠を明らかし、構成を考える。

- ◇課題に対して、自分の立場や意見とその根拠を簡潔にまとめ、構成を考える。
- ・課題に対する自分の立場や意見を、ノートに簡潔にまとめさせる。

説得力のある意見文を書こう	① 最近のニュースなど社会生活から見つけた課題 土佐サンゴの保護について	② 課題に対する自分の立場や意見 土佐サンゴを守るためには・・・	③ 立場や考えの根拠 二つの新聞記事から・・・	④ 意見交流で出された意見 異なる立場の意見としては・・・ ○○さんは私と同じで・・・	まとめ 土佐サンゴを守るには・・・
---------------	---	-------------------------------------	----------------------------	---	----------------------

- ・グループで意見交流させ、出された意見や交流後の自分の考えを簡潔にまとめさせる。



土佐サンゴを守るためには、まず、厳しい規制が必要だと思うよ。



土佐サンゴに携わっている人のために、厳しく規制をする以外の方法も考えるべきだと思うなあ。

- ・説得力のある意見文にするために、自分の立場を表明する部分や根拠となる事実や事柄を、文章全体のどこに位置付けることが適切であるかを考えさせる。

考えた構成やノートにまとめたことを基に、立場や意見とその根拠を明確にし、自分の考えを書く。

- ◇課題について自分の考えを書く。
- ・具体的な根拠を新聞記事から引用して書かせたり、自分と異なる立場の意見を踏まえたりするなど、事実や事柄、意見が効果的に伝わるように書かせる。
- ◇書いた文章を読み返し、推敲する。
- ・書いた文章をグループでお互いに読み合い、推敲の観点（書く時の条件など）に沿って、説得力のある文章になっているか意見交流させる。

説得力のある意見文の書き方について考える。

- ◇意見交流で出されたことを踏まえて、説得力のある意見文に書き直し、どのような書き方をすれば効果的に伝わるのかを考える。
- ・本単元の学習を通して自分が考えたこと等を振り返らせる。
- ※意見文を読み合うことで、書き手のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ学習につなげることなども考えられる。

中学校社会 指導改善のポイント（第1学年）

【課題が見られる設問の例】 問題7（5）

① 《出題のねらい》

資料を基に、遣唐使の派遣によって、国際的な要素をもった文化が栄え、遣唐使の廃止後に文化の国風化が進んだことについて、説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

歴史的分野

（1）歴史のとらえ方

ウ 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。

（2）古代までの日本

ウ 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解させる。

② 解答類型

解答類型		反応率(%)	正答	○本設問は、資料を基に年表にある遣唐使派遣の停止と関連付けて、8世紀と11世紀の文化の特色をとらえさせ、説明させる活動を設定したものである。正答率は14.3%であり、無解答率は40.0%と高い。 ○誤答についてみると、類型9が35.5%であり、資料の絵の特徴のみを説明し、年表中の日本のできごとと関連付けていないものが多く、文化を生み出した時代背景を押さえて、文化の特色を捉えることに課題があると考えられる。
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 8世紀の文化の特色を、【年表】中の「遣唐使の派遣」と関連付けて書いている。 (b) 11世紀の文化の特色を、【年表】中の「遣唐使の派遣の停止」と関連付けて書いている。				
(正答例) 遣唐使が派遣されていた8世紀の文化は、唐(中国)の文化の影響を受けている。また、遣唐使の派遣が停止された後の11世紀の文化は、日本の風土や生活に合った文化となっている。 (解答類型1)				
1	条件(a),(b)を満たして解答しているもの	14.3	◎	
2	条件(a)を満たし、条件(b)を満たさないで解答しているもの 例 8世紀は、遣唐使の派遣が行われていたので、唐(中国)の文化の影響を受けている。	6.1		
3	条件(b)を満たし、条件(a)を満たさないで解答しているもの 例 遣唐使の派遣が停止されていた11世紀には、日本風の文化が見られる。	4.2		
9	上記以外の解答	35.5		
0	無解答	40.0		

③ 学習指導に当たって

歴史的事象について考察・判断し、各時代の文化の特色を表現する学習の充実

歴史的分野の学習では、学習した内容を活用して、その時代を大観し表現する活動や、各時代における変革の特色を考えて時代の転換の様子を捉える学習などを重視することが大切である。

また、次のような学習活動を取り入れ、言語活動の充実を図ることで、思考力・判断力・表現力等の高まり、知識、概念や技能の定着、学習内容の理解の深まりにつなげていくことが重要である。

ポイント1：学習課題を解決するために、資料から読み取った情報を基に考えをもち、交流する。

ポイント2：調べてわかったことや考えたことを、自分の言葉で説明したり、レポートにまとめたりする。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

学習の見通しをもつ

8世紀頃の天平文化と11世紀頃の国風文化について、なぜそのような特色がみられるのか、適切な資料を基に説明しよう。

※自ら考えよう、調べようとする意欲がもてるような課題を設定し、課題解決に向けた学習活動を通して、そのために必要な技能を育てていく。

必要な情報を収集・選択して、その内容を適切に読み取り、まとめる

- ・中国・朝鮮半島とのかかわりなどに着目し、資料を選ぶ。
- ・資料から読み取ったことなどを根拠として、自分の考えを書く。
- ・意見交換を通して、わかったことや気づいたことを基に、資料を選んだ着眼点、時代背景の捉え方などが適切であるかを考える。

ポイント1

【Aさんの説明】

資料1
「鳥毛立女屏風」



資料2
「樹下美人図」



資料3
「源氏物語絵巻」の一部



資料1と資料2は同時期の絵であり、着ている服や人物の描き方がよく似ている。このように、天平文化は、大陸文化の影響を受けて国際的な要素をもった文化が栄えていることがわかる。これに対して、資料3の絵は、衣装や建具などの特徴が日本風であり、日本独自の文化が生まれたと考えられる。

※課題の解決に向け、時代背景に留意して、資料を選択することができる。

【Bさんの説明】

資料1
興福寺蔵「阿修羅像」

資料2
東寺蔵「千手観音像」

資料1と資料2から、どちらの時代も、人々は仏教を信仰していることがわかる。また、このような仏像がつくられていることから、仏の力の大きさもわかる。

※各時代の共通性に着目した資料の選択であり、課題の解決には不十分である。

ポイント2

Bさんの説明は、仏教の信仰が共通していることはわかるね。でも、2つの文化のちがいがわからないと、特色がみえないね。



Aさんの説明で、文化財が生まれ影響についてもわかるね。でも、大陸文化の影響を受けなくなったのはなぜかな。何が関係しているのか、年表を見て確認してみよう。



時代背景と関連付けて、各時代の文化の特色を捉える

- ・ねらいを達成できるよう学習過程を振り返る。
 - ⇒ 根拠を基に自分の考えを説明したり、他の人の意見を聞いたりしたことを振り返ることにより、歴史的な見方や考え方を深めていく。

※ねらいの達成に向けた理解につながるよう生徒の考えを適切に評価する。この積み重ねにより、歴史的な事象について、ここで学んだ見方や考え方を生かそうとする態度を育てていく。

中学校数学 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題7（2）

① 《出題のねらい》

発展的に考え、予想した事柄を説明することができるかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。
 ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

② 解答類型

	反応率(%)	正答	
(正答の条件) 「○○は、◇◇になる。」という形で、次の○○に(a)、◇◇に(b)を記述している。 (a) 2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差 (b) 次のいずれか ・9の倍数 ・もとの2けたの自然数の、十の位の数と一の位の数との差の9倍 ・もとの2けたの自然数の、十の位の数と一の位の数との差の倍数 (正答例) 2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差は、9の倍数になる。			○本設問は、全国学力・学習状況調査における「事柄・事実の説明」を位置付けた問題である。 ○誤答についてみると、類型9の反応率が高く、その中には、「○○は」に誤りのあるものや、「○○は」の記述がなく「◇◇になる」に誤りのあるものが見られた。また、無解答率が37.0%と大変高い。 ○このようなことから、考えるべき前提を明確にすることについての指導が十分でないと考えられる。
1 (a)、(b)の両方を記述しているもの。	35.0	◎	
2 (a)の記述が十分ではなく、(b)の条件を満たして記述しているもの。	1.0	○	
3 (a)に関する記述がなく、(b)の条件を満たして記述しているもの。	0.6		
4 (a)の条件を満たし、(b)以外に成り立つ事柄を記述しているもの。	6.4	○	
5 「○○は、◇◇になる。」という形で、成り立たない事柄を記述しているもの。	5.0		
9 上記以外の解答	15.0		
0 無解答	37.0		

③ 学習指導に当たって

(1) 成り立つ事柄を予想する場面や、発展的に考えて予想する場面を設定する。

予想させる場面では、具体的な数を用いて実際の計算結果などから、帰納的に考えさせたり、類推的に考えさせたりして、生徒自身で見いだす活動を仕組むことが大事である。

さらに生徒自らが条件を変えるなどして、新たに成り立つことを予想する場面を設定することが大事である。一度の問題解決で終わるのではなく、さらに、その結果を振り返り発展して考えることで、探究的な学びにつなげていくことが重要である。



(2) 予想した事柄を、前提と結論を明確にして表現することができるようにする。

事柄を表現する際には、前提となる主部、結論となる述部を問題の条件や計算結果を基に、自分の言葉で表現することから始め、その表現が適切であるかどうかを振り返って考えることが大事である。特に前提を的確に表現できるように指導することが重要であり、このことは図形における仮定と結論の指導につながる。

④ 【学習シート等との関連】

全国学力・学習状況調査数学B問題集
第2学年 A図形（25年度）2（2）

高知県正答率 29.3% 全国正答率 38.0%

これらのことから、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「○○は、……になる。」という形で書きなさい。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

②生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値づけたりつなげたりする。

(三、四を繰り返す)

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させる。

■問題を提示する。

2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和がどんな数になるでしょうか。

■予想する。



14 のときは、 $14 + 41 = 55$ 、
36 のときは、 $36 + 63 = 99$ になるから
11 の倍数になりそうだよ

予想の場面

59 のときも、
 $59 + 95 = 154 = 11 \times 14$
だから、11の倍数だね



めあて

予想したことを表現し、それが成り立つことを説明しよう

■予想した事柄を表現する。

前提と結論を明確にするプロセス

【予想】11の倍数になる。

Q. 何が11の倍数になるのかな？

【予想】和は、11の倍数になる。

Q. どの数とどの数の和なのかな？

【予想】2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和は、11の倍数になる。

事柄・事実の説明

■予想した事柄がいつでも成り立つことを、見通しをもって説明する。

〈見通し〉問題で示された数を、文字を使って表す

11の倍数であることを説明するためには、 $11 \times (\text{整数})$ となればよい

2けたの自然数の十の位の数を x 、一の位の数を y とすると、
2けたの自然数は、 $10x + y$

十の位の数と一の位の数を入れかえた数は、 $10y + x$ と表される。

したがって、その和は

$$(10x + y) + (10y + x) = 11x + 11y = 11(x + y)$$

$x + y$ は整数だから、 $11(x + y)$ は11の倍数になる。

したがって、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和は、11の倍数になる。

■まとめる。

◇予想した事柄を説明するときには、前提と結論を明確にする。

◇事柄が正しいことを説明するには、前提を文字を用いて表し、計算した結果が結論を表す式となることを示す。

■問題を発展的に考えて、新たに予想した事柄を表現する。



問題の条件を変えて、新たに予想してみよう

発展の場面

「和」という条件を「差」に変えたらどうなるかな？

「2けた」という条件を「3けた」に変えたらどうなるかな？



■予想した事柄を表現し、見通しをもって説明する。

■振り返る。

生徒の振り返り

予想したこと的前提を分かるように書くことで、成り立つことを説明するとき何を文字で表したらよいか分かりやすくなる。だから、予想したことは、前提と結論をはっきり分かるように書くことが大事だと分かった...

中学校理科 指導改善のポイント（第1学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2(3)

① 《出題のねらい》

溶解度曲線を基に、他者が考えた実験方法を考察し、その方法が適切でない理由を説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第1分野 (2) 身の回りの物質

身の回りの物質についての観察、実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。

イ 水溶液 (イ) 溶解度と再結晶

水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けてとらえること。

② 解答類型

	反応率(%)	正答	
(正答の条件) 次の条件(a)、(b)を満たして解答しているもの。 (a) 100℃の水 100g への塩化ナトリウムの溶解度と、溶かした塩化ナトリウムの質量を比較した結果を書いている。 (b) 塩化ナトリウムが、溶けきらないことを書いている。			○本設問は、実験2で溶け残った塩化ナトリウムをすべて溶かすために、水の温度を上げることが適していない理由を、溶解度曲線を基に説明する問題であり、正答率は11.6%である。
(正答例) 100℃の水100gへの塩化ナトリウムの溶解度39.4gは、溶かしたい塩化ナトリウムの質量40gより小さく、溶けきらないから。(解答類型1)			○誤答についてみると、類型9が55.8%と最も多い。「温度による溶解度の変化が少ないから」などの解答が多く見られ、グラフの特徴に着目しようとはしているが、説明の根拠となる値を用いておらず、溶かしたい量と溶解度を結び付けて考察することができていない。
1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの	4.2	◎	
2 条件(a)について、比較した結果に関する記述が不十分であるが、条件(b)を満たして解答しているもの	4.5	○	
3 条件(a)を満たして解答しているもの	2.8	○	
4 条件(b)を満たして解答しているもの	8.7		
9 上記以外の解答	55.8		
0 無解答	23.9		

③ 学習指導に当たって

観察、実験の結果を分析して解釈できるようにする

観察、実験の結果を分析し解釈して、根拠に基づいて説明することは、科学的に探究する活動を行う上で大切である。

指導に当たっては、生徒が小学校で培った問題解決の能力を踏まえて、水の温度や量によって溶ける溶質の質量には限度があることを、溶解度のグラフを利用して説明させるなど、分析して解釈する学習場面を設定することが考えられる。その際、用語として「溶解度」を知るだけではなく、活用できるようにすることが大切である。

④ 【学習シート等との関連】

そのグラフは、「溶解度と塩化ナトリウムの溶解度曲線」を参考にしています。溶解度の単位は「g/100g」です。このグラフの縦軸は「溶解度(g/100g)」を示しています。また、このグラフの横軸は「温度(℃)」を示しています。このグラフの縦軸は「溶解度(g/100g)」を示しています。また、このグラフの横軸は「温度(℃)」を示しています。

【水溶液A】60℃の水100gに塩化ナトリウムを加えて、塩化ナトリウムをすべて溶かすまで加えました。その後、この水溶液を20℃まで冷却しました。

【水溶液B】60℃の水100gに塩化ナトリウムを加えて、塩化ナトリウムをすべて溶かすまで加えました。その後、この水溶液を20℃まで冷却しました。

① 水溶液A、Bの温度を40℃まで下げると、水溶液A中に結晶が析出しました。それぞれの結晶の色を記述してください。

水溶液Aから析出した結晶 水溶液Bから析出した結晶

② 水溶液Aは、塩化ナトリウムと水でできています。理由も説明してください。

③ 物質による溶解度の差を利用して、60gの水溶液に20gの塩化ナトリウムを加えたものから純粋な塩化ナトリウムを取り出すことはできるでしょうか。理由も説明してください。

センター資料の図表から答えましょう。

高知県理科思考力問題集
中1-04 水溶液

◇ 授業アイデア例

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

②生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

問題

10℃の水 100 g に 40 g の塩化ナトリウムを溶かすと溶け残りしました。40 g の塩化ナトリウムをすべて溶かすにはどうすればよいでしょう。

課題

溶け残った物質をすべて溶かす方法を考えよう。

塩化ナトリウムが溶け残った要因を考える。

○温度によって溶ける物質の質量が変化すること等、既習内容を基に考える。
★小学校での学習内容を確認する。

(要因) ①水の温度が低い ②水の質量が小さい

40 g の塩化ナトリウムを溶かす実験を行う。

①10℃ずつ温度を上げる。 ②5 g ずつ水の質量を大きくする。

<実験結果>



①水の温度を 100℃まで上げて溶け残った。

②水の質量を 15 g 大きくしたら溶け残りがなくなったわ。

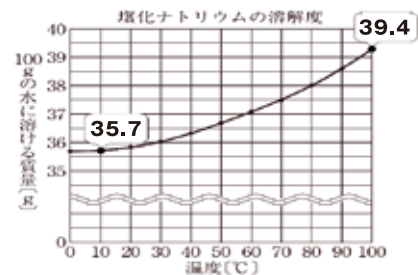


水の温度を 100℃まで上げて溶け残った理由を、溶解度のグラフを基に説明する。

分析して・解釈する場面

○水の温度を 100℃まで上げたとき、溶ける塩化ナトリウムの質量を求める。

★温度の変化に伴って変わる溶ける物質の質量について、グラフを用いて確認する。



溶解度のグラフを見ると、10℃の水 100 g には塩化ナトリウムは 35.7 g しか溶けないから、40 g だと溶け残ったんだね。水の温度を 100℃まで上げて、39.4g までしか溶けないことがわかるね。100℃の水 100 g の塩化ナトリウムの溶解度が 40 g より小さいから溶け残るんだね。

水の質量を 15 g 大きくすると 40 g の塩化ナトリウムがすべて溶ける理由を、溶解度のグラフを基に説明する。

○10℃の水 100 g に溶ける塩化ナトリウムの質量を求め、水 115 g に溶ける塩化ナトリウムの質量を求める。



10℃の水 100 g に溶ける塩化ナトリウムの質量は 35.7 g だから、10℃の水 115 g に溶ける塩化ナトリウムの質量を比例式を使って求めると、約 41 g になる。溶かしたい塩化ナトリウムの質量 40 g よりも大きいから、水の質量を 20 g 大きくすると塩化ナトリウムはすべて溶ける。

溶け残った物質をすべて溶かす方法を振り返る。

振り返り

溶かしたい物質の質量と、温度による溶解度の大きさや水の質量による溶解度の大きさを比較することで、溶かしたい物質がすべて溶けるかどうかを判断することができる。

中学校外国語 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題8（3）①

① 《出題のねらい》

聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

- ウ 読むこと（オ） 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。
- エ 書くこと（ウ） 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。

② 解答類型		反応率 (%)	正答	○本設問は、展覧会に関する【ウェブページ情報】と【インターネット上の掲示板】から情報を読み取り、土佐図書館の係の人からの返信を完成させるものである。正答率は、11.9%であり、無解答率は、56.0%と高い。 ○誤答についてみると、類型9が32.0%であり、「Sakamoto Ryoma」「was going to go there」など、英文の内容を理解し、必要な情報を読み取ることができていないものが多く、また、because 主語＋動詞など文構造の理解にも課題がみられる。
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 「坂本龍馬について学ぶことができる」や「高知の歴史について学ぶことができる」という内容を、「learn」「know about」などを用いて書いている。 (b) (a)を文法的に正しく書いている。 (正答例) 例1 can learn a lot about Sakamoto Ryoma (and the history of Kochi) 例2 can know about Ryoma				
1	条件(a)、(b)を満たして解答しているもの 例 want to know about Sakamoto Ryoma	11.8	◎	
2	条件(a)を満たし、条件(b)について、大文字(小文字)の書き分けに誤りがあるもの 例 can learn a lot about <u>sakamoto ryoma</u>	0.2	○	
3	語順に誤りがあるもの 例 can Sakamoto Ryoma <u>learn</u>	0.0		
9	上記以外の解答	32.0		
0	無解答	56.0		

③ 学習指導に当たって

* 「読むこと」と「書くこと」など技能統合型の指導の充実

目的をもって読ませ、理解したことを表現させる活動を仕組み、技能統合型の指導を行うことが重要である。英文を理解し、必要な情報を読み取り、書き手の意見などに対し自分の考えを適切に表現するために、意見交流や推敲を行うなどの学習活動の充実を図ることが大切である。

また、伝えたいことを表現できるよう、既習事項から必要な文法事項を引き出し、英語を運用する力を伸ばす指導も必要である。

* 学習到達目標を達成するための単元構想・言語活動の展開

次のことを重視して意図的に計画することが大切である。

- ① 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標を達成するための単元のゴールを設定すること
- ② バックワードデザインで1時間ごとのゴールを設定すること
- ③ 単元のゴールに向けたつながりのある言語活動を設定すること

* コミュニケーションを行う場面や状況の設定

使用場面や言語の働きを考えて言語活動を充実させることが大切である。また、生徒が読みたいと思う題材を扱ったり、書かせたい内容をモデルとして示したりすることが、書く意欲の向上につながる。

④ 【学習シート等との関連】

英語ライティングシート	Ⅱ重要表現編	2年生	接続詞（because 主語＋動詞）
	Ⅲテーマ英作文編	1年生	観光地を紹介しよう
		2年生	自分の夢を書いてA L Tや友だちに伝えよう

指導のねらい 読んだことについて、自分の考えやその理由などを書くことができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

①ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

単元のゴール「土佐図書館の情報とその内容についてのALTの意見をもとに、自分の考えを書くことができる。」

Warm-Up (例)

- * 本時のねらいと関連のある既習事項を活用した Q & A や Talk & Report を行う。(既習事項: I think (that)~, because 主語+動詞など)
- * 速読や精読など、目的に応じた読む活動を行う。

本単元のゴールを確認する。

- * 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標を達成するためのゴールを示す。(アイデア例では、第2学年「書くこと」に本単元を位置付けています。)

★本時のめあて: 「土佐図書館で開催される展覧会について、おすすめポイントを入れて紹介する文を書こう。」

※大問8の資料を活用する

【ウェブページ情報】と【インターネット上の掲示板】の内容を読み取る。

- * 【ウェブページ情報】の内容をペアで確認させる。

(例)

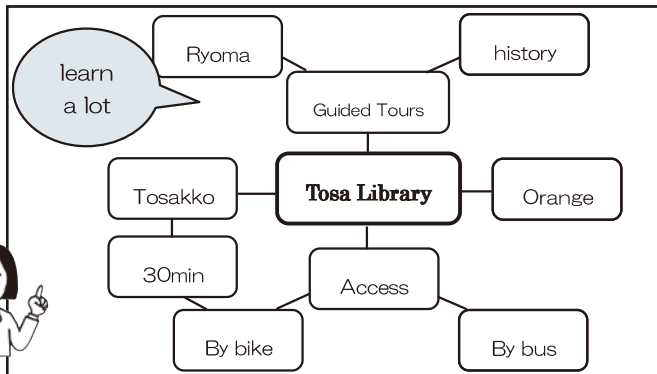
- いつ、どんなことをしているのか
- おすすめは何か
- どのような交通手段があるのか



読み取ってほしいことをキーワードなどで示しましょう。

- * 【ウェブページ情報】の内容をもとに、【インターネット上の掲示板】から、施設や登場人物などに焦点をあててマッピングしながら、情報を読み取らせる。

(例)



図に表すことで、内容が整理できていくね。



おすすめポイントを選び、そのことについて自分の考えを書く。

- * マッピングしたものの中から、紹介したい理由となるおすすめポイントを選ばせる。
- * 【インターネット上の掲示板】の内容を根拠とし、「I think ~、because 主語+動詞」など適切な表現を用い、説得力のある文を書かせる。

紹介文を読み合い、感想などを英語で伝え合う。

- * 間違っている語句に色ペンなどで下線を引き、エラーチェックなどをさせる。
- * 友だちの紹介文についての感想を、ペアやグループで交換させる。友だちの感想を聞き、自分の考えに反映させる機会をもつ。

自分の紹介文を読み直し、推敲する。

- * 推敲した文をノートに書かせ、学習内容の定着を図る。
- * 伝えたい内容を適切に表現できているか確認する。

生徒の英文を添削し、フィードバックしましょう。



☆教科書の物語文を活用する場合は、「物語文を読んで、主人公に手紙を書く」をゴールにすることもできます。(参考: 「高知県英語教育推進のためのガイドライン」に基づく授業マニュアル)

「付けた力を身に付けた生徒の姿」からバックワードデザインで活動を設定しましょう。

学力調査における経年変化の分析から授業改善へ

例：中学校第2学年社会科（明治政府による改革のねらい）

【出題の趣旨】

各教科の問題の内容、出題のねらい、学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式、過去の調査等との関連、期待正答率を示したものです。

過去の調査等との関連

本年度の調査問題の設問と関連のある過去の調査問題等を示していますので、授業改善における取り組みの効果の検証等に活用してください。

平成27年度高知県学力定着状況調査 出題の趣旨【中学校第2学年社会】

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等	評価の観点	問題形式	過去の調査等との関連	期待正答率(%)
18		①	フランス革命の前後の様子を、資料から読み取り、正しいものを選び	資料から、欧米諸国における市民革命による社会の変化を読み取ることができる		(5) 9	○	○	80
19	(1)	②	イギリスなど欧米諸国が産業革命後、本格的にアジアに進出した理由として適切なのを選び	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアに進出した目的を理解している		(5) 9	○	○	H26・6② 80
20	5	(2)	明治政府が近代化を進める中で行ったこととして適切でないものを選び	新政府による改革の特色を理解している		(5) 7	○	○	80
21		①	明治時代の教育についてまとめた文に当てはまる語句を、資料から読み取って書く	江戸時代との違いに着目し、資料から、明治政府による改革のねらいを読み取ることができる		(5) 7	○	○	70
22	(3)	②	地租改正により国の収入が安定した理由を、「税金」と「課金」の2つの語句を使って説明する	資料を基に、明治政府による改革のねらいについて、説明することができる		(5) 7	○	○	H26・6③ 50

H26⑥ (4)

6 中野さんは、新聞記事で富岡製糸場が世界遺産に登録されたことに注目し、年表中の明治初期の日本や世界のおもな出来事をもとに、「明治政府は、明治維新の改革によって、どのような政治を定めたかのか」調べています。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(4) 明治政府は、江戸幕府が欧米諸国との間に結んだ不平等条約を改正するために、21ページの【資料4】のような清改革などを行いました。中野さんは、明治政府が目指した国づくりについて、下のようにならまとめました。【まとめ】の中の□□□□に当てはまる言葉を書きなさい。なお、□□□□には、欧米諸国とどのような関係を築きたかったかが入ります。

【まとめ】
明治政府は、富岡製糸場の設立と学制、徴兵令、地租改正などの改革を進め、江戸時代における欧米諸国からの遅れを取り戻すために、□□□□を進めた。
明治政府がこのような清改革を行ったのは、江戸時代は、日本と欧米諸国との間に結ばれた不平等条約を改正し、欧米諸国と□□□□を築くことが一つの目的であった。

明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明することができるかどうかを見る。

事象の特色や事象間の関連を説明することに課題が見られる。

H27⑤ (3)

2 白石さんは、明治政府の改革である「地租改正」について、17ページの表と【資料3】をもとに、明治政府のねらいと人々の受け止め方について考え、下の【地租改正について】のようにまとめました。なぜ、地租改正により、国の収入が安定したのかを、「税率」と「課金」の2つの語句を使って書きなさい。

【資料3】
明治政府の収入の移り変わり
1876年(明治9年)に三重県で起こった一揆

【地租改正について】
明治政府のねらい
国の収入を安定させること。
人々の受け止め方
土地を個人が所有することができたが、江戸時代と変わらず生活が苦しいため、地租改正反対一揆を起こした。

改善状況を捉える

資料を基に、明治政府による改革のねらいについて、説明することができるかどうかを見る。

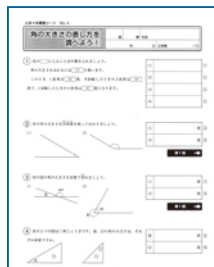
複数の資料から取り出した情報を比較したり、関連付けたりして、根拠を明らかにして、説明したりすることに課題が見られる。

指導改善のポイント

資料を適切に活用し、歴史的出来事の意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなど、自分の考えを表現する力を高める指導の充実を図る。

今回の調査結果を分析する際には、過去の調査における課題の改善状況を捉え、取り組みの効果についても検証し、調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図っていただきたいと思ひます。

高知県教育委員会が作成した学習シート等



算数・数学シート
(小4～中3)



全国学力・学習
状況調査
数学B問題集
(中1～中3)



数学思考力問題集
(中1～中3)



理科思考力問題集
(小5～中3)



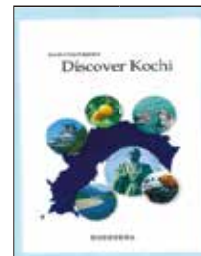
国語学習シート
(小1～中3)



全国学力・学習状況調査
問題・解説 国語
(小学校・中学校)



高知県語彙検定
KOCHI Core-tan
高知これ単
(中1～中3)



Discover
Kochi
(中1～中3)

平成27年度

高知県学力定着状況調査結果の概要

平成28年3月

発行・編集

高知県教育委員会事務局小中学校課

